

岡崎市
市民文化意識調査結果報告書

平成 28 年 3 月

岡 崎 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果.....	2
1	岡崎市の文化のイメージについておたずねします。	2
2	文化芸術の鑑賞活動についておたずねします。	8
3	文化芸術活動についておたずねします。	18
4	文化情報についておたずねします。	29
5	歴史文化の継承と活用についておたずねします。	35
6	文化施設についておたずねします。	42
7	岡崎市の文化行政についておたずねします。	52
8	あなたご自身や世帯のことについておたずねします。	80
III	自由意見.....	83
IV	まとめ.....	91

I 調査の概要

1 調査の目的

岡崎市では、平成 18 年 3 月、文化芸術に関する行政施策の指針を示した「岡崎市文化振興推進計画」を策定し、本市の豊かな歴史文化・伝統文化を生かした、独自の文化振興を進めてきました。

それからおよそ 10 年が経過し、急激な時代の変化や、文化芸術に関する新法の施行を受け、平成 29 年 3 月に新たな指針となる「第 2 次岡崎市文化振興推進計画(仮称)」を策定する予定です。

その第一歩として、市民の皆様の文化芸術に関する考え方や現状と課題を把握し、次期計画の基礎資料とするため、このたびアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

岡崎市在住の 18 歳以上 75 歳未満 3,500 名を無作為抽出

3 調査期間

平成 28 年 2 月 1 日（月）から平成 28 年 2 月 16 日（火）


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,500 通	1,053 通	30.1%

6 調査結果の表示方法

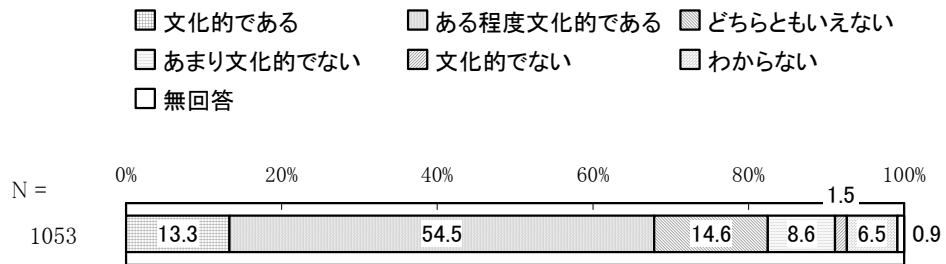
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1 岡崎市の文化のイメージについておたずねします。

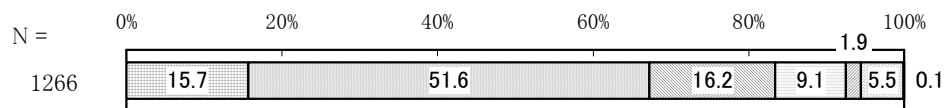
問1 あなたは、岡崎市を文化的なまちだと思えますか。(○はひとつ)

「文化的である」と「ある程度文化的である」をあわせた“文化的である”の割合が 67.8%、「どちらともいえない」の割合が 14.6%、「あまり文化的でない」と「文化的でない」をあわせた“文化的でない”の割合 10.1%となっています。



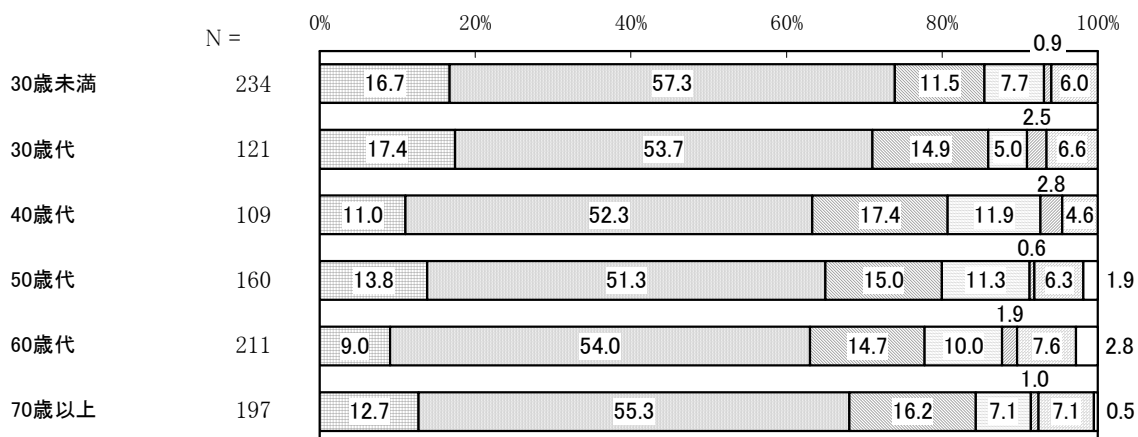
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

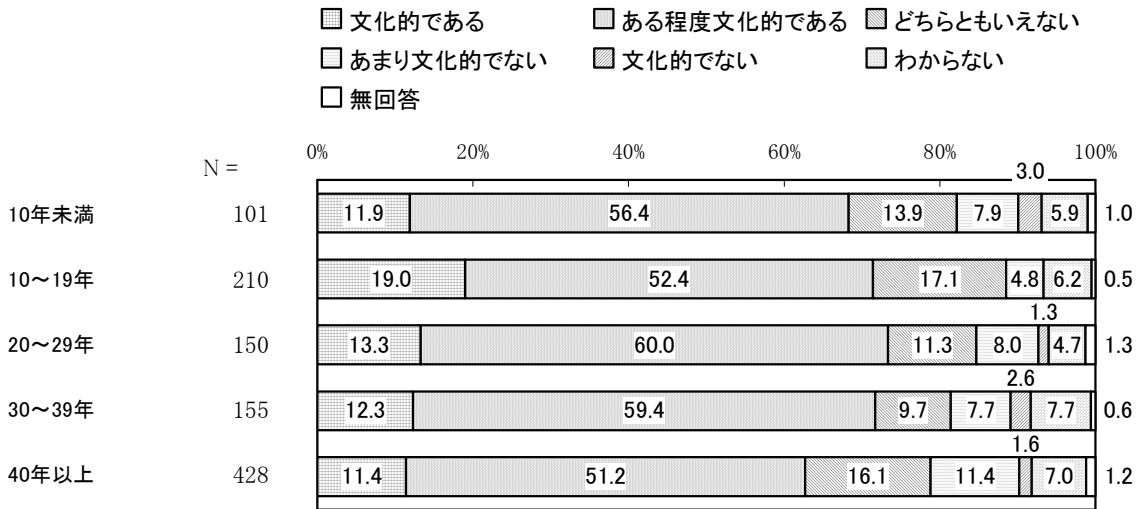
年齢別でみると、大きな差異はみられませんが、30 歳未満で“文化的である”の割合が最も高くなっています。



※10 歳代、20 歳代ともに傾向が似ているため、まとめて 30 歳未満と表記しています。

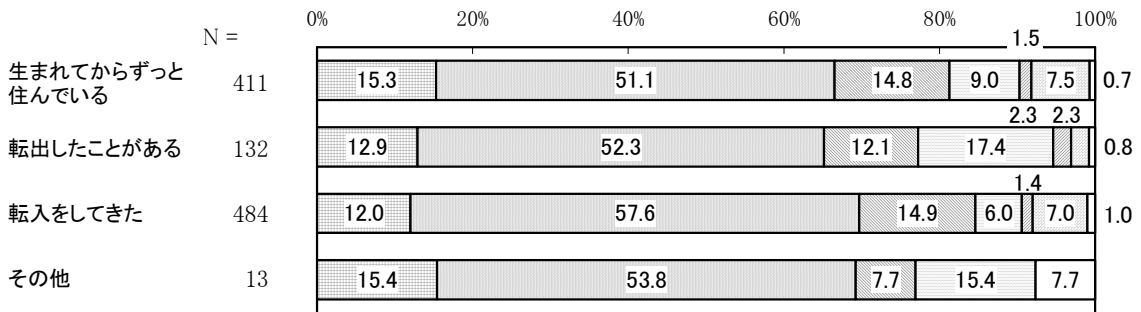
【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、40年以上で“文化的である”の割合が低くなっています。



【居住歴別】

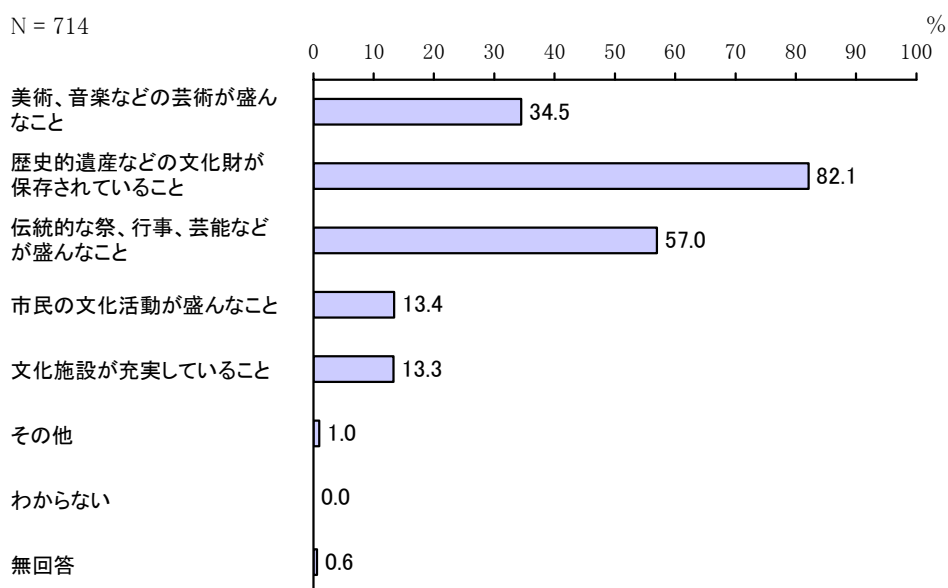
居住歴別で見ると、他に比べ、転出したことがあるで“文化的でない”の割合が高くなっています。また、生まれてからずっと住んでいる、転入をしてきたで“文化的である”の割合が同等程度となっています。



問1-1 問1で「1. 文化的である」、「2. ある程度文化的である」と答えた方にお聞きします。それはどういった理由からですか。(〇は3つまで)

「歴史的遺産などの文化財が保存されていること」の割合が82.1%と最も高く、次いで「伝統的な祭、行事、芸能などが盛んなこと」の割合が57.0%、「美術、音楽などの芸術が盛んなこと」の割合が34.5%となっています。

文化財の保護や伝統的な祭、行事など、歴史文化・伝統文化に関する割合が高くなっています。



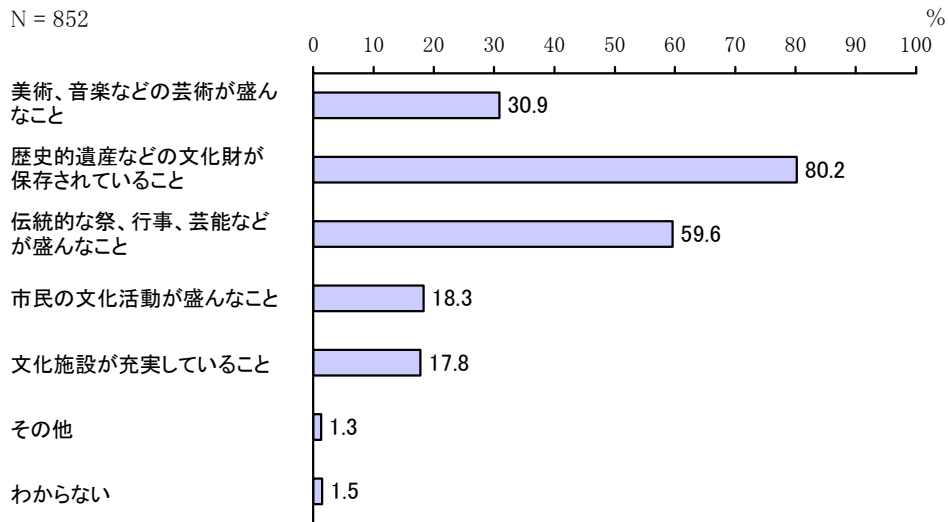
【その他】

- ・他市に比べて美術、音楽などの芸術活動が行われている
- ・「美術、音楽などの芸術が盛んなこと」「歴史的遺産などの文化財が保存されていること」「伝統的な祭、行事、芸能などが盛んなこと」などが比較的盛んだと思うが、但し、いまいちインパクトが少ない

など

【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50 歳代以上で「市民の文化活動が盛んなこと」の割合が高くなっています。

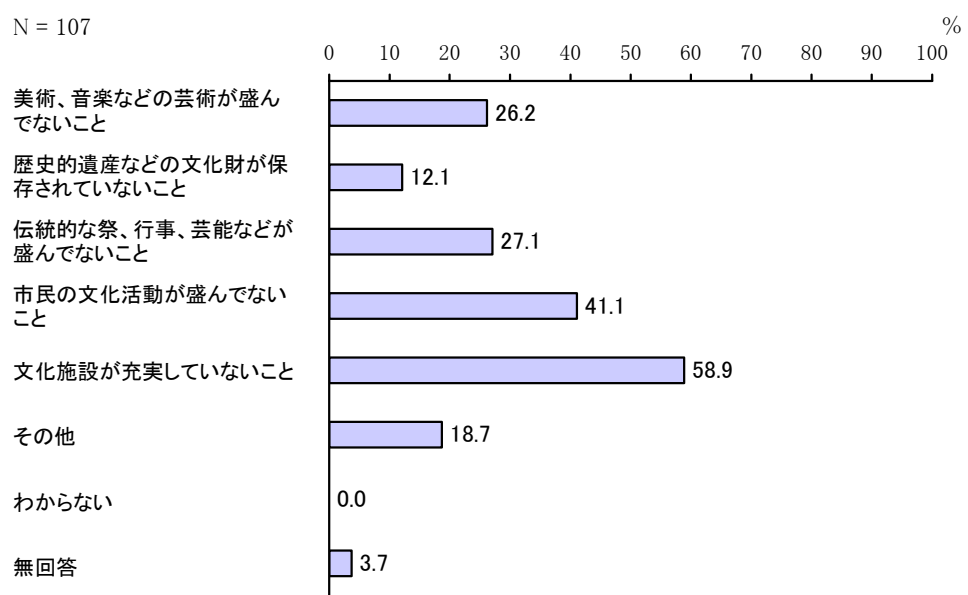
単位：%

区分	有効回答数 (件)	美術、音楽などの芸術が盛んなこと	歴史的遺産などの文化財が保存されていること	伝統的な祭、行事、芸能などが盛んなこと	市民の文化活動が盛んなこと	文化施設が充実していること	その他	わからない	無回答
30 歳未満	173	31.8	79.2	60.7	9.2	11.0	0.6	—	—
30 歳代	86	27.9	83.7	47.7	8.1	11.6	—	—	—
40 歳代	69	36.2	87.0	52.2	7.2	17.4	—	—	—
50 歳代	104	35.6	86.5	54.8	12.5	14.4	1.0	—	—
60 歳代	133	36.1	81.2	62.4	15.0	13.5	0.8	—	2.3
70 歳以上	134	38.8	79.1	58.2	23.1	15.7	2.2	—	0.7

※10 歳代、20 歳代ともに傾向が似ているため、まとめて 30 歳未満と表記しています。

問1-2 問1で「4. あまり文化的でない」、「5. 文化的でない」と答えた方にお聞きします。それはどういった理由からですか。(〇は3つまで)

「文化施設が充実していないこと」の割合が58.9%と最も高く、次いで「市民の文化活動が盛んでないこと」の割合が41.1%となっています。



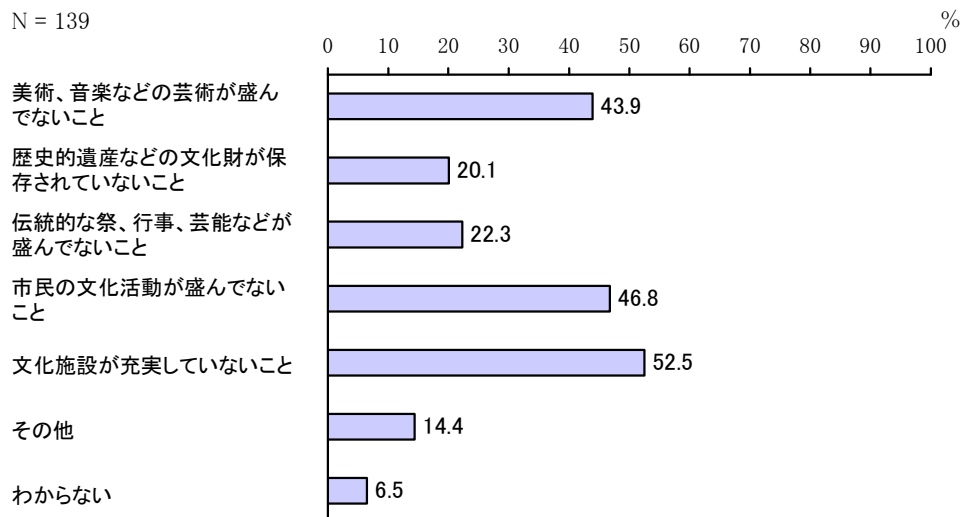
【その他】

- ・町並みが汚い
- ・マンションが乱立すぎる
- ・とってくっつけたような行事、真に伝統が重んじられていない
- ・一般市民が文化的活動に積極的でない

など

【前回比較】

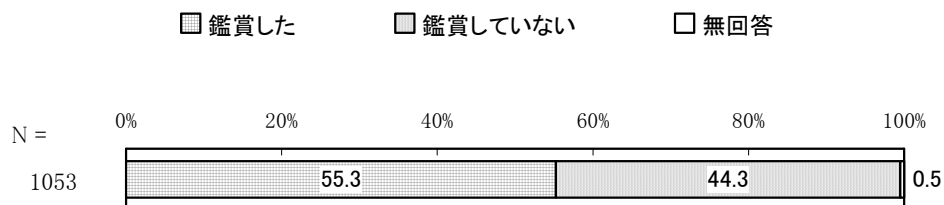
平成 22 年度調査と比較すると、「文化施設が充実していないこと」の割合が 6.4 ポイント増加しています。一方、「美術、音楽などの芸術が盛んでないこと」の割合が 17.7 ポイント、「歴史的遺産などの文化財が保存されていないこと」の割合が 8.0 ポイント減少しています。



2 文化芸術の鑑賞活動についておたずねします。

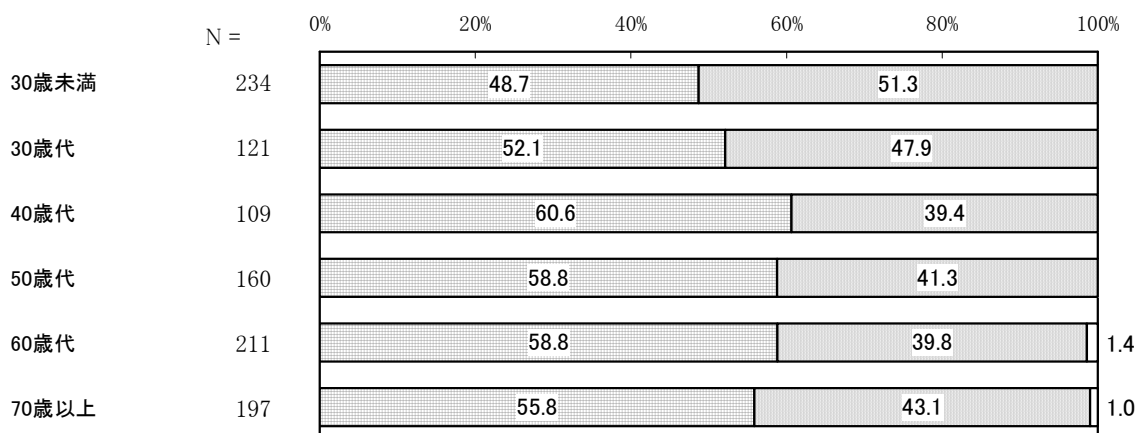
問2 あなたは、ここ1年で、文化芸術を鑑賞しましたか。(〇はひとつ)

「鑑賞した」の割合が55.3%となっています。



【年齢別】

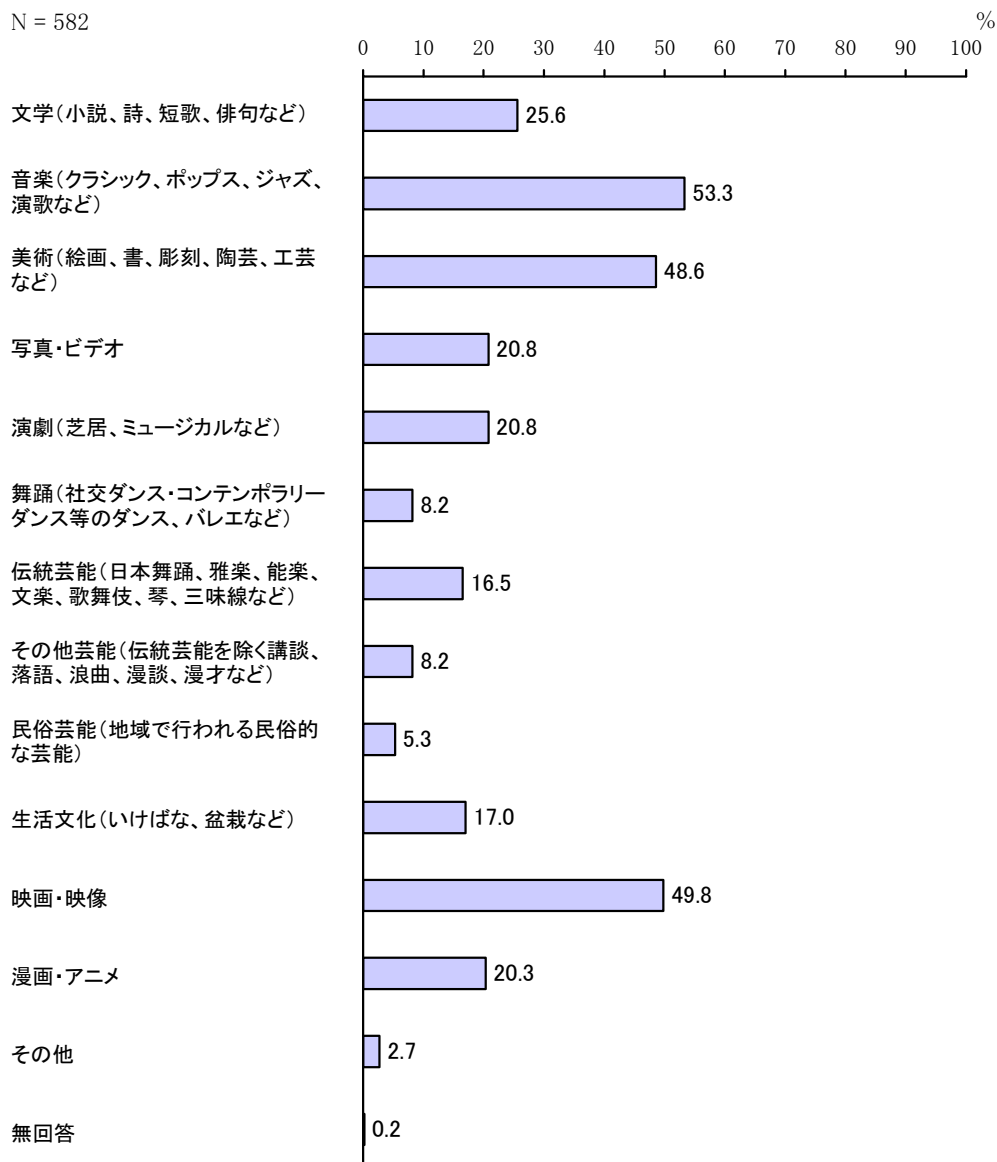
年齢別でみると、年齢が低い30歳未満、30歳代で「鑑賞した」の割合が低く、40歳代以上で、6割程度と高くなっています。



※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

問2-1 問2で「1 鑑賞した」と答えた方にお聞きします。あなたが鑑賞した内容(対象)は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「音楽(クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など)」の割合が53.3%と最も高く、次いで「映画・映像」の割合が49.8%、「美術(絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など)」の割合が48.6%となっています。



【その他】

- ・香道、組香^{くみこう}*体験
- ・サーカス
- ・文化遺産

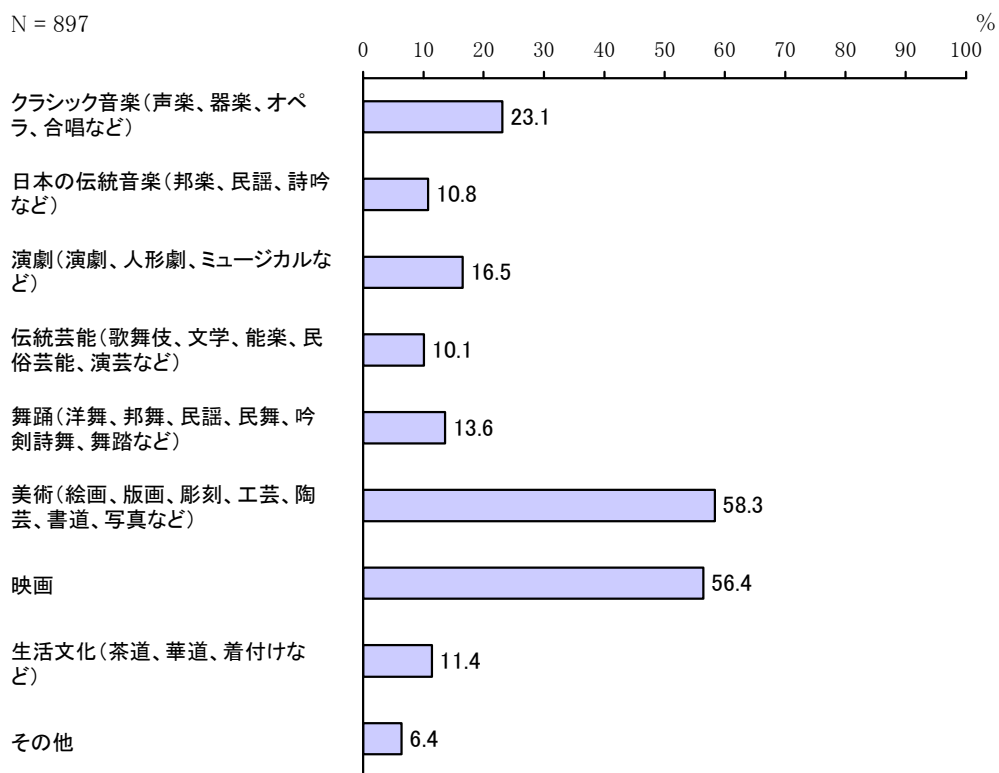
など

*香木の香りを聞き分ける遊びのこと

【前回比較】

選択肢が異なるため、参考にとどめます。

N = 897



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）」の割合が、年齢が低くなるにつれて「映画・映像」「漫画・アニメ」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、30歳未満で「文学（小説、詩、短歌、俳句など）」の割合が高くなっています。一方、30歳未満で「生活文化（いけばな、盆栽など）」の割合が、70歳以上で「映画・映像」の割合が低くなっています。

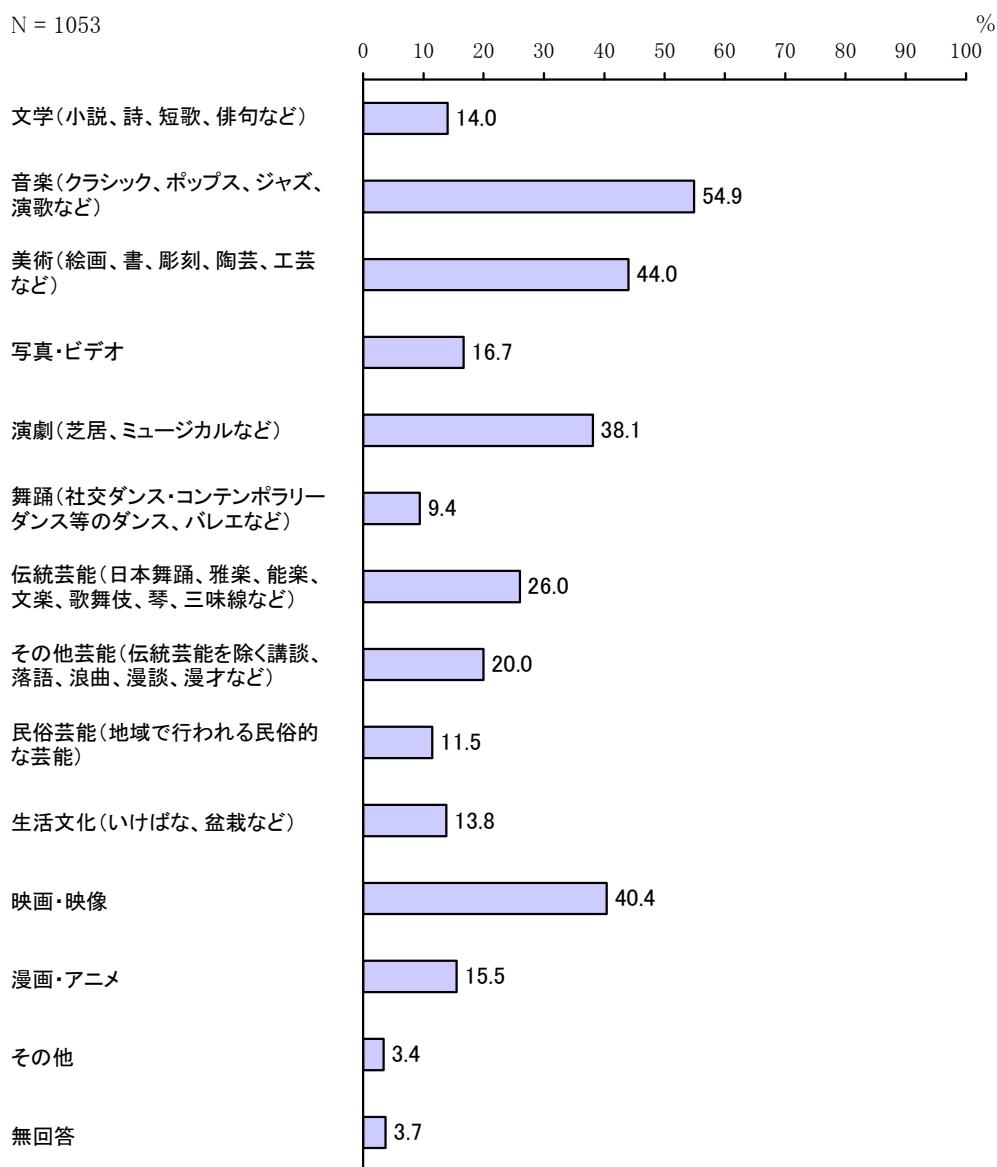
単位：%

区分	有効回答数（件）	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）	美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）	写真・ビデオ	演劇（芝居、ミュージカルなど）	舞踊（社交ダンス・コンテンポラリーダンス等のダンス、バレエなど）	文楽、歌舞伎、琴、三味線など）	伝統芸能（日本舞踊、雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、琴、三味線など）	その他芸能（伝統芸能を除く講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）	民俗芸能（地域で行われる民俗的な芸能）	生活文化（いけばな、盆栽など）	映画・映像	漫画・アニメ	その他	無回答
30歳未満	114	38.6	57.0	31.6	26.3	30.7	2.6	7.0	11.4	5.3	2.6	67.5	54.4	0.9	0.9	
30歳代	63	20.6	46.0	31.7	14.3	20.6	9.5	14.3	7.9	4.8	11.1	57.1	25.4	4.8	—	
40歳代	66	27.3	53.0	47.0	19.7	25.8	15.2	10.6	6.1	1.5	21.2	60.6	27.3	3.0	—	
50歳代	94	25.5	58.5	53.2	23.4	21.3	10.6	14.9	6.4	2.1	13.8	52.1	13.8	3.2	—	
60歳代	124	22.6	51.6	59.7	21.0	14.5	9.7	20.2	12.1	9.7	26.6	40.3	5.6	4.0	—	
70歳以上	110	20.0	50.0	61.8	17.3	14.5	5.5	26.4	4.5	6.4	25.5	31.8	1.8	1.8	—	

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

**問3 あなたは今後、どんな文化芸術の催しを鑑賞したいですか。
(あてはまるものすべてに○)**

「音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）」の割合が54.9%と最も高く、次いで「美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）」の割合が44.0%、「映画・映像」の割合が40.4%となっています。



【その他】

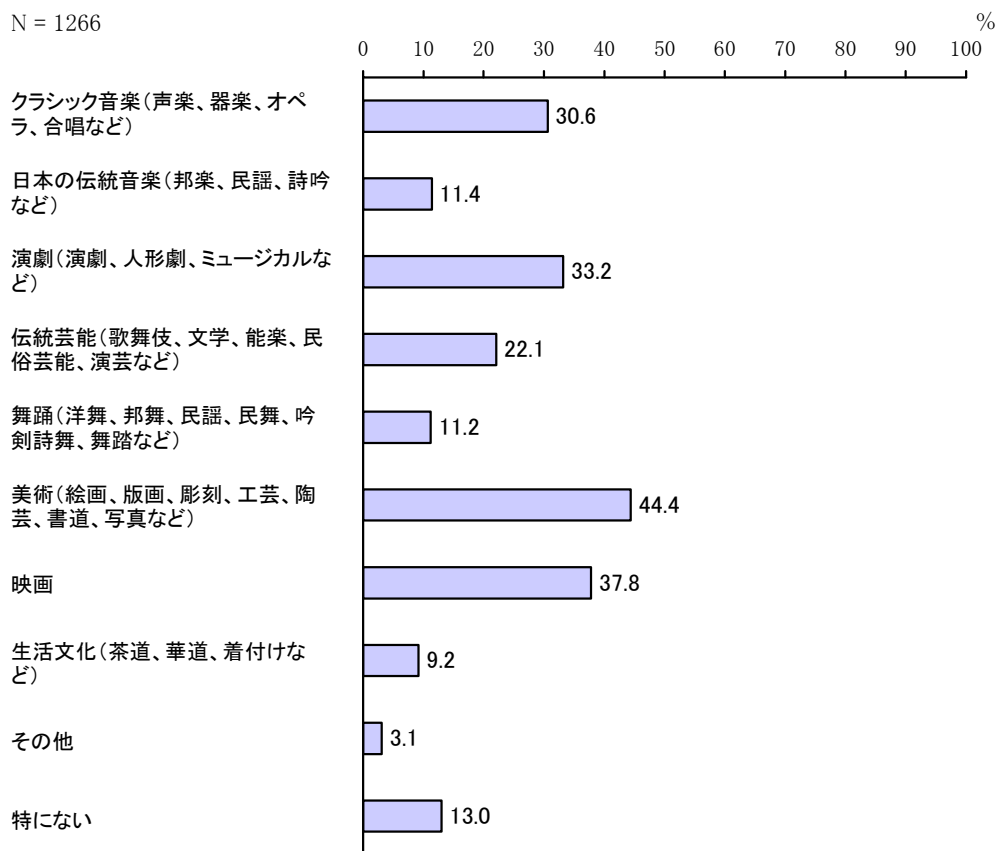
- ・ 琴の演奏
- ・ 著名人の文化講演会
- ・ 文化遺産

など

【前回比較】

選択肢が異なるため、参考にとどめます。

N = 1266



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「伝統芸能（日本舞踊、雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、琴、三味線など）」の割合が、年齢が低くなるにつれて「映画・映像」「漫画・アニメ」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、30歳未満で「文学（小説、詩、短歌、俳句など）」「写真・ビデオ」の割合が、60歳代、70歳以上で「民俗芸能（地域で行われる民俗的な芸能）」「生活文化（いけばな、盆栽など）」の割合が高くなっています。

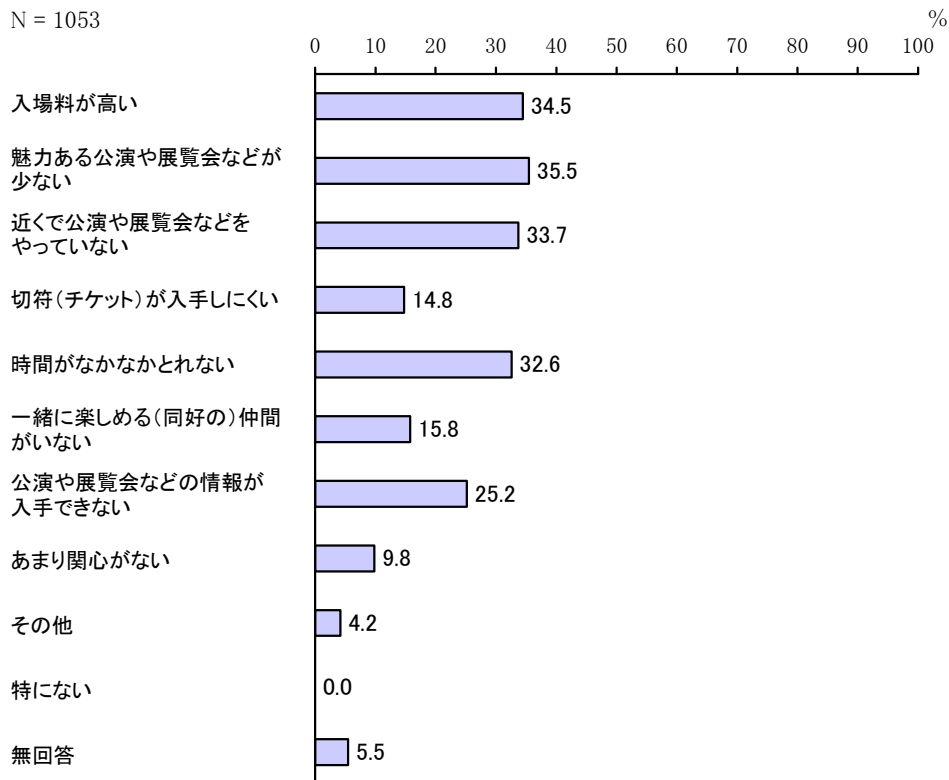
単位：%

区分	有効回答数（件）	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）	美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）	写真・ビデオ	演劇（芝居、ミュージカルなど）	舞踊（社交ダンス・コンテンポラリーダンス等のダンス、バレエなど）	伝統芸能（日本舞踊、雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、琴、三味線など）	その他芸能（伝統芸能を除く講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）	民俗芸能（地域で行われる民俗的な芸能）	生活文化（いけばな、盆栽など）	映画・映像	漫画・アニメ	その他	無回答
30歳未満	234	22.2	56.4	32.9	27.4	37.6	6.0	15.0	14.5	4.7	6.0	53.4	38.0	2.6	2.1
30歳代	121	7.4	47.1	37.2	9.9	48.8	9.9	24.8	12.4	5.0	14.9	43.8	19.8	5.0	5.0
40歳代	109	7.3	58.7	41.3	12.8	41.3	9.2	23.9	20.2	8.3	6.4	40.4	17.4	4.6	1.8
50歳代	160	11.3	63.1	47.5	13.8	41.9	12.5	29.4	20.6	10.6	11.3	46.3	10.6	0.6	3.8
60歳代	211	15.6	54.5	54.0	15.6	37.9	10.9	31.3	27.5	19.0	21.3	34.6	4.7	3.8	2.4
70歳以上	197	12.7	48.7	49.2	14.2	27.9	7.6	32.5	22.8	17.8	20.3	26.9	0.5	5.1	6.1

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

問4 あなたが文化芸術の鑑賞をしようとするときに、問題となることはありますか。
(〇は3つまで)

「魅力ある公演や展覧会などが少ない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「入場料が高い」の割合が34.5%、「近くで公演や展覧会などをやっていない」の割合が33.7%となっています。



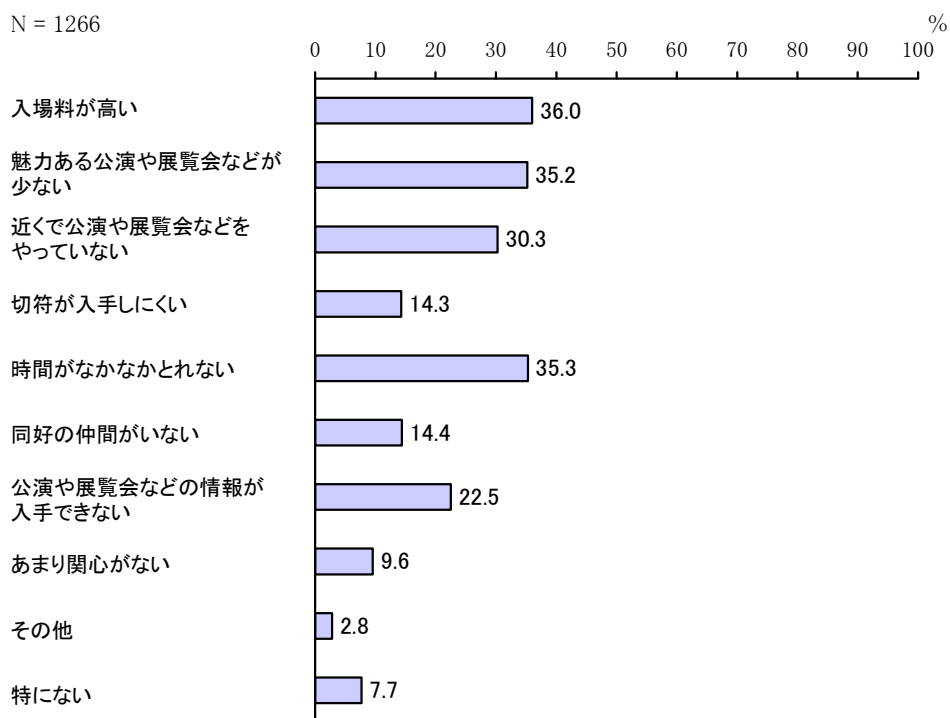
【その他】

- ・交通の便が悪い
- ・子どもが幼いためなかなか一緒に入場できない

など

【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢の低い30歳未満から50歳代で「時間がなかなかとれない」の割合が高くなっています。また、30歳未満で「一緒に楽しめる（同好の）仲間がいない」の割合が、40歳代で「魅力ある公演や展覧会などが少ない」の割合が高くなっています。一方、30歳代で「公演や展覧会などの情報が入手できない」の割合が、70歳以上で「入場料が高い」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	入場料が高い	魅力ある公演や展覧会などが少ない	近くで公演や展覧会などをやっていない	切符（チケット）が入手しにくい	時間がなかなかとれない	一緒に楽しめる（同好の）仲間がいない	公演や展覧会などの情報が入手できない	あまり関心がない	その他	特にない	無回答
30歳未満	234	38.9	28.2	32.5	14.5	38.0	20.1	26.9	15.0	2.6	—	3.0
30歳代	121	45.5	34.7	27.3	11.6	43.0	12.4	18.2	9.1	9.1	—	1.7
40歳代	109	36.7	45.9	34.9	15.6	41.3	13.8	26.6	10.1	1.8	—	2.8
50歳代	160	35.6	40.0	31.3	19.4	38.1	12.5	27.5	9.4	0.6	—	3.8
60歳代	211	33.6	36.5	36.5	13.7	23.7	15.2	24.6	6.2	4.3	—	10.0
70歳以上	197	20.3	35.5	37.6	14.2	20.3	16.8	24.9	7.1	7.6	—	8.6

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

【1年間の鑑賞経験別】

1年間の鑑賞経験別でみると、「鑑賞した人」が最も問題としたのは、「魅力ある公演や展覧会などが少ない」で、「鑑賞しなかった人」が選んだのは「時間がなかなかとれない」でした。

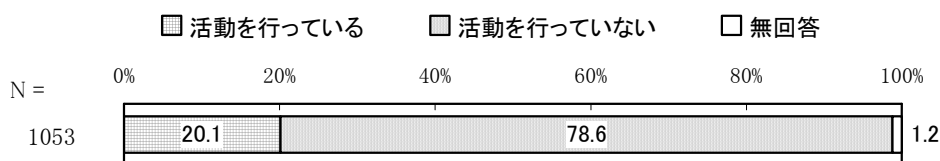
単位：％

区分	有効回答数（件）	入場料が高い	魅力ある公演や展覧会などが少ない	近くで公演や展覧会などをやっていない	切符（チケット）が入手しにくい	時間がなかなかとれない	一緒に楽しめる（同好の）仲間がいない	公演や展覧会などの情報が入手できない	あまり関心がない	その他	特にない	無回答
鑑賞した	582	37.8	41.2	38.0	16.8	32.0	11.2	24.6	3.3	5.0	—	5.5
鑑賞していない	466	30.7	28.3	28.1	12.2	33.5	21.5	26.0	18.0	3.2	—	5.4

3 文化芸術活動についておたずねします。

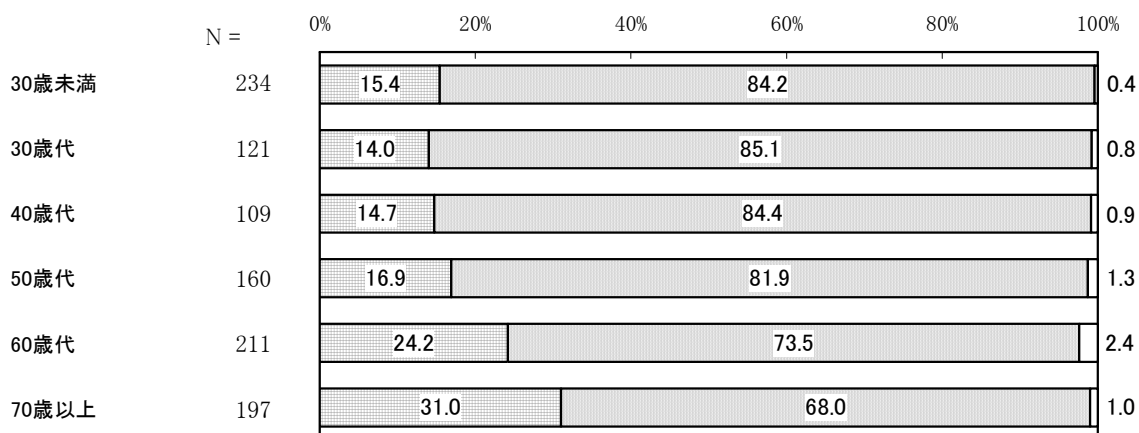
問5 あなたは、文化芸術活動を行っていますか。(〇はひとつ)

「活動を行っている」の割合 20.1%となっています。



【年齢別】

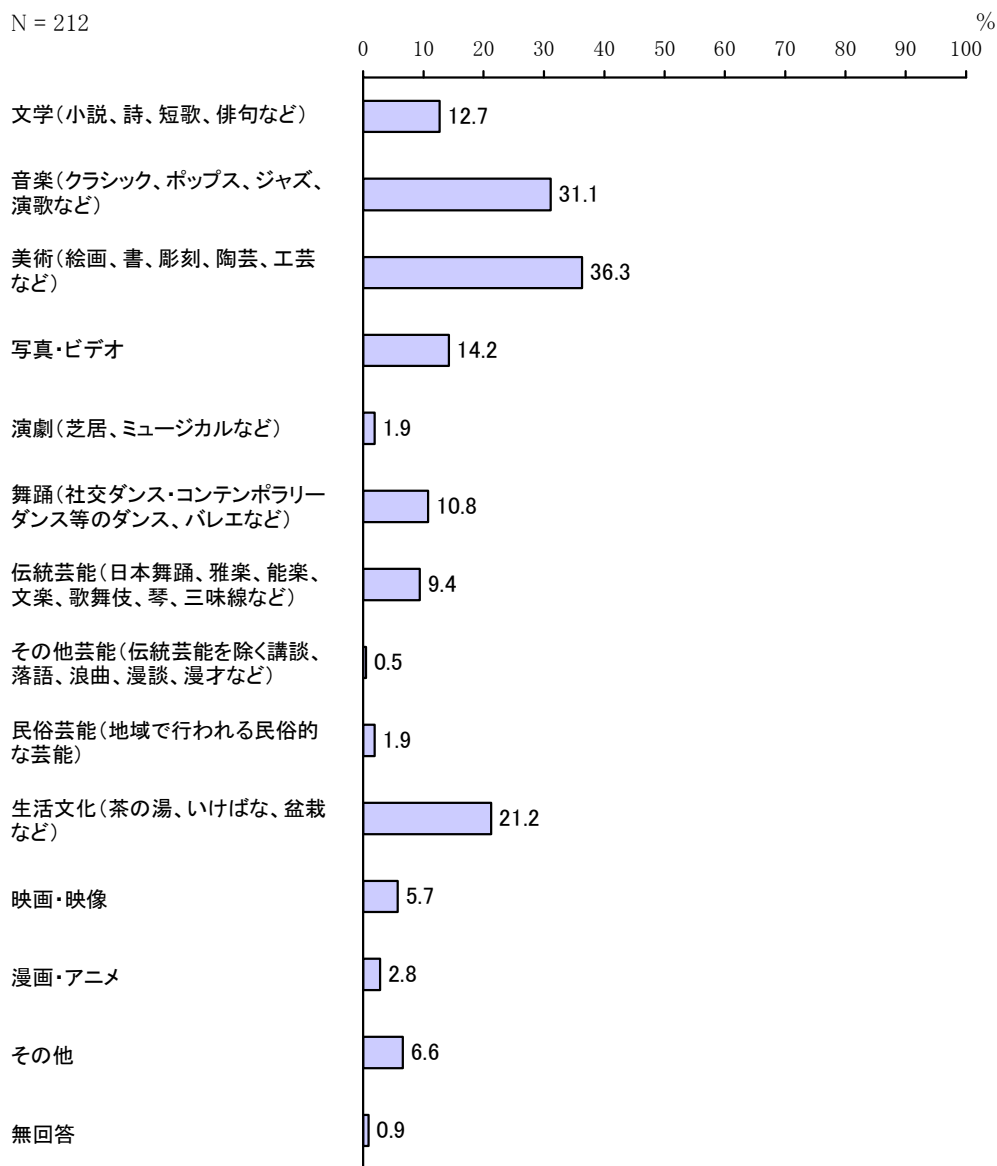
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「活動を行っている」の割合が高くなる傾向がみられます。



※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

問5-1 問5で「1. 活動を行っている」と答えた方にお聞きます。あなたが、主に活動した分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）」の割合が36.3%と最も高く、次いで「音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）」の割合が31.1%、「生活文化（茶の湯、いけばな、盆栽など）」の割合が21.2%となっています。



【その他】

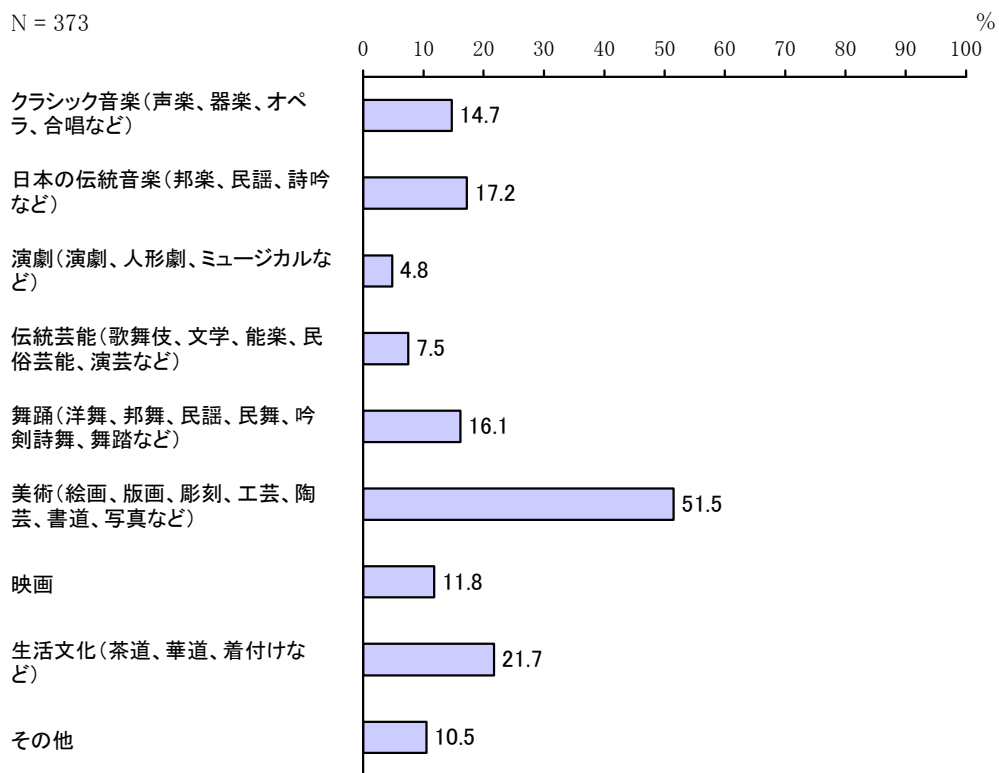
- ・ 香道
- ・ 料理教室

など

【前回比較】

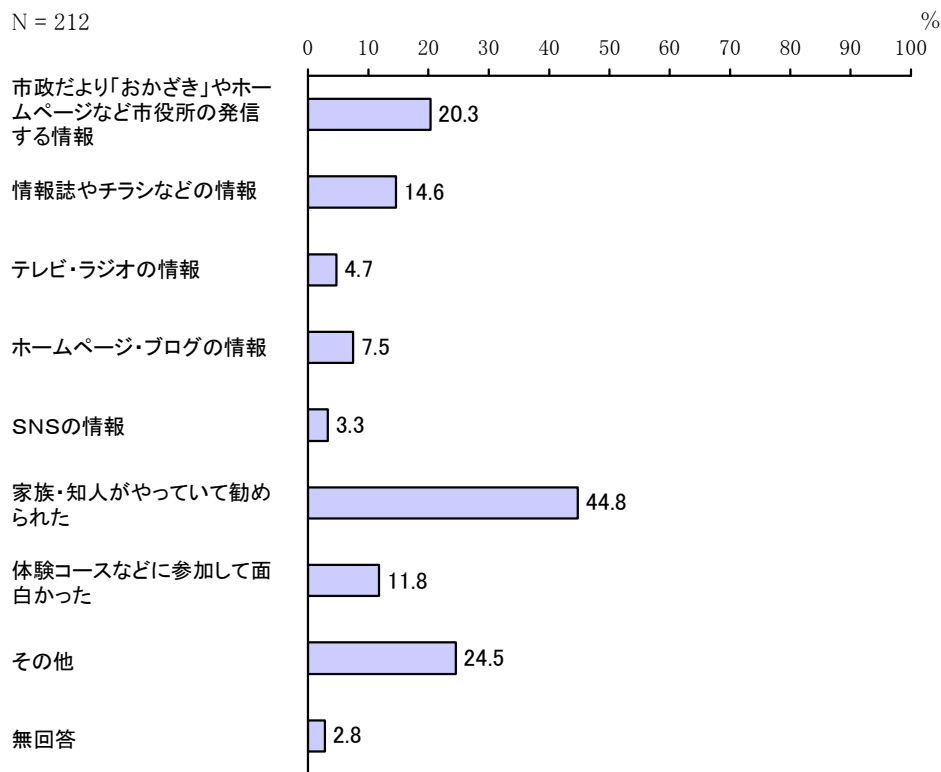
選択肢が異なるため、参考にとどめます。

N = 373



問5-2 問5で「1. 活動を行っている」と答えた方にお聞きします。あなたが、文化芸術活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・知人がやっていて勧められた」の割合が44.8%と最も高く、次いで「市政だより「おかざき」やホームページなど市役所の発信する情報」の割合が20.3%、「情報誌やチラシなどの情報」の割合が14.6%となっています。



【その他】

- ・退職してからの趣味として
- ・子どものころから自然に
- ・岡崎市の定期講座で受講したのがきっかけ

など

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「SNSの情報」の割合が、30歳代で「ホームページ・ブログの情報」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「市政だより「おかげさき」やホームページなど市役所の発信する情報」の割合が高くなっています。

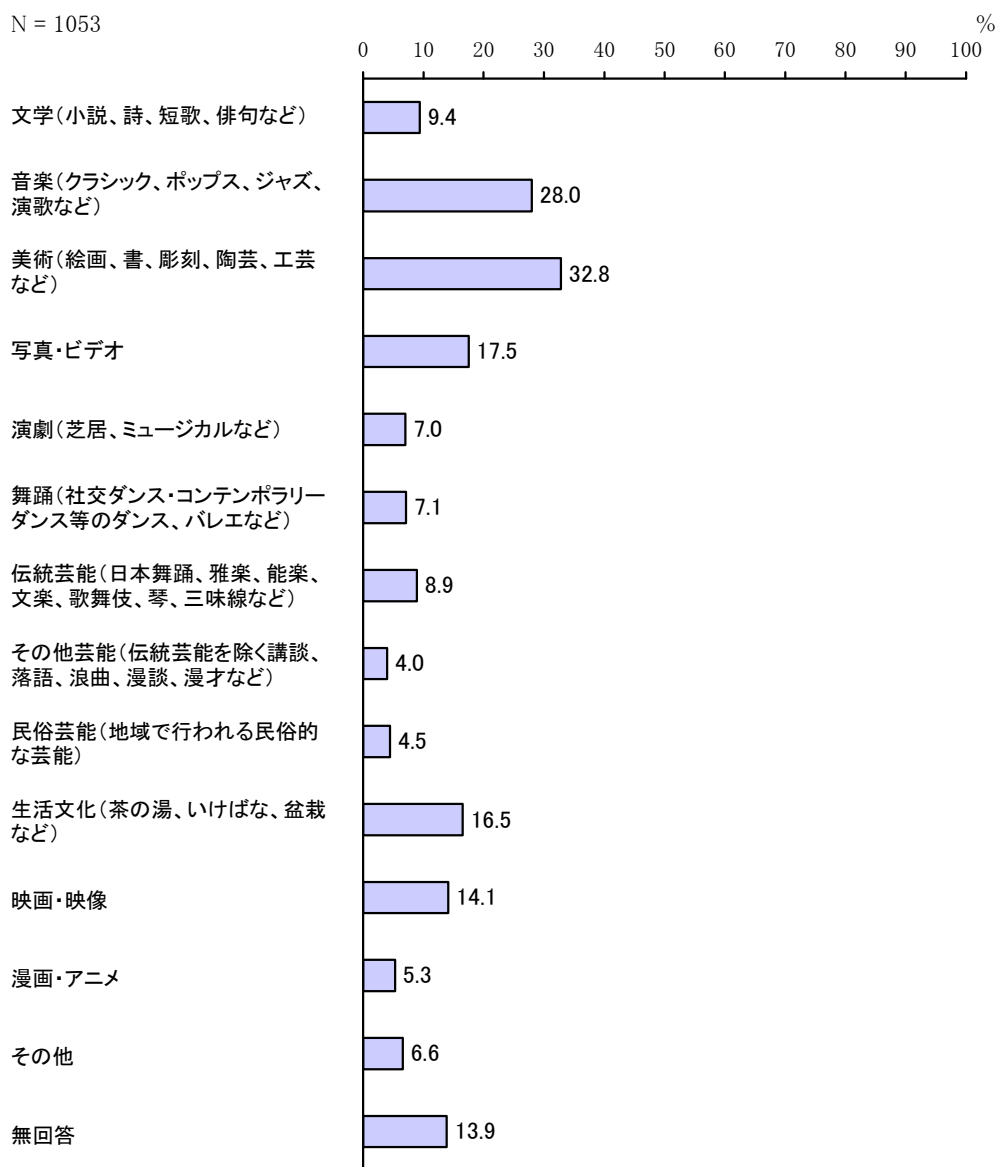
単位：%

区分	有効回答数(件)	市政だより「おかげさき」やホームページなど市役所の発信する情報	情報誌やチラシなどの情報	テレビ・ラジオの情報	ホームページ・ブログの情報	SNSの情報	家族・知人がやっている勧められた	体験コースなどに参加して面白かった	その他	無回答
30歳未満	36	2.8	—	2.8	13.9	16.7	44.4	—	38.9	—
30歳代	17	—	5.9	11.8	35.3	—	47.1	5.9	17.6	—
40歳代	16	—	18.8	—	—	—	25.0	31.3	50.0	—
50歳代	27	7.4	22.2	—	11.1	—	51.9	14.8	37.0	—
60歳代	51	23.5	29.4	5.9	3.9	2.0	41.2	13.7	13.7	7.8
70歳以上	61	44.3	8.2	6.6	—	—	52.5	13.1	11.5	3.3

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

問6 あなたは、今後どんな文化芸術活動を行いたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

「美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）」の割合が 28.0%、「写真・ビデオ」の割合が 17.5%となっています。



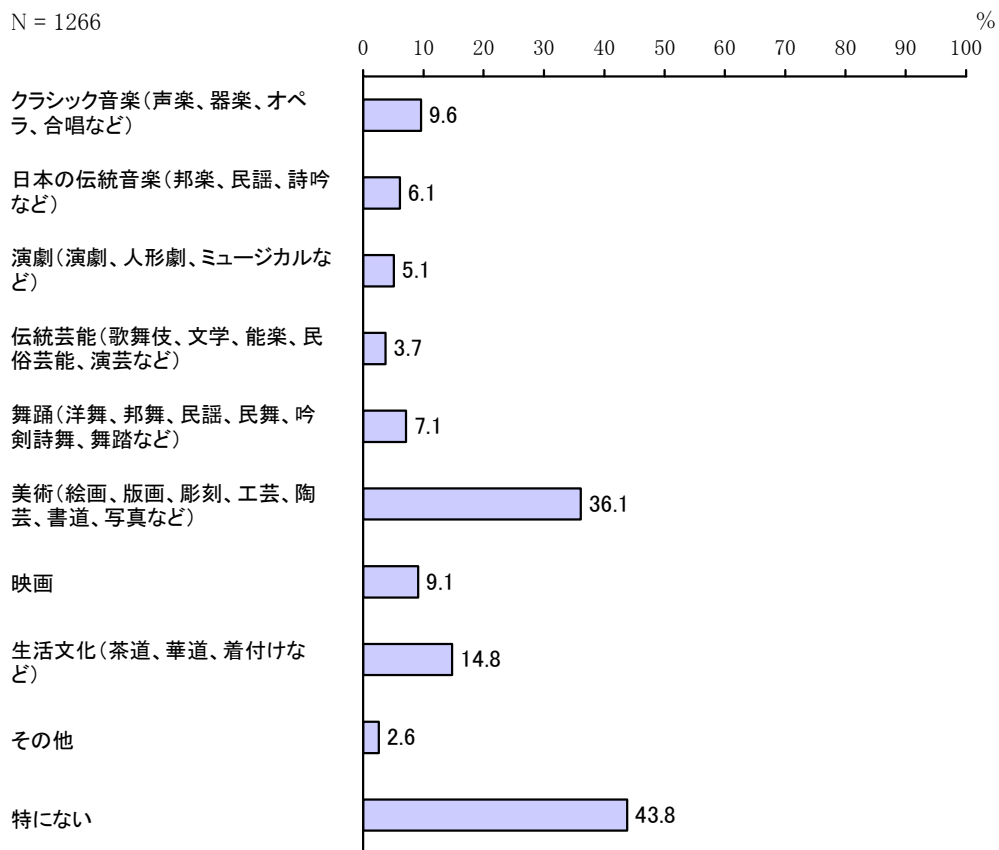
【その他】

- ・手話
- ・大きな会場ばかりでなく、近隣身近な場所で文化を広めたい

など

【前回比較】

選択肢が異なるため、参考にとどめます。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）」「写真・ビデオ」の割合が、30歳代で「舞踊（社交ダンス・コンテンポラリーダンス等のダンス、バレエなど）」「生活文化（茶の湯、いけばな、盆栽など）」の割合が高くなっています。

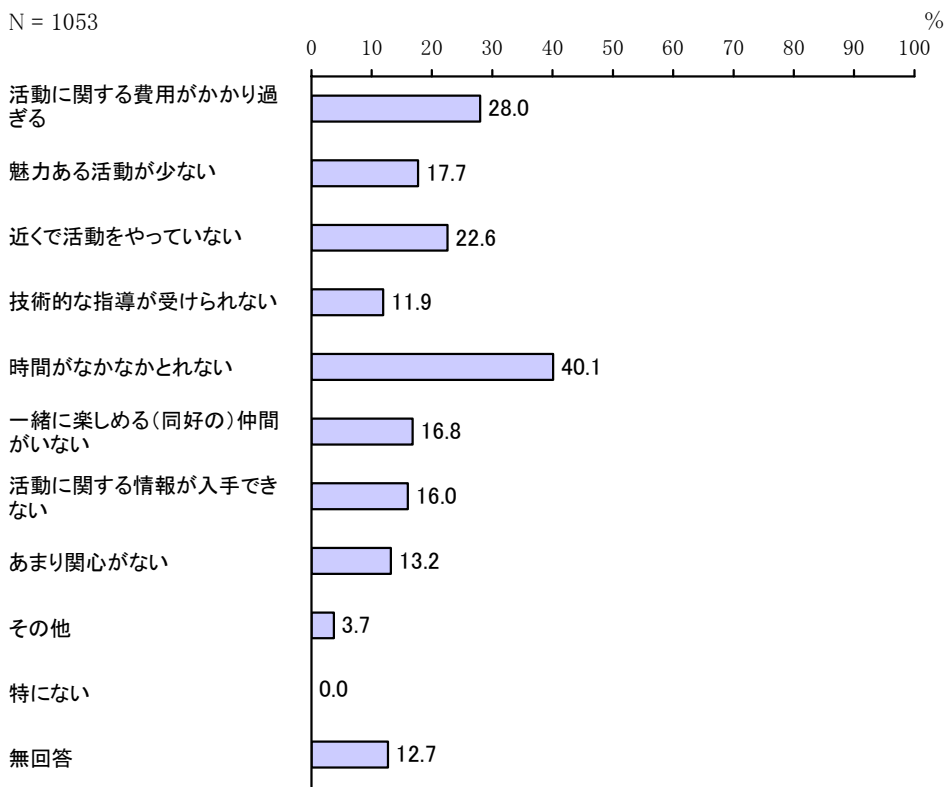
単位：％

区分	有効回答数（件）	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	音楽（クラシック、ポップス、ジャズ、演歌など）	美術（絵画、書、彫刻、陶芸、工芸など）	写真・ビデオ	演劇（芝居、ミュージカルなど）	舞踊（社交ダンス・コンテンポラリーダンス等のダンス、バレエなど）	伝統芸能（日本舞踊、雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、琴、三味線など）	その他芸能（伝統芸能を除く講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）	民俗芸能（地域で行われる民俗的な芸能）	生活文化（茶の湯、いけばな、盆栽など）	映画・映像	漫画・アニメ	その他	無回答
30歳未満	234	11.1	34.2	20.5	28.6	9.4	3.8	5.6	3.4	2.6	10.3	18.4	17.5	8.5	8.1
30歳代	121	4.1	25.6	34.7	16.5	5.8	14.0	9.1	2.5	2.5	28.9	9.9	4.1	6.6	5.8
40歳代	109	5.5	23.9	38.5	15.6	4.6	6.4	2.8	1.8	2.8	17.4	11.0	5.5	10.1	10.1
50歳代	160	7.5	27.5	38.1	13.1	8.8	8.1	8.8	1.3	5.0	16.3	14.4	1.9	4.4	17.5
60歳代	211	12.3	28.4	38.4	15.2	6.6	9.0	12.3	8.1	4.7	19.0	13.3	0.5	3.8	14.7
70歳以上	197	11.7	23.9	33.0	11.7	5.6	4.1	11.7	4.6	7.1	13.7	15.2	—	8.1	21.8

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

問7 あなたがご自身で文化芸術活動を行おうとするときに問題となることはありますか。(〇は3つまで)

「時間がなかなかとれない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「活動に関する費用がかかり過ぎる」の割合が28.0%、「近くで活動をやっていない」の割合が22.6%となっています。



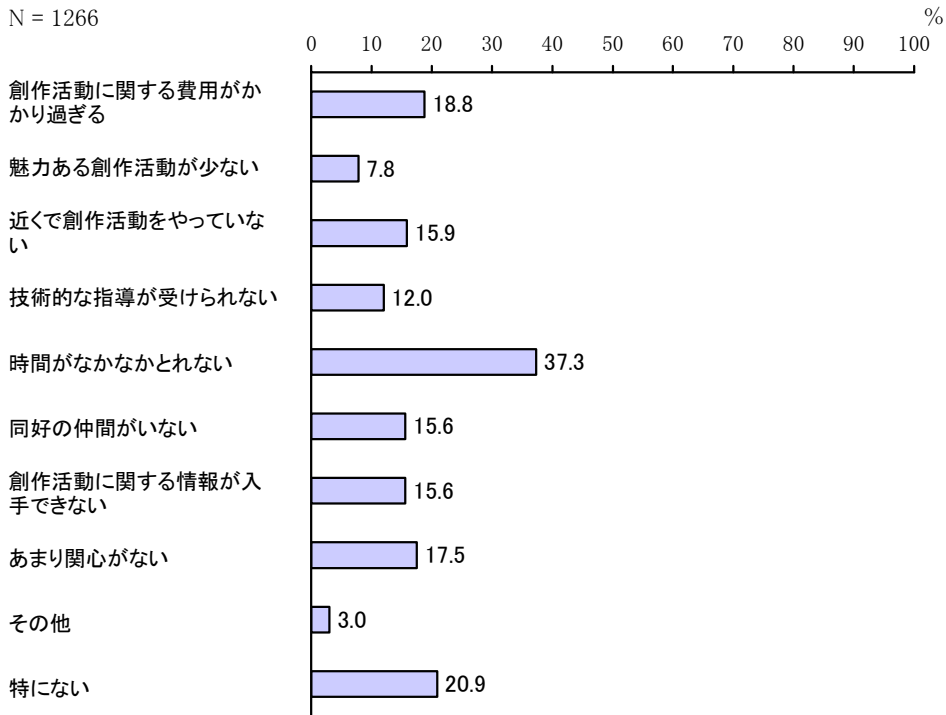
【その他】

- ・子どもが幼いため預ける人(家族など)の協力がないと続けられない
- ・交通が不便で目的地までなかなか行けない

など

【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、「活動に関する費用がかかり過ぎる」の割合が 9.2 ポイント、「魅力ある活動が少ない」の割合が 9.9 ポイント、「近くで活動をしていない」の割合が 6.7 ポイント増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「技術的な指導が受けられない」の割合が、30 歳代、40 歳代、50 歳代で「時間になかなかとれない」の割合が、60 歳代で「活動に関する情報が入手できない」の割合が高くなっています。

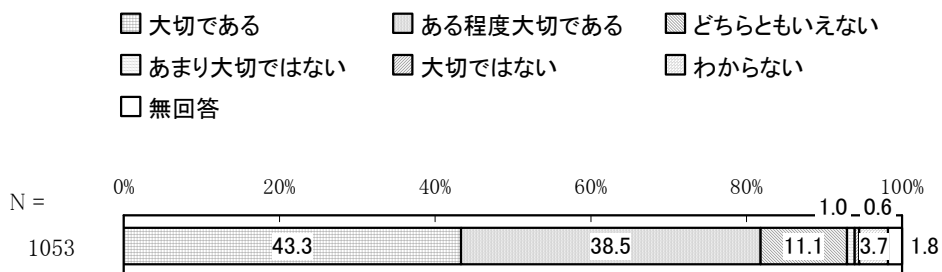
単位：%

区分	有効回答数 (件)	活動に関する費用がかかり過ぎる	魅力ある活動が少ない	近くで活動をしていない	技術的な指導が受けられない	時間になかなかとれない	同好の仲間がいない (一緒に楽しめる (同好) 仲間がいない)	活動に関する情報が入手できない	あまり関心がない	その他	特にない	無回答
30 歳未満	234	31.6	20.1	16.2	19.2	43.2	16.7	15.0	16.7	3.0	—	8.5
30 歳代	121	32.2	10.7	24.8	9.9	57.9	15.7	12.4	14.0	5.0	—	5.0
40 歳代	109	32.1	19.3	22.0	8.3	50.5	19.3	11.0	18.3	0.9	—	6.4
50 歳代	160	31.9	17.5	21.9	9.4	54.4	13.8	15.6	12.5	3.8	—	6.3
60 歳代	211	21.3	22.7	24.6	9.5	27.5	16.1	23.7	8.5	3.3	—	20.9
70 歳以上	197	22.8	12.7	27.4	11.2	21.8	19.8	13.2	11.2	5.6	—	22.3

※10 歳代、20 歳代ともに傾向が似ているため、まとめて 30 歳未満と表記しています。

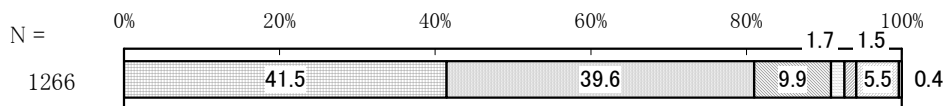
問8 あなたは、日常生活の中で文化芸術の鑑賞をしたり、ご自身で活動を行うなど、文化に触れることは、大切だと思いますか（〇はひとつ）

「大切である」と「ある程度大切である」をあわせた“大切である”の割合が81.8%、「どちらともいえない」の割合が11.1%、「あまり大切ではない」と「大切ではない」をあわせた“大切ではない”の割合が1.6%となっています。



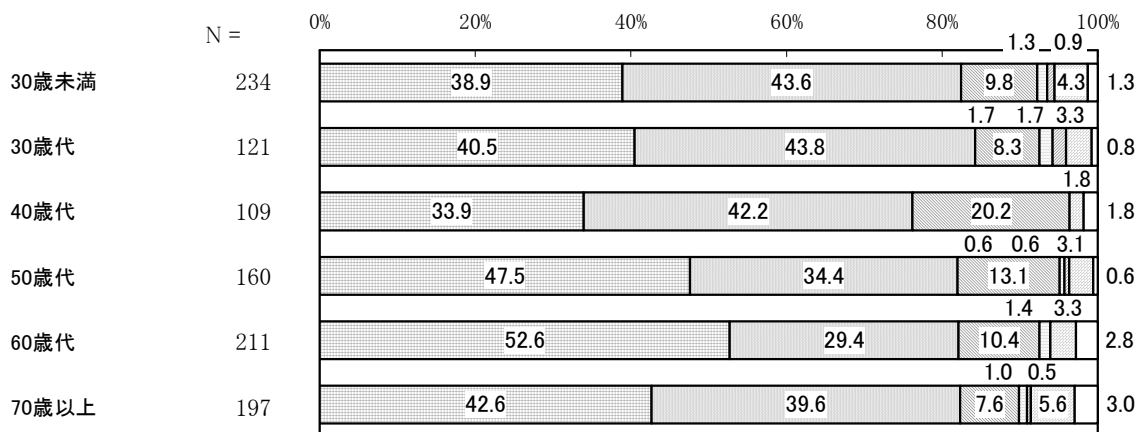
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“大切である”の割合が低くなっています。

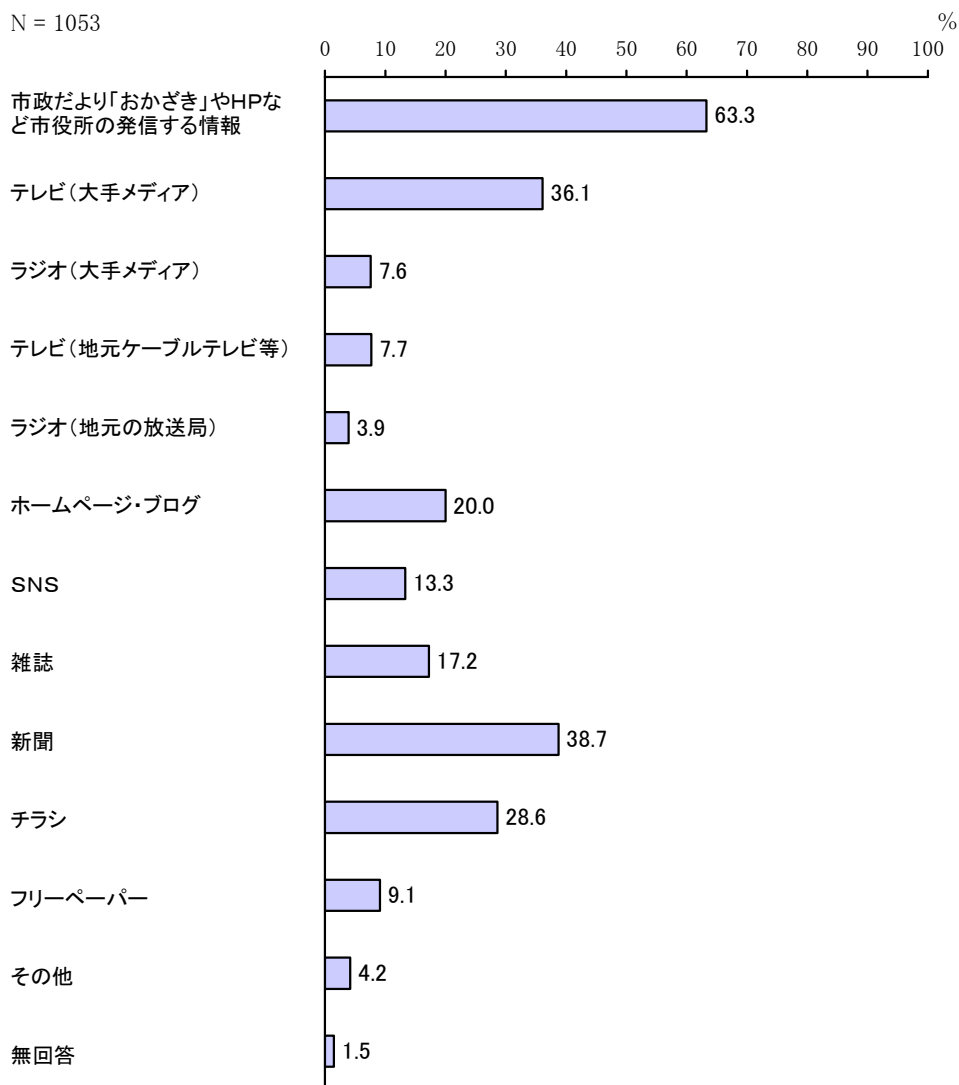


※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

4 文化情報についておたずねします。

問9 あなたは、文化に関する情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

「市政だより「おかざき」やHPなど市役所の発信する情報」の割合が63.3%と最も高く、次いで「新聞」の割合が38.7%、「テレビ(大手メディア)」の割合が36.1%となっています。



【その他】

- ・図書館で直接情報を知る
- ・知人からの情報

など

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「市政だより『おかざき』やHPなど市役所の発信する情報」の割合が、年齢が低くなるにつれて「SNS」の割合が高くなっています。また、他に比べ、30歳未満で「SNS」の割合が、30歳代で「ホームページ・ブログ」「フリーペーパー」の割合が、40歳代で「ラジオ（大手メディア）」の割合が高くなっています。

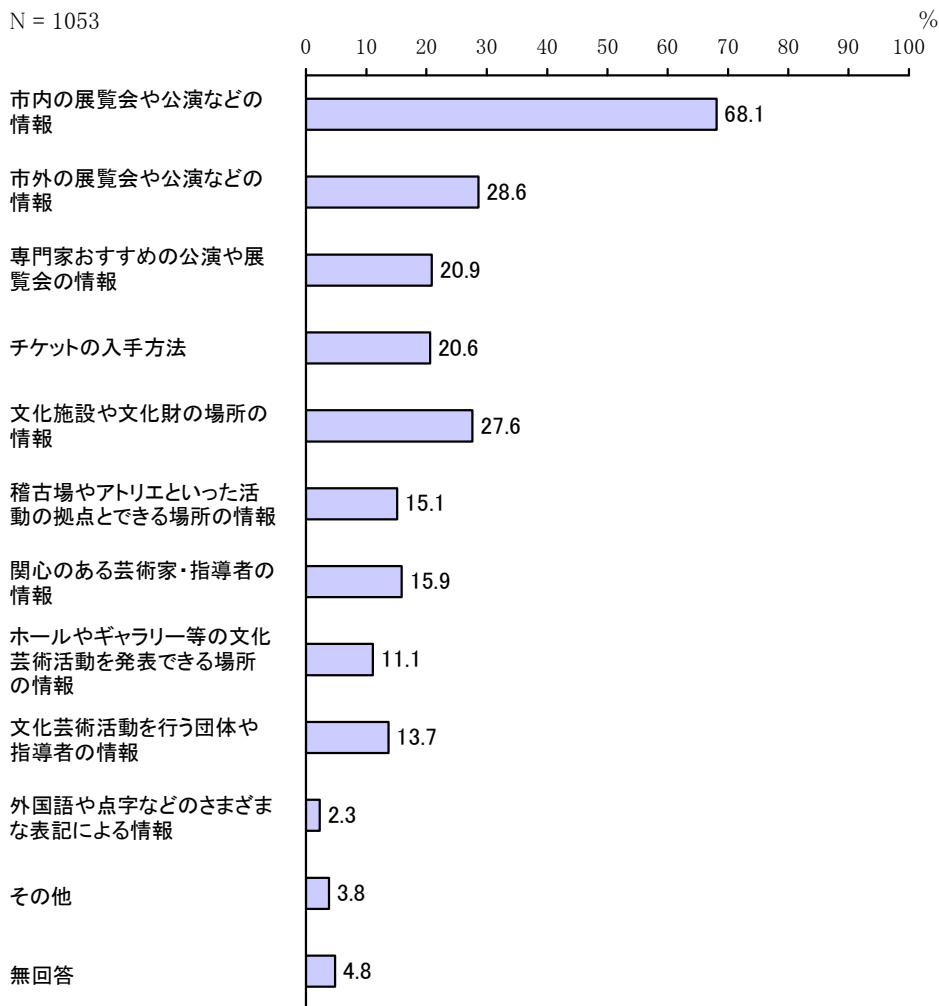
単位：%

区分	有効回答数（件）	市政だより「おかざき」やHPなど市役所の発信する情報	テレビ（大手メディア）	ラジオ（大手メディア）	テレビ（地元ケーブルテレビ等）	ラジオ（地元の放送局）	ホームページ・ブログ	SNS	雑誌	新聞	チラシ	フリーペーパー	その他	無回答
30歳未満	234	32.1	42.7	5.1	11.5	3.0	26.1	39.3	14.5	17.9	15.0	8.1	5.1	—
30歳代	121	56.2	31.4	8.3	3.3	2.5	37.2	15.7	16.5	15.7	25.6	24.0	3.3	1.7
40歳代	109	60.6	39.4	14.7	4.6	2.8	29.4	10.1	25.7	36.7	29.4	14.7	3.7	—
50歳代	160	73.1	41.3	3.8	4.4	5.6	17.5	5.6	21.9	49.4	28.1	8.1	3.1	0.6
60歳代	211	78.7	31.3	8.5	7.6	3.3	14.2	2.8	18.0	55.5	37.0	4.7	3.3	2.4
70歳以上	197	80.7	30.5	7.1	9.1	5.1	6.1	1.5	10.7	51.8	36.0	4.1	5.6	3.6

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

問 10 どのような情報があれば、もっと文化芸術活動を行ったり、参加することができるとお思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「市内の展覧会や公演などの情報」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「市外の展覧会や公演などの情報」の割合が 28.6%、「文化施設や文化財の場所の情報」の割合が 27.6%となっています。



【その他】

- ・ 託児施設の情報
- ・ 学校での配布
- ・ 場所、コスト、活動できる日をホームページに掲載してほしい

など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で「市外の展覧会や公演などの情報」の割合が、50歳代、60歳代、70歳以上で「文化施設や文化財の場所の情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の展覧会や公演などの情報	市外の展覧会や公演などの情報	専門家おすすめの公演や展覧会の情報	チケットの入手方法	文化施設や文化財の場所の情報	稽古場やアトリエといった活動の拠点とできる場所の情報	報 関心のある芸術家・指導者の情報	ホールやギャラリー等の文化芸術活動を発表できる場所の情報	文化芸術活動を行う団体や指導者の情報	外国語や点字などのさまざまな表記による情報	その他	無回答
20歳未満	126	50.8	26.2	23.8	22.2	21.4	12.7	16.7	14.3	8.7	3.2	4.8	2.4
20歳代	108	63.9	28.7	24.1	22.2	19.4	14.8	19.4	5.6	4.6	8.3	3.7	0.9
30歳代	121	69.4	21.5	22.3	14.9	18.2	17.4	13.2	8.3	10.7	1.7	4.1	3.3
40歳代	109	71.6	28.4	22.9	19.3	21.1	15.6	19.3	12.8	13.8	3.7	2.8	1.8
50歳代	160	68.8	35.6	23.1	25.6	31.3	16.3	18.1	9.4	13.8	—	2.5	3.1
60歳代	211	75.8	35.5	20.4	21.8	34.6	20.9	17.1	13.7	20.4	0.5	2.8	6.6
70歳以上	197	68.5	20.8	15.2	17.3	35.0	8.1	10.2	12.2	16.2	2.0	5.6	10.2

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、40年以上で「文化施設や文化財の場所の情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の展覧会や公演などの情報	市外の展覧会や公演などの情報	専門家おすすめの公演や展覧会の情報	チケットの入手方法	文化施設や文化財の場所の情報	稽古場やアトリエといった活動の拠点とできる場所の情報	報 関心のある芸術家・指導者の情報	ホールやギャラリー等の文化芸術活動を発表できる場所の情報	文化芸術活動を行う団体や指導者の情報	外国語や点字などのさまざまな表記による情報	その他	無回答
10年未満	101	72.3	24.8	23.8	22.8	24.8	17.8	13.9	7.9	11.9	3.0	5.9	3.0
10～19年	210	56.2	24.8	23.8	19.5	23.8	13.8	19.0	13.3	8.6	4.3	4.3	2.9
20～29年	150	67.3	30.7	26.7	23.3	23.3	18.0	19.3	10.0	13.3	4.7	1.3	2.0
30～39年	155	73.5	30.3	17.4	19.4	25.8	20.0	16.8	12.3	16.1	1.3	2.6	5.2
40年以上	428	70.8	30.1	18.2	19.9	32.0	12.6	13.1	11.0	15.7	0.7	4.4	7.0

【文化芸術活動別】

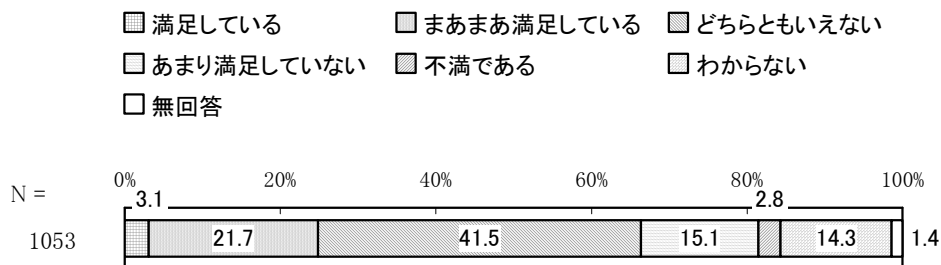
文化芸術活動別でみると、活動を行っている人で「市内の展覧会や公演などの情報」の割合が最も高く、次いで「市外の展覧会や公演などの情報」となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の展覧会や公演などの情報	市外の展覧会や公演などの情報	専門家おすすめの公演や展覧会の情報	チケットの入手方法	文化施設や文化財の場所の情報	稽古場やアトリエといった活動の拠点とできる場所の情報	関心のある芸術家・指導者の情報	ホールやギャラリー等の文化芸術活動を発表できる場所の情報	文化芸術活動を行う団体や指導者の情報	外国語や点字などのさまざまな表記による情報	その他	無回答
活動を行っている	212	69.8	41.5	25.5	15.6	26.9	28.8	23.6	19.8	26.9	2.8	1.4	2.4
活動を行っていない	828	67.5	24.9	19.8	22.0	27.9	11.8	13.9	8.8	10.3	2.2	4.5	5.4

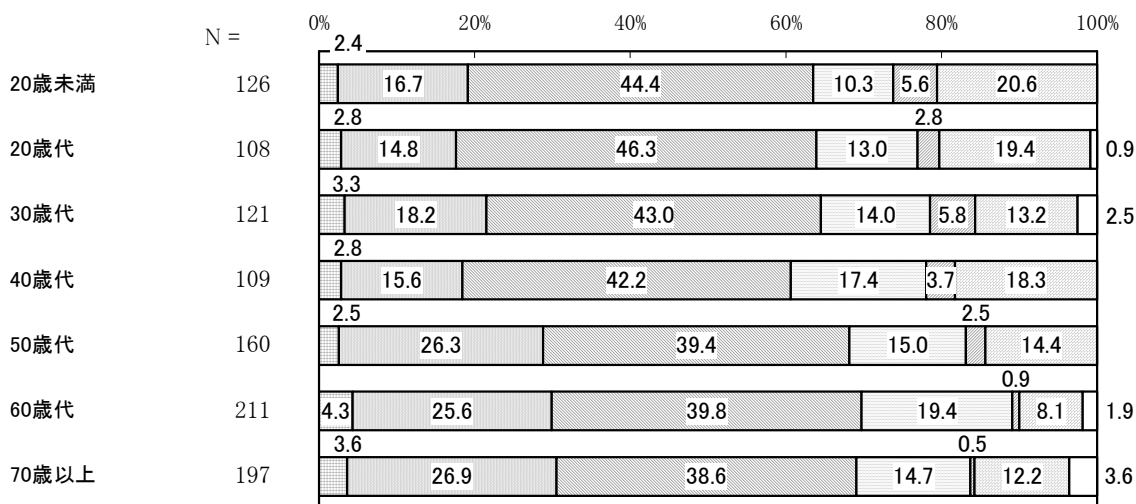
問 11 市の文化イベントや文化活動等の、文化芸術に関する情報提供について、満足していますか。(〇はひとつ)

「満足している」と「まあまあ満足している」をあわせた“満足している”の割合が 24.8%、「どちらともいえない」の割合が 41.5%、「あまり満足していない」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が 17.9%となっています。



【年齢別】

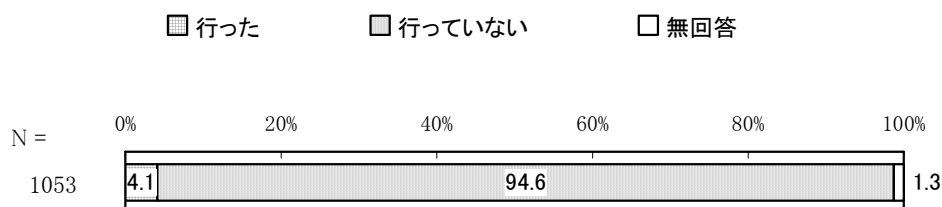
年齢別でみると、50歳代、60歳代、70歳以上で“満足している”の割合が高くなっています。



5 歴史文化の継承と活用についておたずねします。

問 12 あなたは、ここ1年で、伝統芸能（日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴、詩吟詩舞、小唄、長唄、和太鼓など）を行いましたか。行った場合は、具体的にお書きください。（○はひとつ）

「行った」の割合が4.1%、「行っていない」の割合が94.6%となっています。



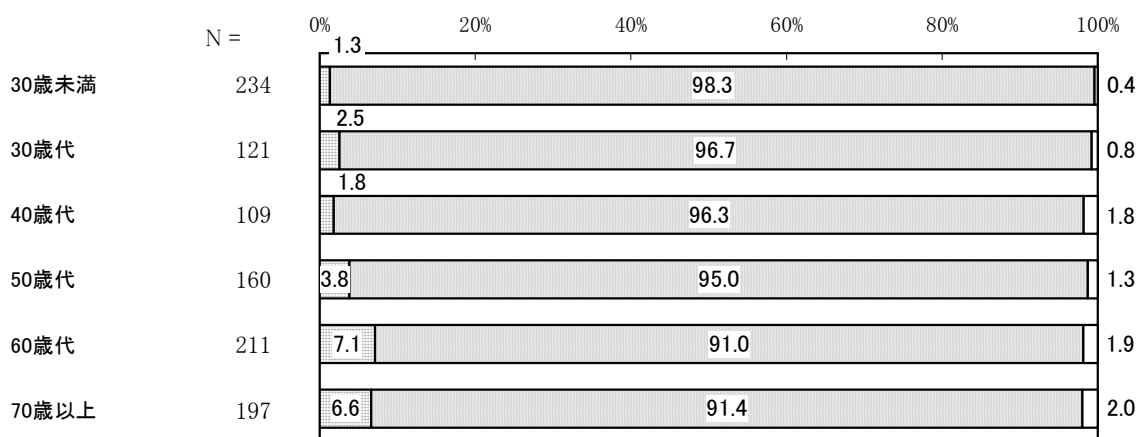
【行った内容】

- ・せきれいホールにて大正琴の演奏
- ・岡崎ボランティア芸能祭
- ・日生付美香会 歌舞伎（市川猿ノ助）

など

【年齢別】

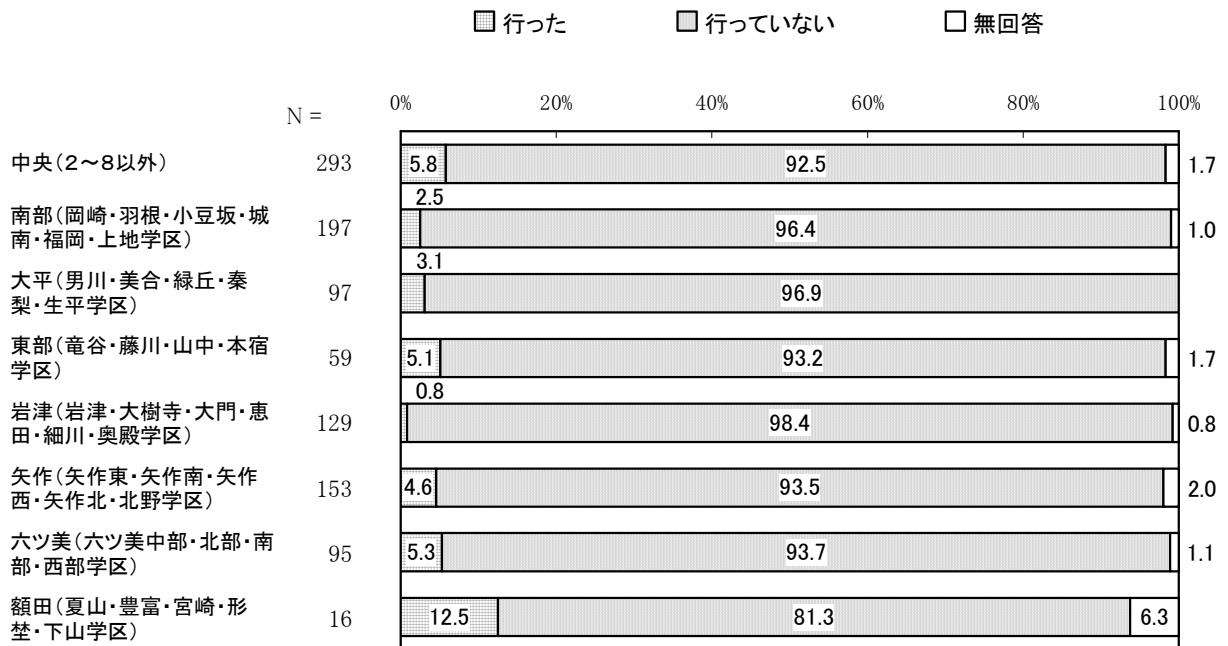
年齢別でみると、大きな差異はみられませんが、年齢が高くなるにつれて「行った」の割合が高くなる傾向がみられます。



※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

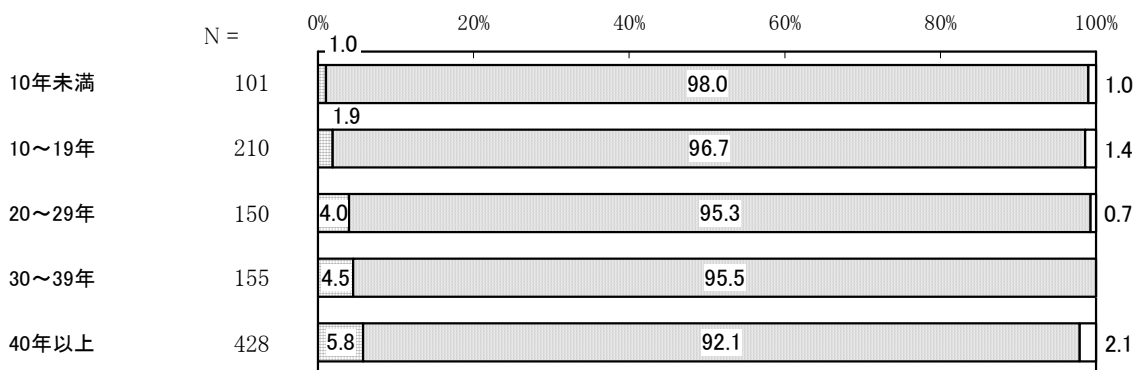
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、額田（夏山・豊富・宮崎・形埜・下山学区）で「行った」の割合が高くなっています。



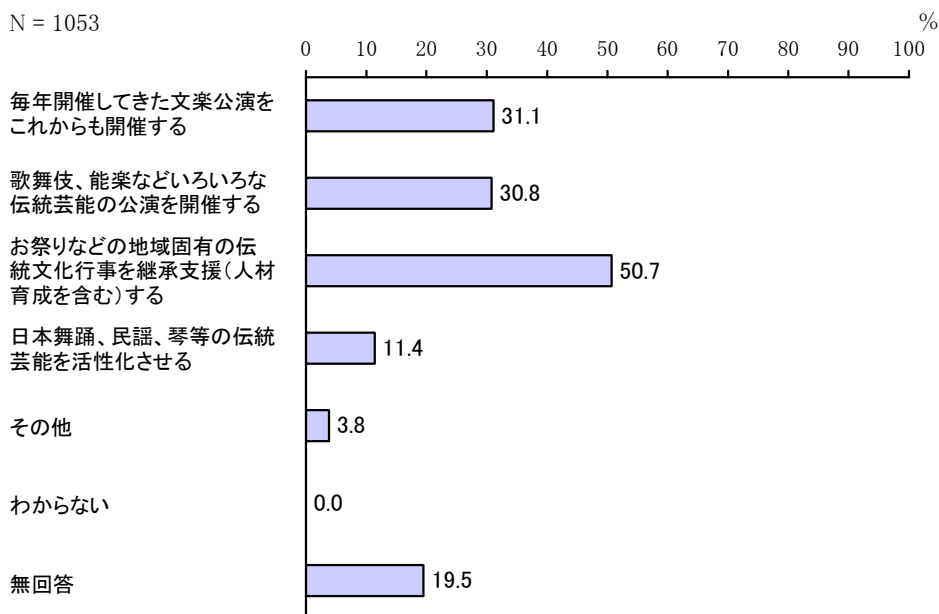
【居住年数別】

居住年数別でみると、大きな差異はみられませんが、居住年数が長くなるにつれて「行った」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 13 岡崎市では、伝統芸能・伝統文化行事に関する施策として、平成 18 年度より、文楽公演の開催に力を入れてきました。今後、岡崎市における伝統芸能等に関する施策として、何が大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「お祭りなどの地域固有の伝統文化行事を継承支援（人材育成を含む）する」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「毎年開催してきた文楽公演をこれからも開催する」の割合が 31.1%、「歌舞伎、能楽などいろいろな伝統芸能の公演を開催する」の割合が 30.8%となっています。



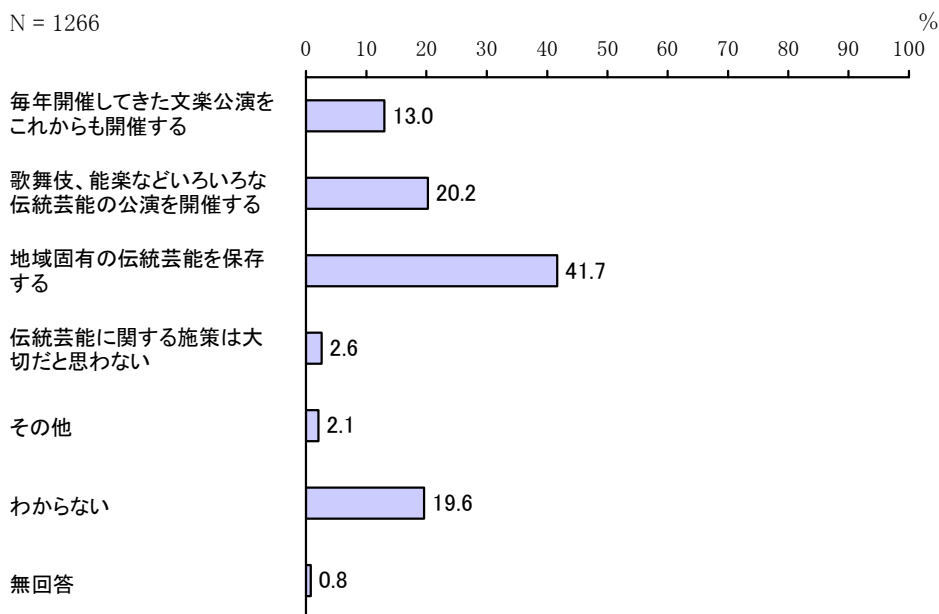
【その他】

- ・立派な能舞台がありますが、どの様に活動が行われているのか情報が手に入りません
- ・若者に知ってもらうために、学校などで開催する
- ・子どもに講演を見せる

など

【前回比較】

選択肢が違うため、参考にとどめます。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳未満、50歳代で「毎年開催してきた文楽公演をこれからも開催する」の割合が高くなっています。一方、30歳未満で「歌舞伎、能楽などいろいろな伝統芸能の公演を開催する」の割合が、40歳代で「お祭りなどの地域固有の伝統文化行事を継承支援（人材育成を含む）する」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	毎年開催してきた文楽公演をこれからも開催する	歌舞伎、能楽などいろいろな伝統芸能の公演を開催する	お祭りなどの地域固有の伝統文化行事を継承支援（人材育成を含む）する	日本舞踊、民謡、琴等の伝統芸能を活性化させる	その他	わからない	無回答
30歳未満	234	38.5	22.2	52.6	10.3	4.7	—	20.5
30歳代	121	27.3	30.6	48.8	14.0	4.1	—	17.4
40歳代	109	29.4	28.4	42.2	11.9	1.8	—	22.9
50歳代	160	35.0	35.6	53.1	13.8	3.8	—	15.0
60歳代	211	28.4	39.3	53.6	8.5	2.8	—	17.5
70歳以上	197	26.9	31.0	50.3	12.2	4.6	—	21.8

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、岩津（岩津・大樹寺・大門・恵田・細川・奥殿学区）で「お祭りなどの地域固有の伝統文化行事を継承支援（人材育成を含む）する」の割合が、額田（夏山・豊富・宮崎・形埜・下山学区）で「日本舞踊、民謡、琴等の伝統芸能を活性化させる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	毎年開催してきた文楽公演をこれからも開催する	歌舞伎、能楽などいろいろな伝統芸能の公演を開催する	お祭りなどの地域固有の伝統文化行事を継承支援（人材育成を含む）する	日本舞踊、民謡、琴等の伝統芸能を活性化させる	その他	わからない	無回答
中央（2～8以外）	293	32.4	34.1	47.4	10.9	3.8	—	17.1
南部（岡崎・羽根・小豆坂・城南・福岡・上地学区）	197	27.9	32.5	52.3	13.2	4.1	—	18.3
大平（男川・美合・緑丘・秦梨・生平学区）	97	37.1	37.1	50.5	18.6	3.1	—	18.6
東部（竜谷・藤川・山中・本宿学区）	59	27.1	27.1	45.8	3.4	5.1	—	25.4
岩津（岩津・大樹寺・大門・恵田・細川・奥殿学区）	129	27.1	27.9	59.7	10.1	6.2	—	16.3
矢作（矢作東・矢作南・矢作西・矢作北・北野学区）	153	34.0	28.1	52.9	5.9	2.0	—	21.6
六ツ美（六ツ美中部・北部・南部・西部学区）	95	33.7	27.4	46.3	15.8	3.2	—	23.2
額田（夏山・豊富・宮崎・形埜・下山学区）	16	37.5	12.5	50.0	25.0	6.3	—	18.8

【居住年数別】

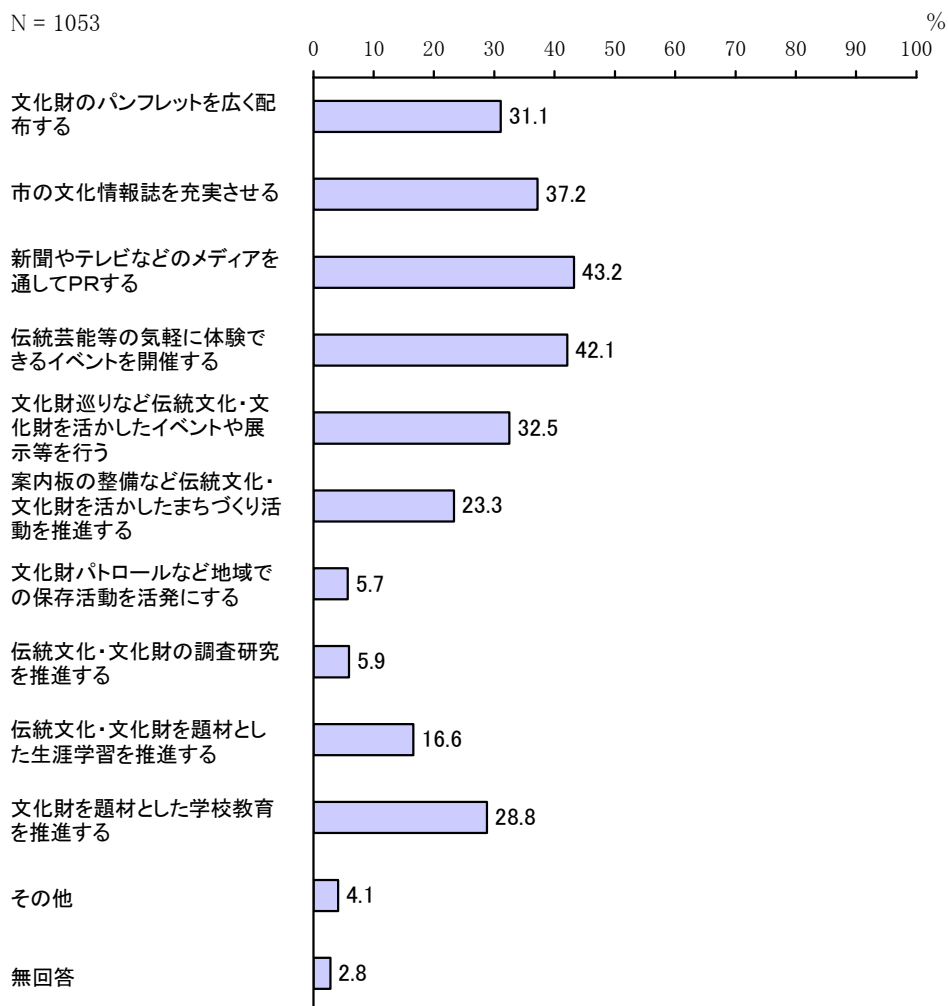
居住年数別でみると、他に比べ、20～29年で「毎年開催してきた文楽公演をこれからも開催する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	毎年開催してきた文楽公演をこれからも開催する	歌舞伎、能楽などいろいろな伝統芸能の公演を開催する	お祭りなどの地域固有の伝統文化行事を継承支援（人材育成を含む）する	日本舞踊、民謡、琴等の伝統芸能を活性化させる	その他	わからない	無回答
10年未満	101	36.6	23.8	47.5	19.8	4.0	—	19.8
10～19年	210	36.2	28.1	48.1	11.0	5.2	—	21.0
20～29年	150	42.7	30.7	56.0	8.0	2.7	—	10.7
30～39年	155	31.6	36.1	51.6	9.7	3.9	—	16.1
40年以上	428	23.8	32.2	50.5	11.7	3.5	—	22.4

問 14 市民のみなさんが伝統芸能・伝統文化・文化財などに興味を持つためには、どんな取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「新聞やテレビなどのメディアを通してPRする」の割合が43.2%と最も高く、次いで「伝統芸能等の気軽に体験できるイベントを開催する」の割合が42.1%、「市の文化情報誌を充実させる」の割合が37.2%となっています。



【その他】

- ・ 若者向けの親しみやすいイベントを開催する
- ・ ネットを通じた情報発信
- ・ 交通手段の整備

など

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「新聞やテレビなどのメディアを通してPRする」の割合が、30歳代で「文化財を題材とした学校教育を推進する」の割合が、60歳代で「市の文化情報誌を充実させる」「文化財巡りなど伝統文化・文化財を活かしたイベントや展示等を行う」「伝統文化・文化財を題材とした生涯学習を推進する」の割合が高くなっています。

単位：%

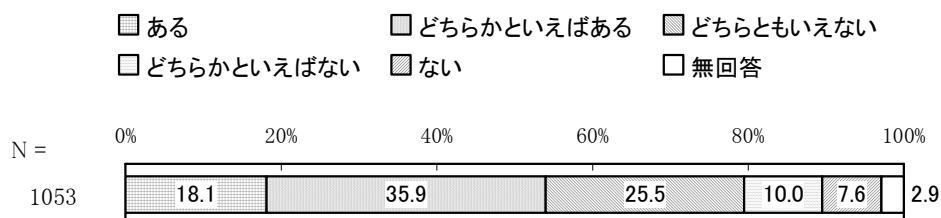
区分	有効回答数(件)	文化財のパムフレットを広く配布する	市の文化情報誌を充実させる	新聞やテレビなどのメディアを通してPRする	伝統芸能等の気軽に体験できるイベントを開催する	文化財巡りなど伝統文化・文化財を活かしたイベントや展示等を行う	案内板の整備など伝統文化・文化財を活かしたまちづくり活動を推進する	文化財パトロールなど地域での保存活動を活発にする	伝統文化・文化財の調査研究を推進する	伝統文化・文化財を題材とした生涯学習を推進する	文化財を題材とした学校教育を推進する	その他	無回答
30歳未満	234	30.3	20.9	57.3	39.7	29.9	22.2	3.8	7.7	12.0	29.9	4.7	1.3
30歳代	121	22.3	30.6	43.8	50.4	22.3	20.7	2.5	0.8	11.6	39.7	5.8	1.7
40歳代	109	26.6	34.9	45.0	45.9	31.2	16.5	3.7	3.7	14.7	32.1	3.7	1.8
50歳代	160	25.0	39.4	38.1	48.1	35.0	25.0	6.3	8.1	18.1	29.4	3.8	3.8
60歳代	211	35.1	53.1	34.6	41.2	40.8	28.9	9.5	7.1	24.2	24.6	3.3	1.9
70歳以上	197	39.1	44.7	39.6	34.0	31.5	23.4	7.1	5.6	18.3	22.8	3.0	5.6

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

6 文化施設についておたずねします。

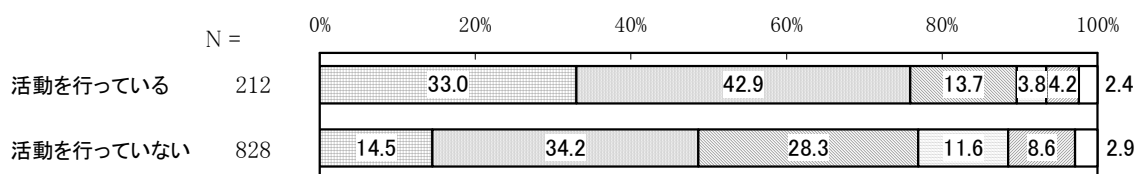
問 15 あなたは、岡崎市の文化施設について興味や関心がありますか。(○はひとつ)

「ある」と「どちらかといえばある」をあわせた“ある”の割合が 54.0%、「どちらともいえない」の割合が 25.5%、「どちらかといえばない」と「ない」をあわせた“ない”の割合が 17.6% となっています。



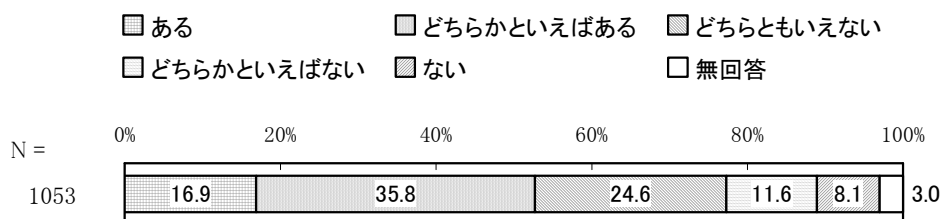
【文化芸術活動別】

文化芸術活動別でみると、活動を行っている人で“ある”の割合が 75.9% となっています。



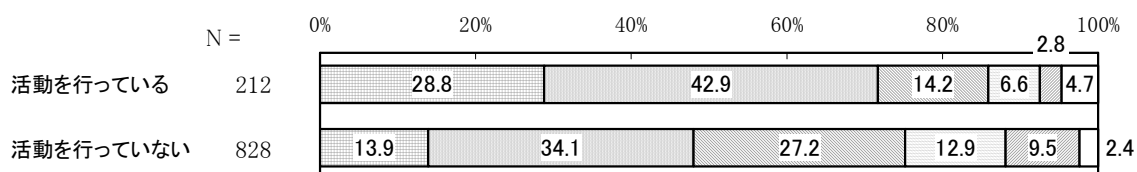
問 16 あなたは、岡崎市の文化施設で行われている催しについて興味や関心がありますか。(○はひとつ)

「ある」と「どちらかといえばある」をあわせた“ある”の割合が 52.7%、「どちらともいえない」の割合が 24.6%、「どちらかといえばない」と「ない」をあわせた“ない”の割合が 19.7% となっています。



【文化芸術活動別】

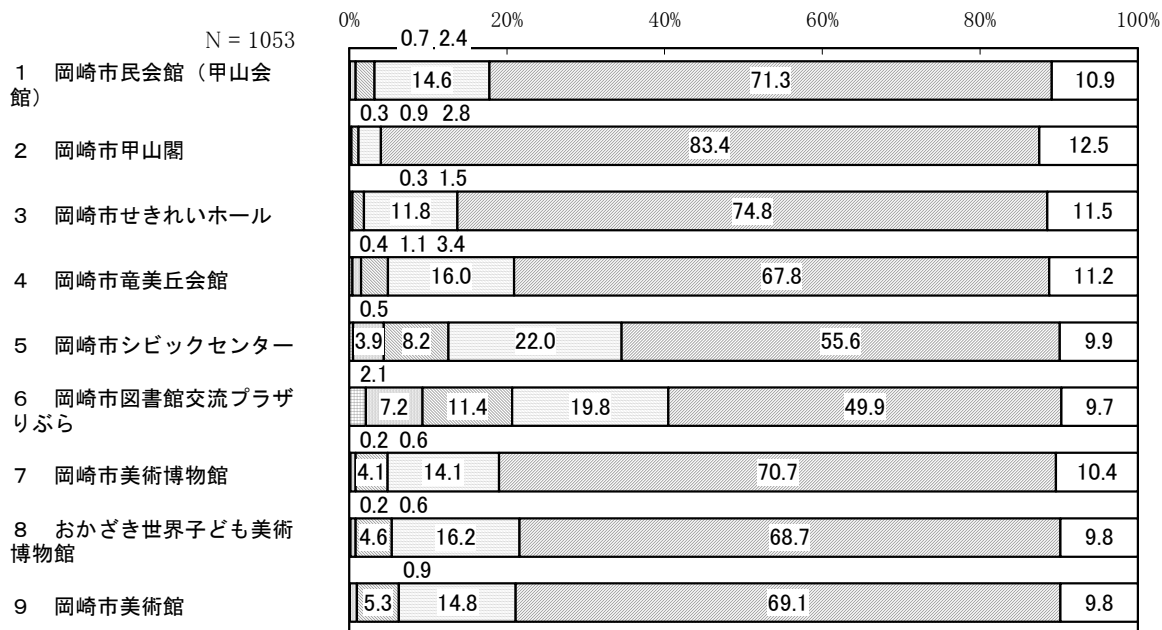
文化芸術活動別でみると、活動を行っている人で“ある”の割合が 71.7% となっています。



問 17 あなたはここ1年で、岡崎市の文化施設を、鑑賞や活動でどの程度利用しましたか。(〇はひとつ)

「利用していない」の割合が『2 岡崎市甲山閣』で83.4%と最も高く、次いで『3 岡崎市せきれいホール』で74.8%、『1 岡崎市民会館（甲山会館）』で71.3%となっています。

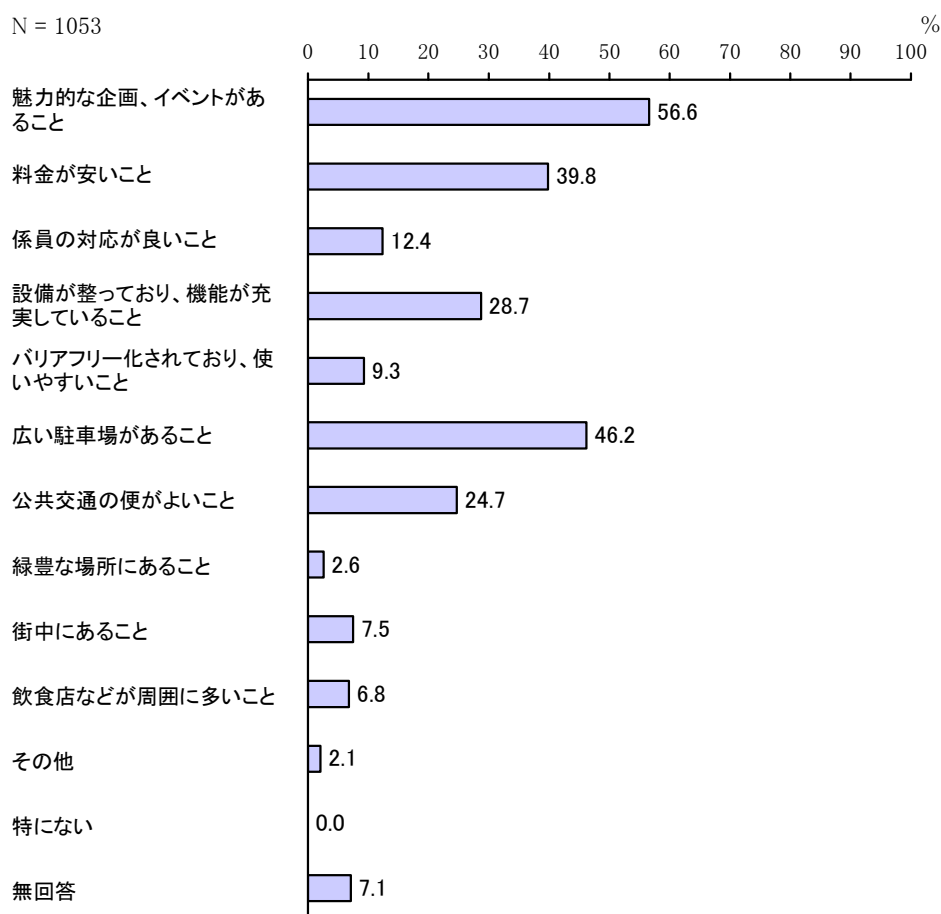
■ 週に1～2回くらい □ 月に1～2回くらい □ 半年に1～2回くらい
 □ 年に1～2回くらい □ 利用していない □ 無回答



問 18 あなたが、ホールを有する文化施設（市民会館・甲山会館・せきれいホール・竜美丘会館・シビックセンター・図書館交流プラザりぶら）について、重要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

「魅力的な企画、イベントがあること」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「広い駐車場があること」の割合が 46.2%、「料金が安いこと」の割合が 39.8%となっています。

また、美術博物館等文化施設（美術博物館・世界子ども美術博物館・美術館）に対して同質問を行ったところ、上位3位が全く同じ項目という結果となっています。



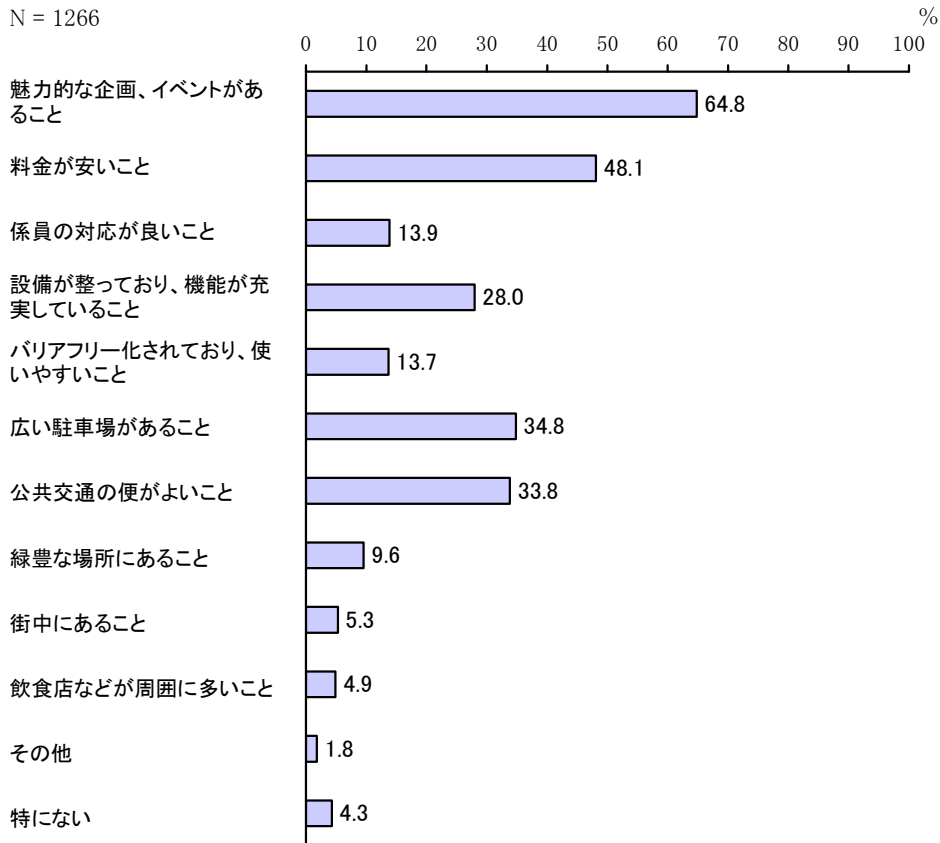
【その他】

- ・芸術性の高さ、一流の物を体験したい
- ・利用手続きを簡単にしてほしい
- ・当日でも利用できるようにしてほしい

など

【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、「魅力的な企画、イベントがあること」の割合が 8.2 ポイント、「料金が安いこと」の割合が 8.3 ポイント、「公共交通の便がよいこと」の割合が 9.1 ポイント、「緑豊かな場所にあること」の割合が 7.0 ポイント減少しています。一方「広い駐車場があること」の割合が 11.4 ポイント増加しています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代、40歳代、50歳代で「魅力的な企画、イベントがあること」の割合が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代で「料金が安いこと」の割合が高くなっています。また、30歳未満で「設備が整っており、機能が充実していること」の割合が、30歳代で「広い駐車場があること」の割合が、70歳以上で「街中にあること」の割合が高くなっています。

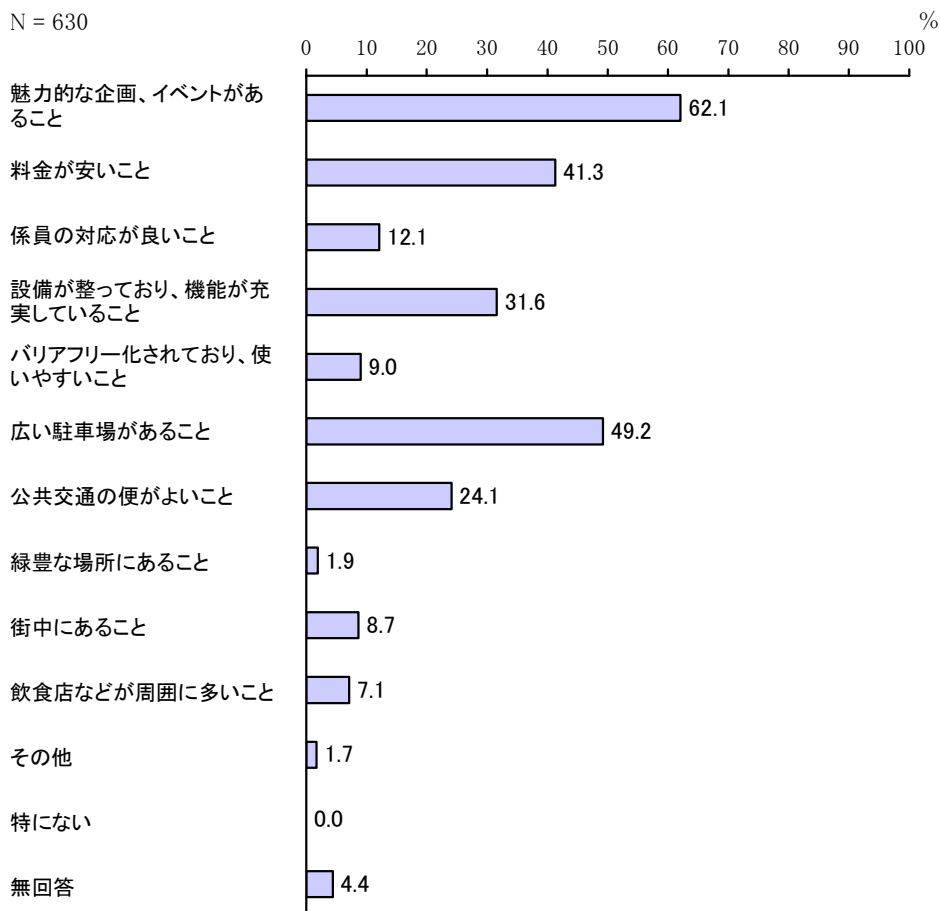
単位：％

区分	有効回答数(件)	魅力的な企画、イベントがあること	料金が安いこと	係員の対応が良いこと	設備が整っており、機能が充実していること	バリアフリー化されており、使いやすいこと	広い駐車場があること	公共交通の便がよいこと	緑豊かな場所にあること	街中にあること	飲食店などが周囲に多いこと	その他	特になし	無回答
30歳未満	234	51.3	34.2	15.0	39.7	11.5	26.9	29.5	3.4	5.6	11.5	3.0	—	6.8
30歳代	121	67.8	47.1	18.2	25.6	6.6	62.8	15.7	1.7	2.5	7.4	3.3	—	3.3
40歳代	109	62.4	41.3	17.4	28.4	11.9	56.0	19.3	—	4.6	6.4	0.9	—	6.4
50歳代	160	70.0	41.9	7.5	21.3	11.3	52.5	26.9	2.5	3.1	3.1	0.6	—	5.0
60歳代	211	51.7	41.7	10.9	27.0	7.6	49.8	25.1	3.8	9.5	6.6	1.9	—	9.0
70歳以上	197	48.7	35.5	9.6	25.9	8.1	43.7	26.9	2.5	16.8	4.6	2.0	—	8.6

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

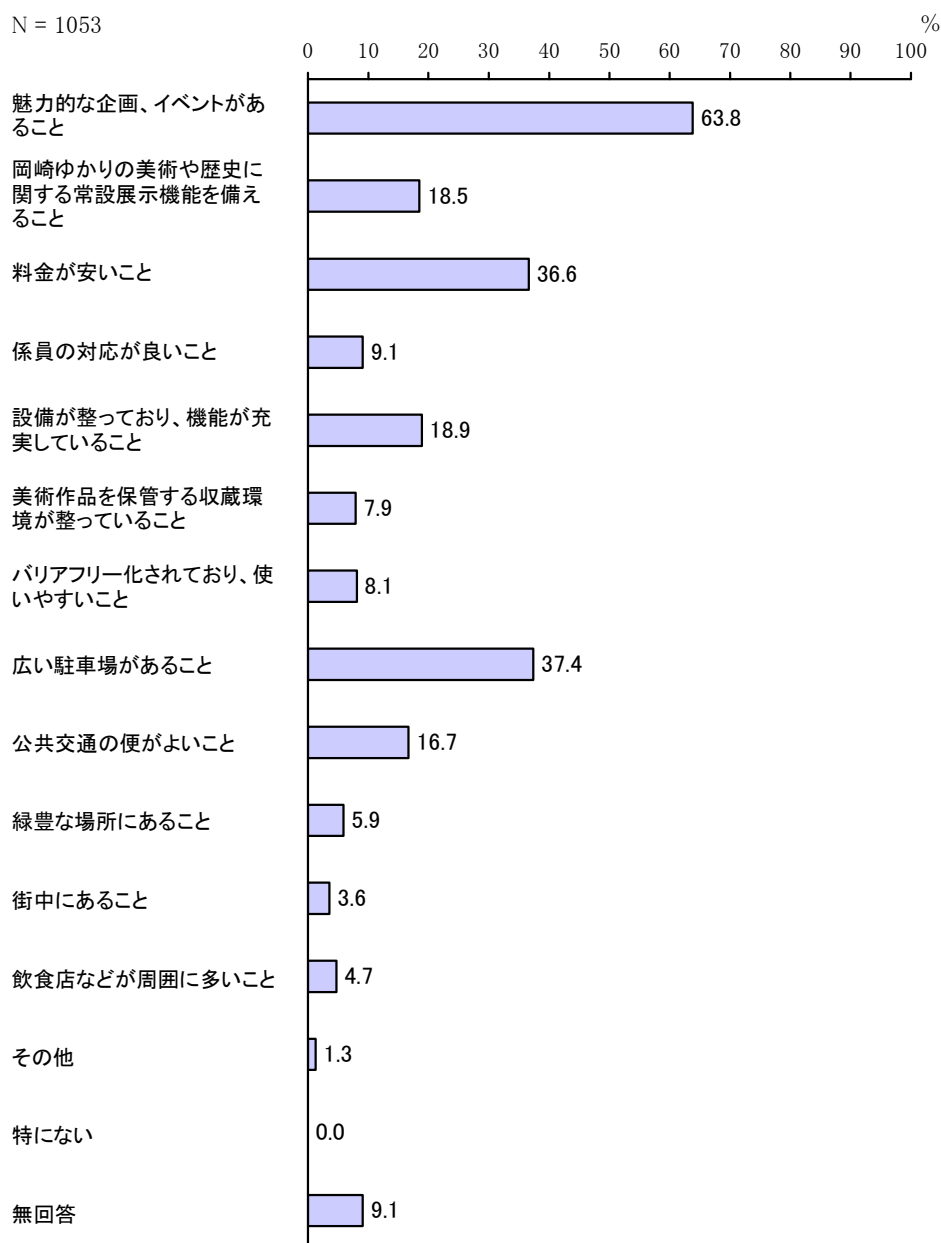
【ホールを有する文化施設の利用経験のある人】

ホールを有する文化施設の利用経験のある人でみると、「魅力的な企画、イベントがあること」の割合が最も高く、次いで「広い駐車場があること」となっています。



問 19 あなたが、美術博物館等文化施設（美術博物館・世界子ども美術博物館・美術館）について、重要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

「魅力的な企画、イベントがあること」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「広い駐車場があること」の割合が 37.4%、「料金が安いこと」の割合が 36.6%となっています。



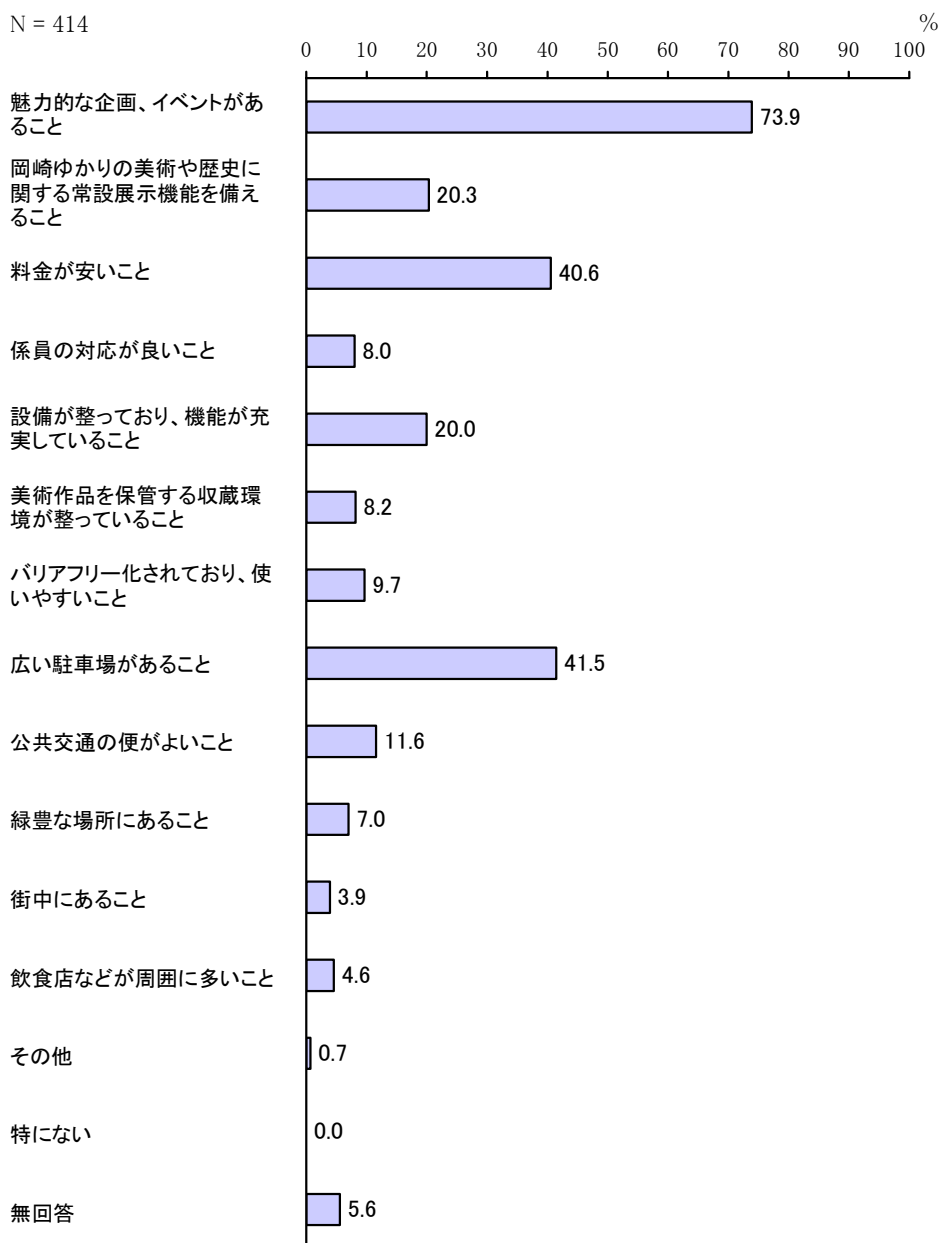
【その他】

- ・営業時間が長いこと
- ・学芸員が説明するツアーがたくさんあり、参加しやすいこと
- ・看板を街中に立ててアピールする

など

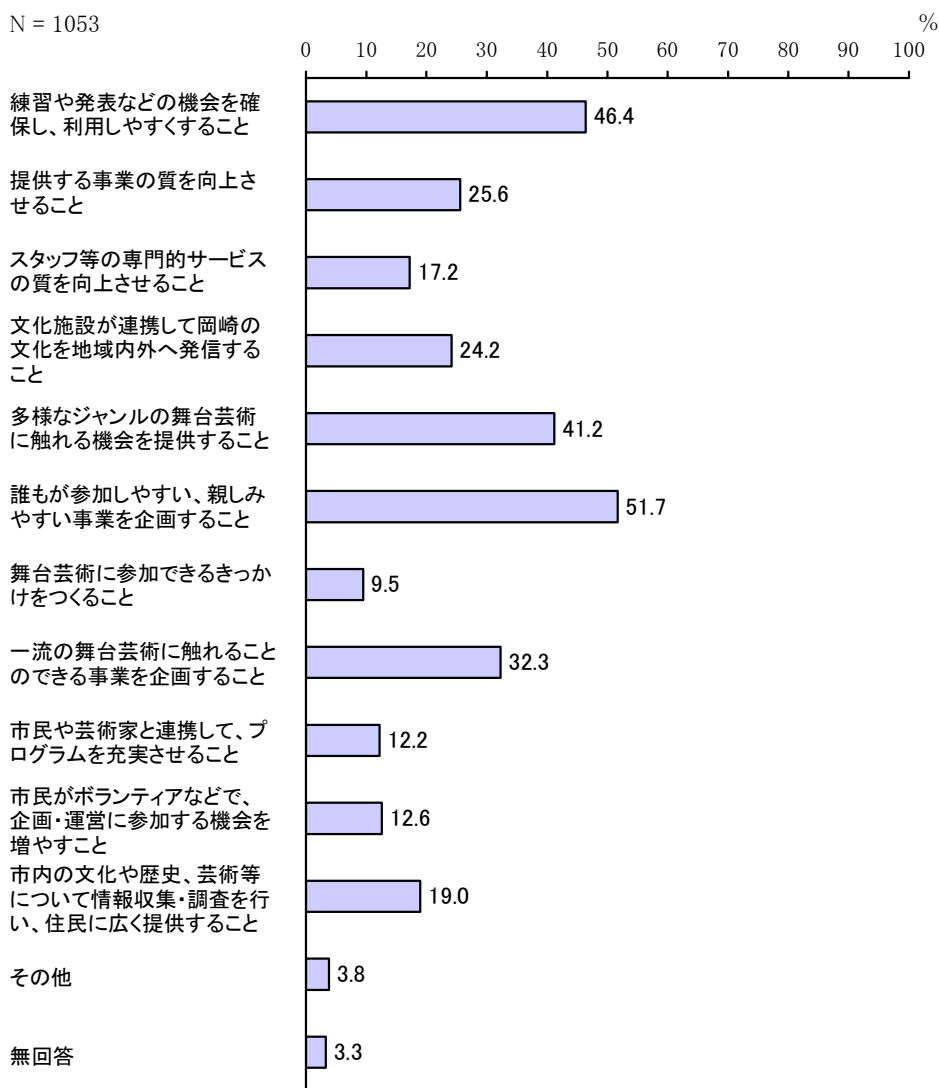
【美術博物館等文化施設の利用経験のある人】

美術博物館等文化施設の利用経験のある人でみると、「魅力的な企画、イベントがあること」の割合が最も高く、次いで「広い駐車場があること」となっています。



問 20 岡崎市民会館は、平成 27 年度より大規模改修工事を行い、平成 28 年にリニューアルオープンを迎えますが、今後の市民会館の役割として、あなたが重要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「誰もが参加しやすい、親しみやすい事業を企画すること」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「練習や発表などの機会を確保し、利用しやすくすること」の割合が 46.4%、「多様なジャンルの舞台芸術に触れる機会を提供すること」の割合が 41.2%となっています。



【その他】

- ・駐車場の完備（公共交通を利用出来ない人が多い）
- ・音響を整えてほしい

など

【市民会館の利用経験】

市民会館の利用経験のある人でみると、「練習や発表などの機会を確保し、利用しやすくすること」の割合が最も高く、次いで「多様なジャンルの舞台芸術に触れる機会を提供すること」となっています。

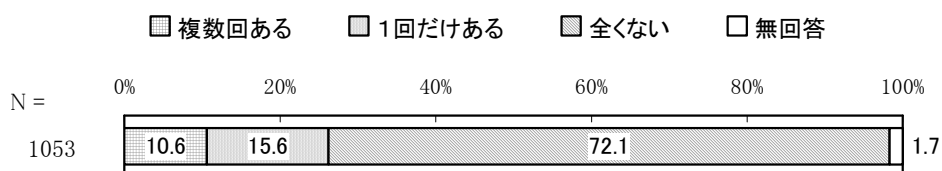
単位：％

区分	有効回答数(件)	練習や発表などの機会を確保し、利用しやすくすること	提供する事業の質を向上させること	スタッフ等の専門的サービスの質を向上させること	文化施設が連携して岡崎の文化を地域内外へ発信すること	多様なジャンルの舞台芸術に触れる機会を提供すること	誰もが参加しやすい、親しみやすい事業を企画すること	舞台芸術に参加できるきっかけをつくること	一流の舞台芸術に触れることのできる事業を企画すること	市民や芸術家と連携して、プログラムを充実させること	市民がボランティアなどで、企画・運営に参加する機会を増やすこと	市内の文化や歴史、芸術等について情報収集・調査を行い、住民に広く提供すること	その他	無回答
利用した人	171	56.1	32.7	22.2	32.7	49.7	47.4	14.6	46.8	19.3	17.5	19.3	4.7	3.5
利用していない人	748	43.9	25.3	16.3	21.9	40.8	53.6	8.8	30.3	11.6	12.3	17.5	3.9	2.4
無回答	103	45.6	15.5	16.5	25.2	30.1	49.5	5.8	22.3	3.9	7.8	28.2	1.0	9.7

7 岡崎市の文化行政についておたずねします。

問 21 あなたは、これまでに市内のジャズ関連イベントに参加（鑑賞含む）したことはありますか。（○はひとつ）

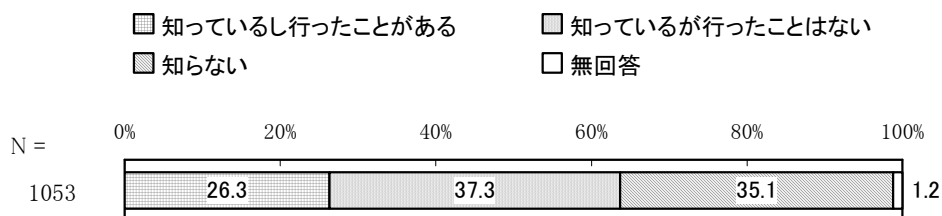
「全くない」の割合が72.1%と最も高く、次いで「1回だけある」の割合が15.6%、「複数回ある」の割合が10.6%となっています。



問 22 あなたは、岡崎市図書館交流プラザ内に「内田修ジャズコレクション展示室」があることを知っていますか。（○はひとつ）

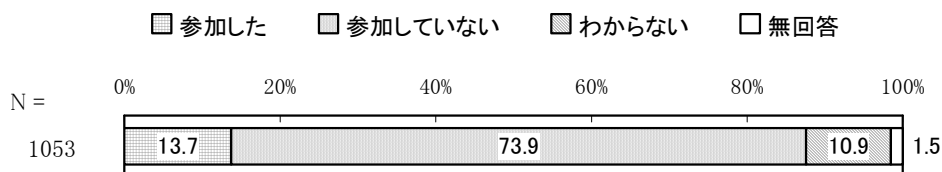
「知っているが行ったことはない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が35.1%、「知っているし行ったことがある」の割合が26.3%となっています。

また、「知っているし行ったことがある」と「知っているが行ったことはない」をあわせた「知っている」の割合が63.6%となっています。



問 23 あなたは、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」、地域展開事業「岡崎アート&ジャズ2012」、まちなか展開事業（まちとり）のいずれかに参加（鑑賞含む）しましたか。（○はひとつ）

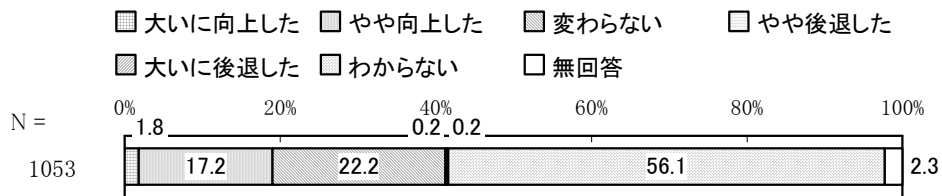
「参加していない」の割合が73.9%と最も高く、次いで「参加した」の割合が13.7%、「わからない」の割合が10.9%となっています。



問 24 「あいちトリエンナーレ」に関するアート関連イベントの開催の結果、岡崎市の文化的イメージはどの程度向上したと思いますか。(〇はひとつ)

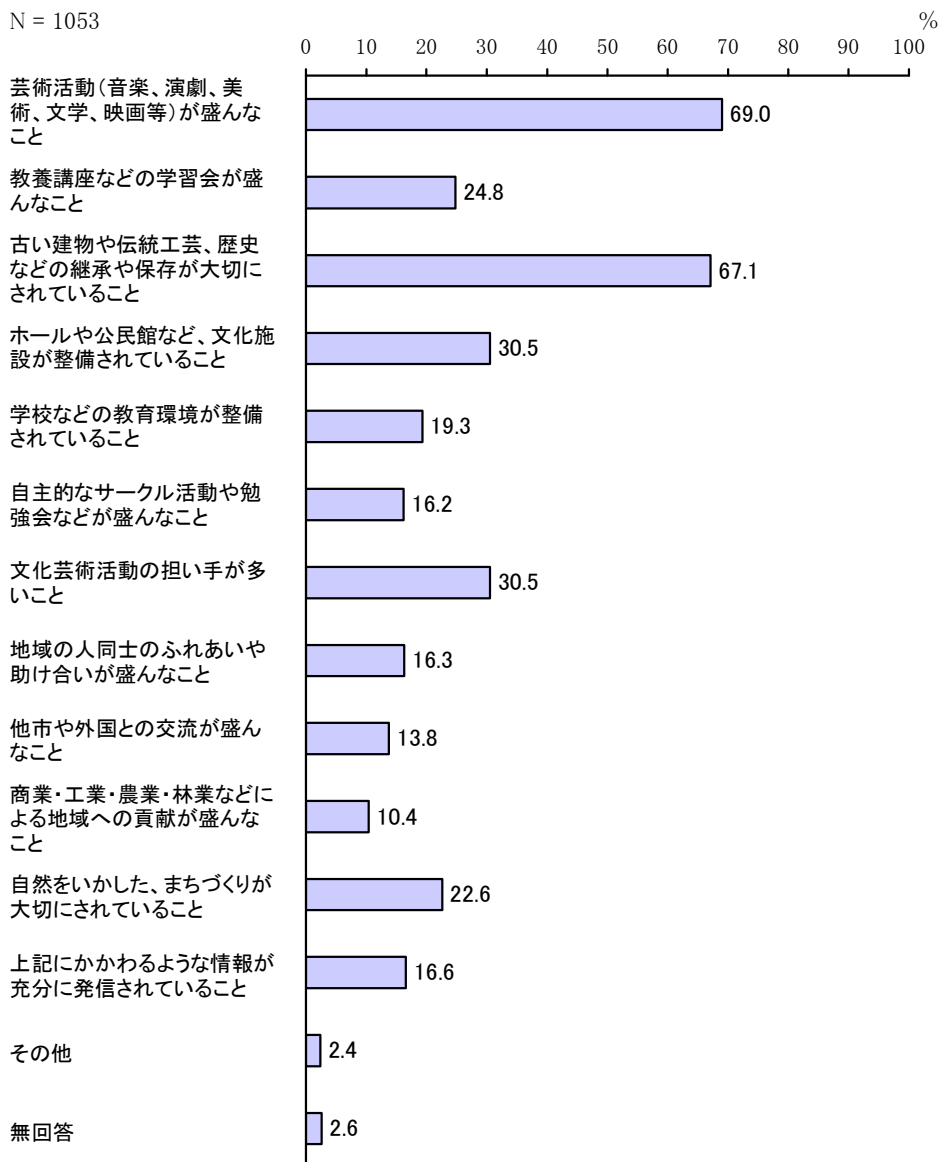
「大いに向上した」と「やや向上した」をあわせた“向上した”の割合が 19.0%、「変わらない」の割合 22.2%、「やや後退した」と「大いに後退した」をあわせた“後退した”の割合 0.4% となっています。

また「わからない」と回答した人が 56.1%となっています。



問 25 あなたは「文化的」という言葉に対してどのようなイメージを最も強く感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「芸術活動（音楽、演劇、美術、文学、映画等）が盛んなこと」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「古い建物や伝統工芸、歴史などの継承や保存が大切にされていること」の割合が 67.1%、「ホールや公民館など、文化施設が整備されていること」、「文化芸術活動の担い手が多いこと」の割合が 30.5%となっています。



【その他】

- ・老若男女すべてが参加するようなことがあること
- ・何かをするというのではなく、地域住民の特性・個性を活かす

など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代、70歳以上で「ホールや公民館など、文化施設が整備されていること」の割合が、60歳代で「文化芸術活動の担い手が多いこと」「上記にかかわるような情報が十分に発信されていること」の割合が、70歳以上で「自然をいかした、まちづくりが大切にされていること」の割合が高くなっています。

また、年齢が低くなるにつれて「古い建物や伝統工芸、歴史などの継承や保存が大切にされていること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	芸術活動(音楽、演劇、美術、文学、映画等)が盛んなこと	古く建物を伝統工芸、歴史などの継承や保存が大切にされていること	古い建物や伝統工芸、歴史などの継承や保存が大切にされていること	ホールや公民館など、文化施設が整備されていること	学校などの教育環境が整備されていること	自主的なサークル活動や勉強会などが盛んなこと	文化芸術活動の担い手が多いこと	地域の人同士のふれあいや助け合いが盛んなこと	他市や外国との交流が盛んなこと	商業・工業・農業・林業などによる地域への貢献が盛んなこと	自然をいかした、まちづくりが大切にされていること	上記にかかわるような情報が十分に発信されていること	その他	無回答
30歳未満	234	70.5	9.0	70.9	21.4	13.7	9.4	27.4	18.4	16.2	9.0	15.8	12.0	2.6	0.4
30歳代	121	70.2	14.9	70.2	22.3	17.4	12.4	29.8	9.9	15.7	10.7	14.0	14.0	3.3	1.7
40歳代	109	75.2	21.1	68.8	22.9	23.9	11.9	32.1	9.2	9.2	3.7	11.9	13.8	0.9	1.8
50歳代	160	71.9	29.4	68.8	38.1	23.8	14.4	28.8	13.1	10.0	8.1	19.4	19.4	3.8	3.8
60歳代	211	65.4	33.2	67.3	36.0	18.0	21.3	38.4	18.0	15.6	11.8	28.4	25.6	1.9	1.9
70歳以上	197	65.0	37.1	57.9	37.6	21.3	24.4	26.9	21.3	13.2	15.7	37.6	13.2	1.5	6.1

※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

【岡崎市を文化的なまちと思うか別】

岡崎市を文化的なまちと思うか別でみると、他に比べ、文化的であるで「古い建物や伝統工芸、歴史などの継承や保存が大切にされていること」の割合が高くなっています。また、文化的でないで「ホールや公民館など、文化施設が整備されていること」の割合が高くなっています。

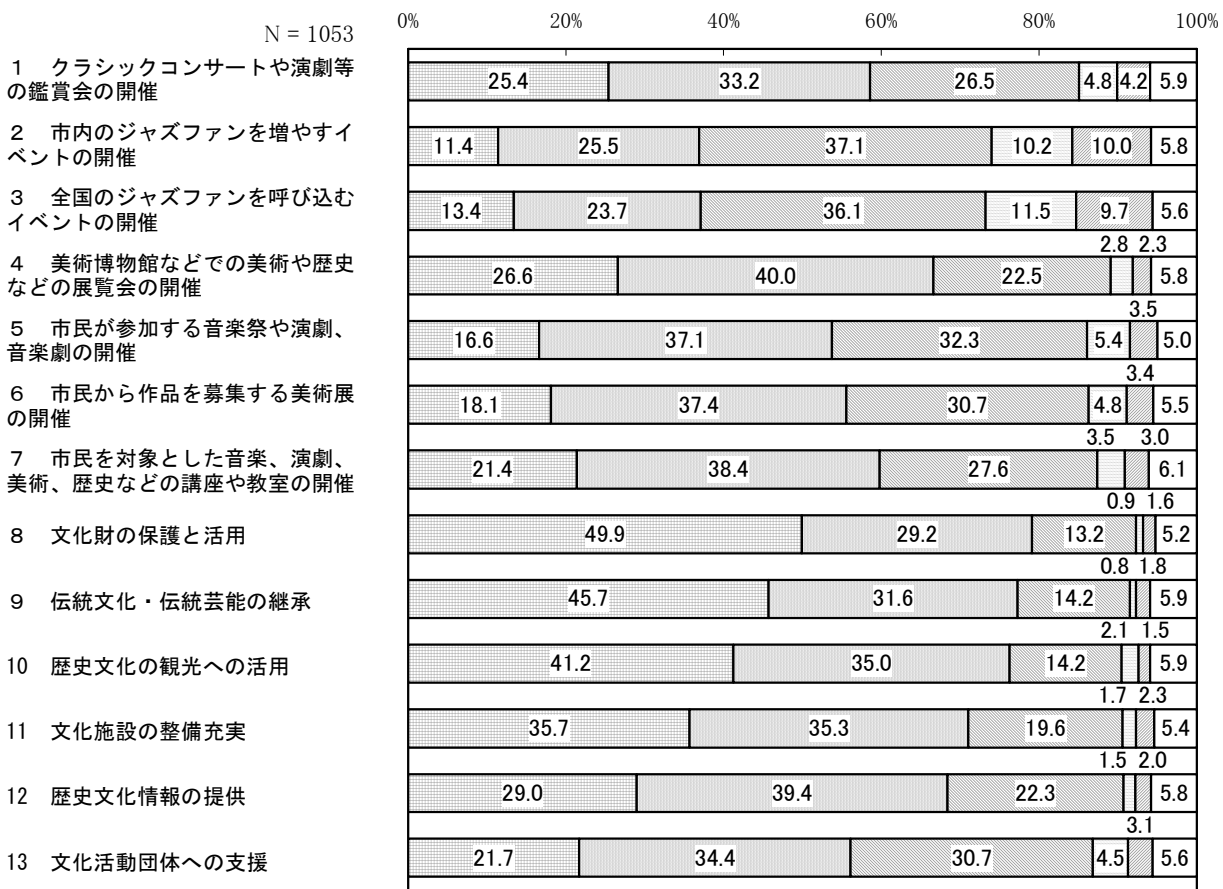
単位：％

区分	有効回答数(件)	芸術活動(音楽、演劇、美術、文学、映画等)が盛んなこと	古い建物や伝統工芸、歴史などの継承や保存が大切にされていること	ホールや公民館など、文化施設が整備されていること	学校などの教育環境が整備されていること	自主的なサークル活動や勉強会などが盛んなこと	文化芸術活動の担い手が多いこと	地域の人のふれあいや助け合いが盛んなこと	他市や外国との交流が盛んなこと	商業・工業・農業・林業などによる地域への貢献が盛んなこと	自然をいかした、まちづくりが大切にされていること	上記にかかわるような情報が十分に発信されていること	その他	無回答	
文化的である	714	71.8	25.2	72.7	31.8	19.9	16.4	32.2	16.9	14.8	10.2	23.4	16.7	2.1	1.7
文化的でない	107	69.2	18.7	56.1	39.3	17.8	19.6	32.7	15.0	16.8	10.3	24.3	27.1	3.7	0.9
どちらともいえない	154	63.6	26.0	54.5	20.8	21.4	14.3	26.0	16.2	8.4	9.1	20.1	13.0	3.2	5.2
わからない	68	54.4	25.0	55.9	25.0	11.8	14.7	20.6	11.8	10.3	11.8	14.7	7.4	1.5	5.9

問 26 岡崎市の文化行政について、次のそれぞれの項目の「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものに、ひとつ ○ をつけてください。

「重要である」と「やや重要である」をあわせた“重要である”の割合が『8 文化財の保護と活用』で79.1%と最も高く、次いで『9 伝統文化・伝統芸能の継承』で77.3%、『10 歴史文化の観光への活用』で76.2%となっています。

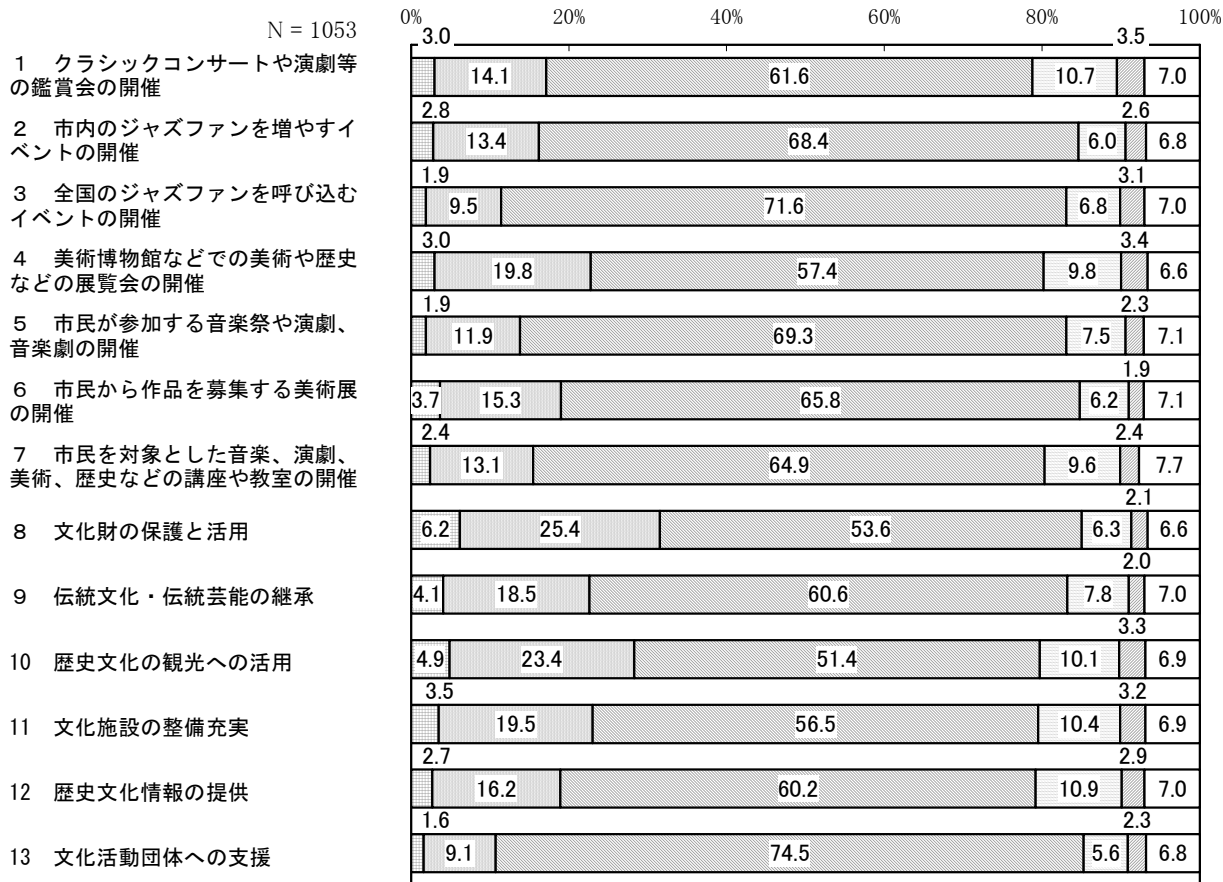
- 重要である やや重要である どちらともいえない
- あまり重要でない 重要でない 無回答



問 27 岡崎市の文化行政について、次のそれぞれの項目の「現状の満足度」について、あなたのお考えに最も近いものに、ひとつ ○ をつけてください。

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が『8 文化財の保護と活用』で31.6%と最も高く、次いで『10 歴史文化の観光への活用』で28.3%、『11 文化施設の整備充実』で23.0%となっています。

- 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない
- やや不満である ■ 不満である □ 無回答



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

13 項目の質問項目について、「満足度」と「今後の重要性」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度(問 27)		得点	今後の重要性(問 26)		得点
満足している	→	2 点	重要である	→	2 点
やや満足している	→	1 点	やや重要である	→	1 点
どちらともいえない	→	0 点	どちらともいえない	→	0 点
やや不満である	→	-1 点	あまり重要でない	→	-1 点
不満である	→	-2 点	重要でない	→	-2 点
無回答	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

$$2 \times \text{「満足している(重要である)」の回答数} + 1 \times \text{「やや満足である(やや重要である)」の回答数} \\ + 0 \times \text{「どちらともいえない」の回答数} - 1 \times \text{「やや不満である(あまり重要でない)」の回答数} \\ - 2 \times \text{「不満である(重要でない)ではない」の回答数} / \text{無回答を除く回答数}$$

算出された満足度・今後の重要性の得点をもとに、各施策の満足度・今後の重要性別に順位付けを行いました。

■満足度・今後の重要性のベスト3とワースト3■

<全体>

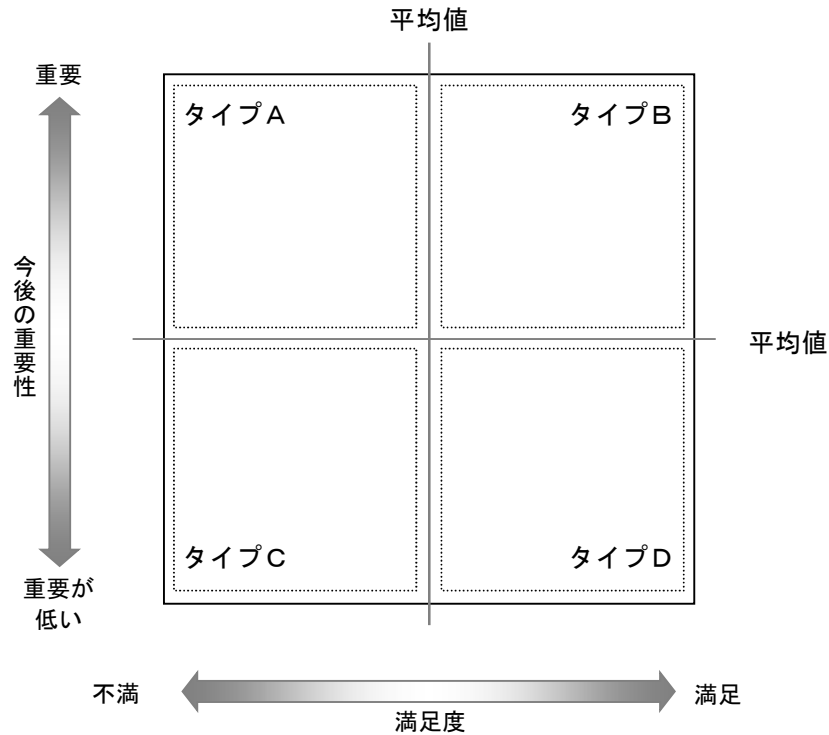
満足度		順位	今後の重要性	
施策名	得点		得点	施策名
8. 文化財の保護と活用	0.29	第1位	1.32	8. 文化財の保護と活用
10. 歴史文化の観光への活用	0.18	第2位	1.26	9. 伝統文化・伝統芸能の継承
9. 伝統文化・伝統芸能の継承	0.16	第3位	1.19	10. 歴史文化の観光への活用
1. クラシックコンサートや演劇等の鑑賞会の開催	0.03	第11位	0.61	5. 市民が参加する音楽祭や演劇、音楽劇の開催
13. 文化活動団体への支援	0.02	第12位	0.21	3. 全国のジャズファンを呼び込むイベントの開催
3. 全国のジャズファンを呼び込むイベントの開催	0.00	最下位	0.19	2. 市内のジャズファンを増やすイベントの開催

『8. 文化財の保護と活用』『9. 伝統文化・伝統芸能の継承』『10. 歴史文化の観光への活用』については、満足度・今後の重要性ともに上位3位以内に順位付けられています。

(2) ポートフォリオ分析による満足度・今後の重要性の評価

各項目の満足度・今後の重要性の得点の関係について、満足度・今後の重要性をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、今後の重要性が高い傾向があり、その中でも今後の重要性および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



- ◆タイプA 満足度は低いが、今後の重要性は高い
- ◆タイプB 満足度は高く、今後の重要性も高い
- ◆タイプC 満足度は低く、今後の重要性も低い
- ◆タイプD 満足度は高いが、今後の重要性は低い

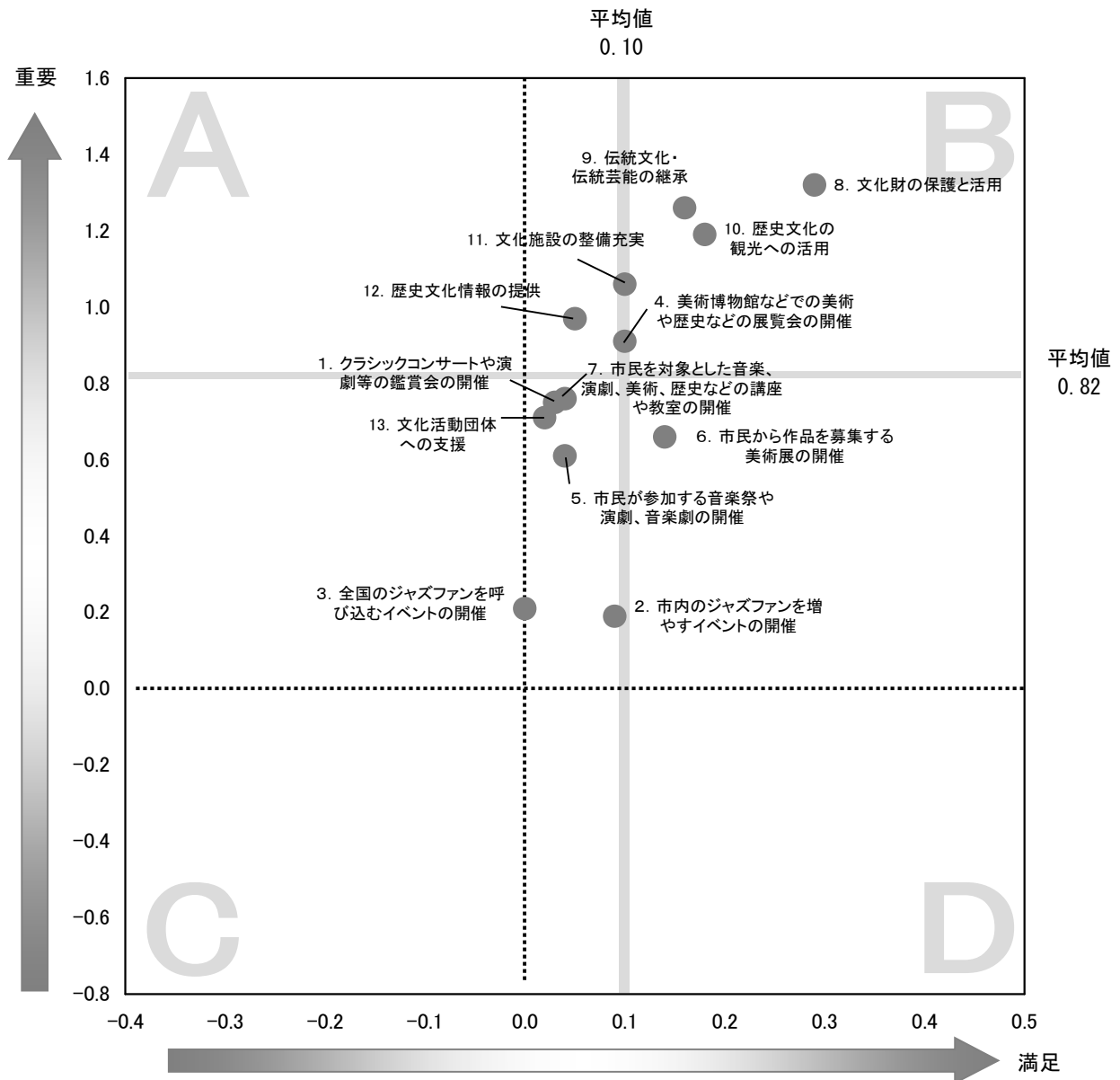
【全体】

○施策のポートフォリオ分析

平均値と比べ、重要度および満足度、共に高い数値となったのは、3項目「8.文化財の保護と活用」「9.伝統文化・伝統芸能の継承」「10.歴史文化の観光への活用」でした。

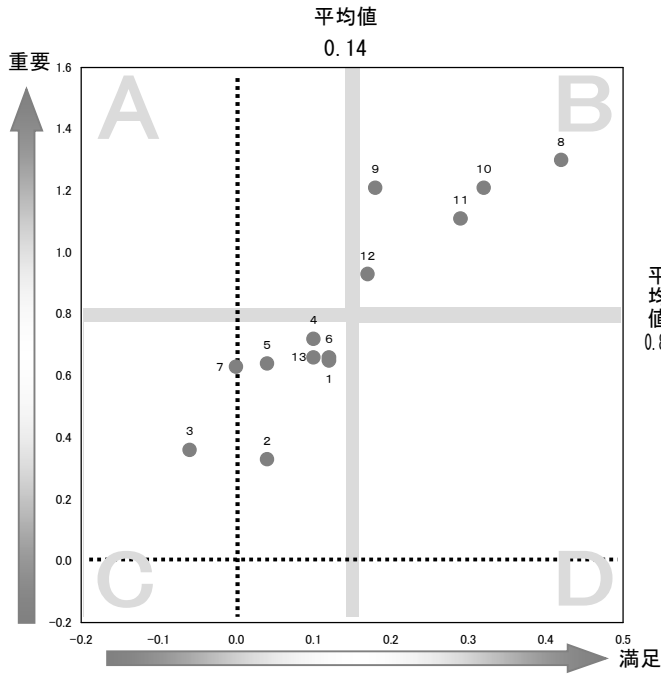
また、ジャズに関する2項目「3.全国のジャズファンを呼び込むイベントの開催」「2.市内のジャズファンを増やすイベントの開催」は、重要度および満足度、共に低い結果となりました。

なお、重要度および満足度、共に得点が「0」を下回る項目は、ありませんでした。

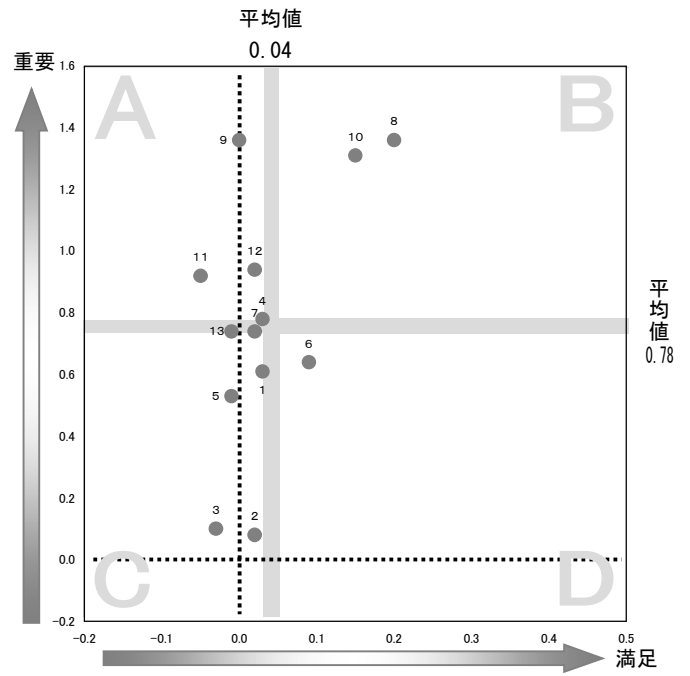


【年齢別】

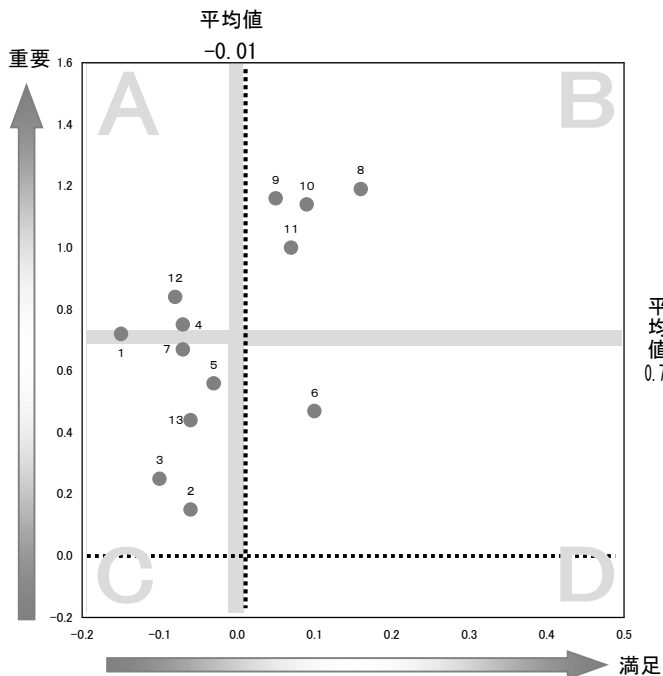
【30歳未満】



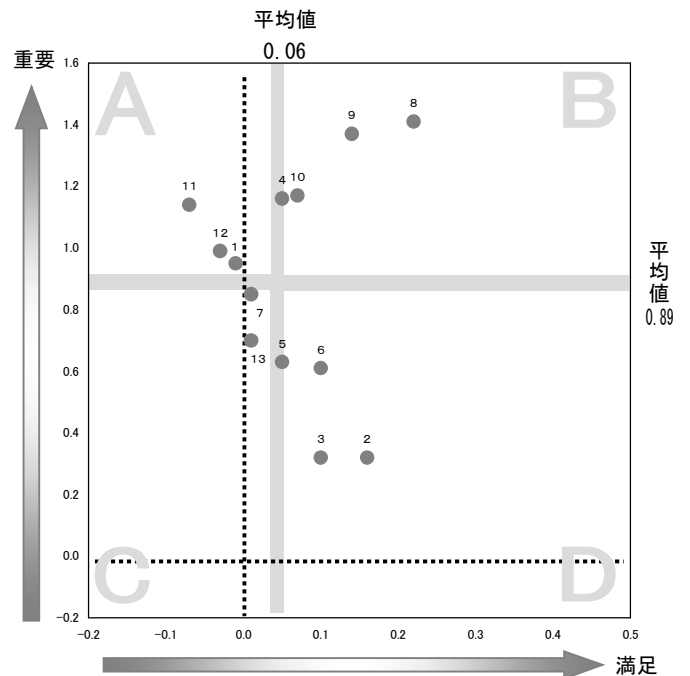
【30歳代】



【40歳代】

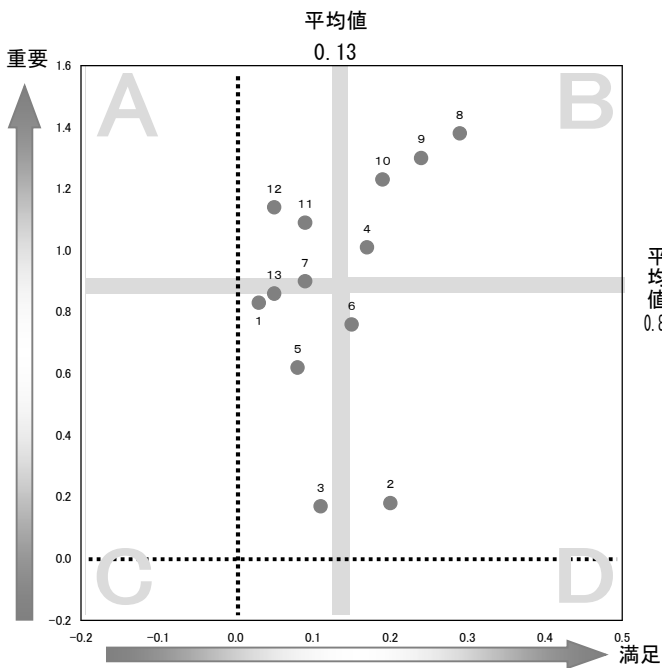


【50歳代】

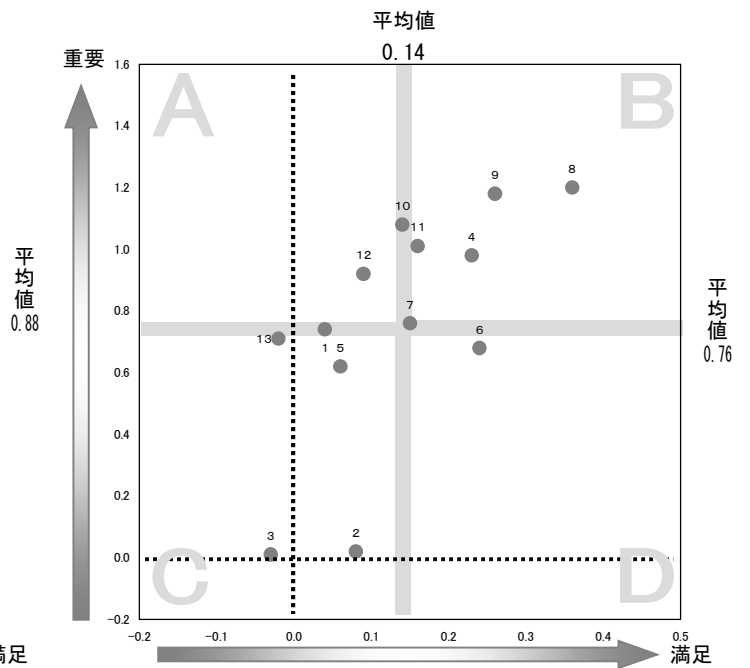


※10歳代、20歳代ともに傾向が似ているため、まとめて30歳未満と表記しています。

【60歳代】



【70歳以上】

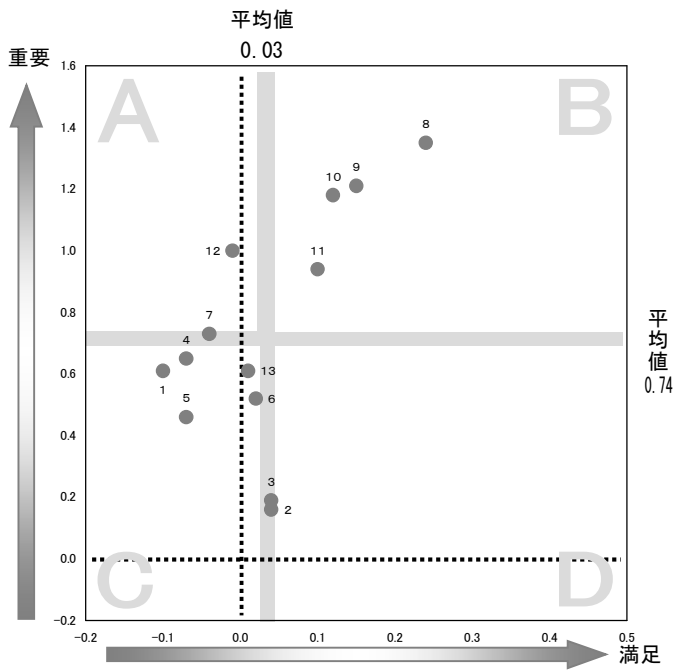


項目	
1	クラシックコンサートや演劇等の鑑賞会の開催
2	市内のジャズファンを増やすイベントの開催
3	全国のジャズファンを呼び込むイベントの開催
4	美術博物館などでの美術や歴史などの展覧会の開催
5	市民が参加する音楽祭や演劇、音楽劇の開催
6	市民から作品を募集する美術展の開催
7	市民を対象とした音楽、演劇、美術、歴史などの講座や教室の開催

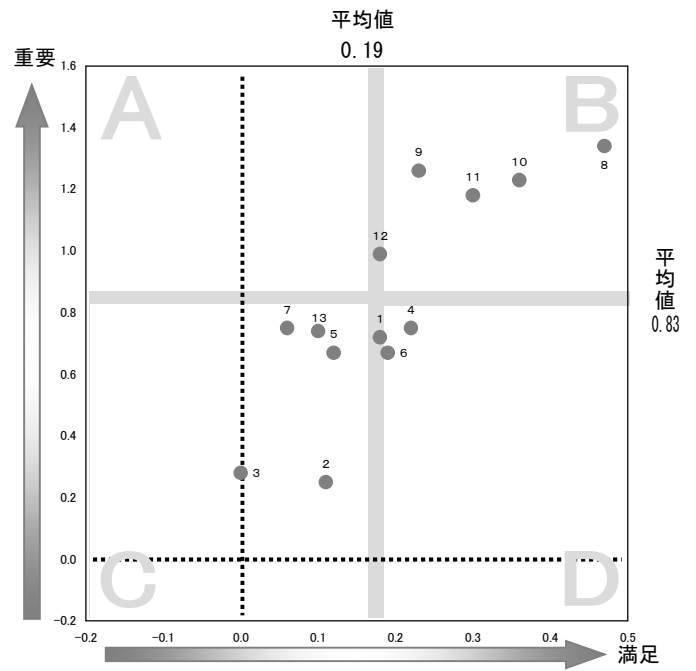
項目	
8	文化財の保護と活用
9	伝統文化・伝統芸能の継承
10	歴史文化の観光への活用
11	文化施設の整備充実
12	歴史文化情報の提供
13	文化活動団体への支援

【居住年数別】

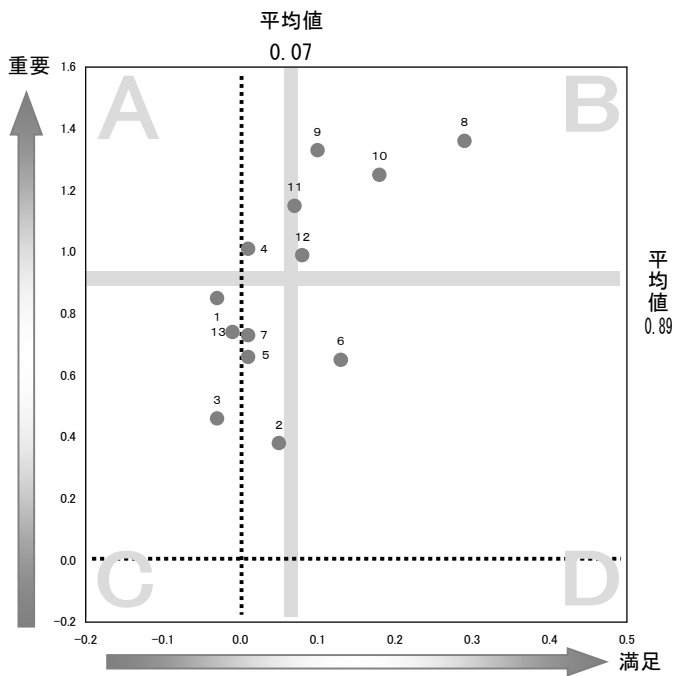
【10年未満】



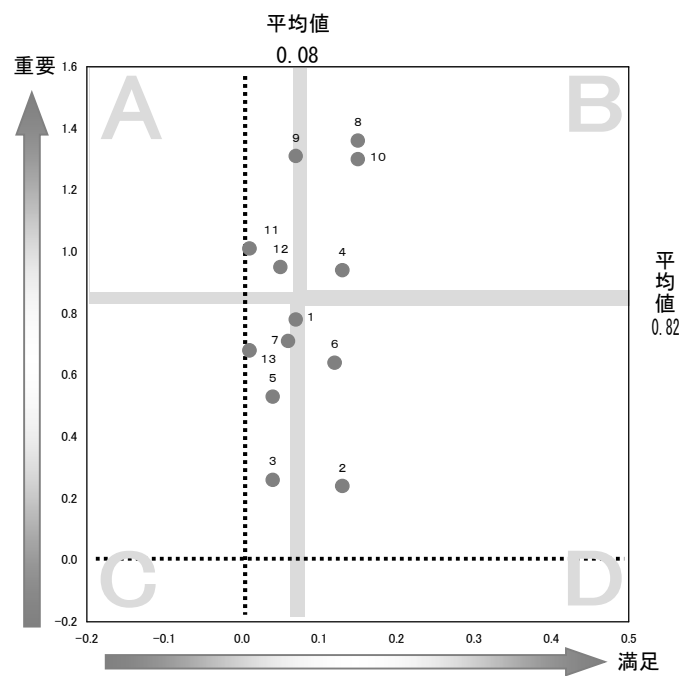
【10～19年】



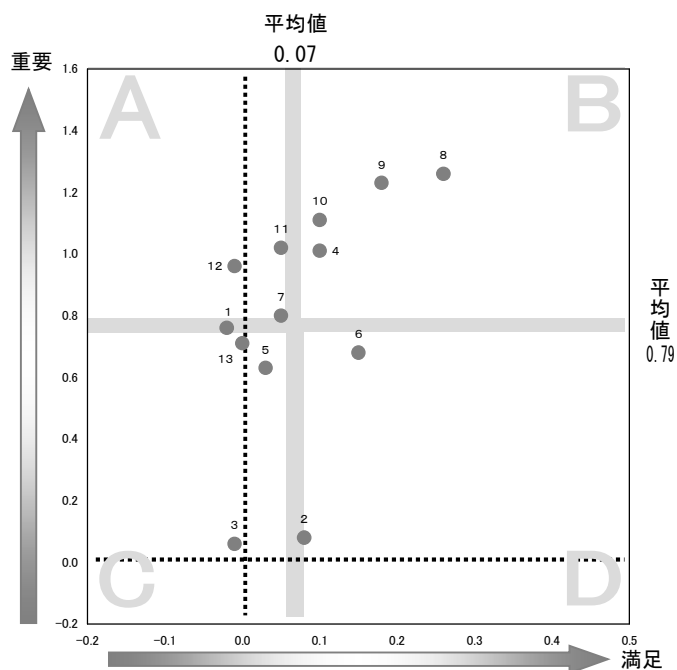
【20～29年】



【30～39年】



【40年以上】



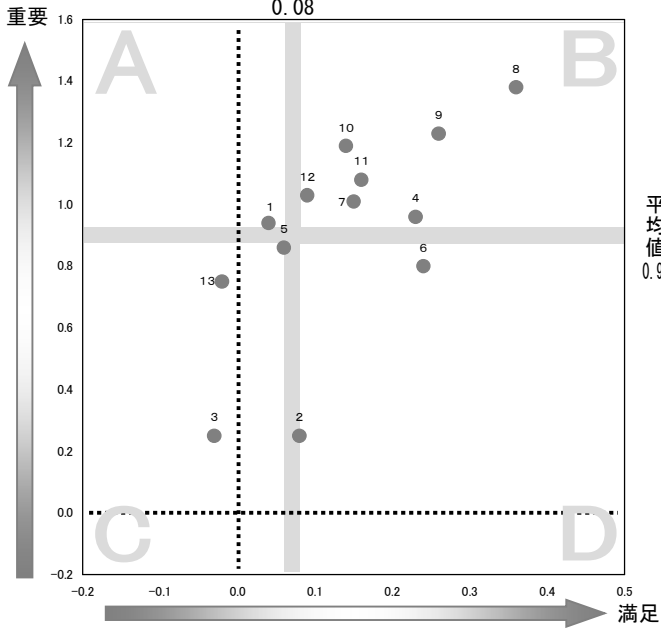
項目	
1	クラシックコンサートや演劇等の鑑賞会の開催
2	市内のジャズファンを増やすイベントの開催
3	全国のジャズファンを呼び込むイベントの開催
4	美術博物館などでの美術や歴史などの展覧会の開催
5	市民が参加する音楽祭や演劇、音楽劇の開催
6	市民から作品を募集する美術展の開催
7	市民を対象とした音楽、演劇、美術、歴史などの講座や教室の開催

項目	
8	文化財の保護と活用
9	伝統文化・伝統芸能の継承
10	歴史文化の観光への活用
11	文化施設の整備充実
12	歴史文化情報の提供
13	文化活動団体への支援

【家族構成別】

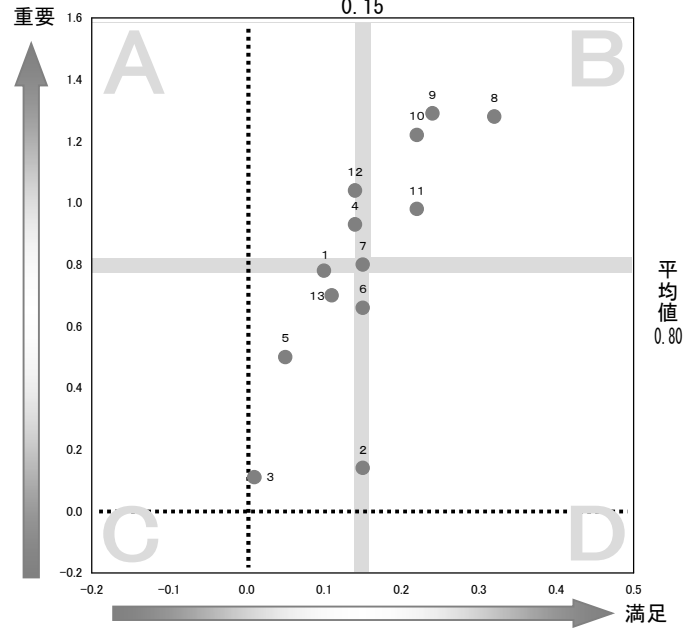
【一人暮らし】

平均値
0.08



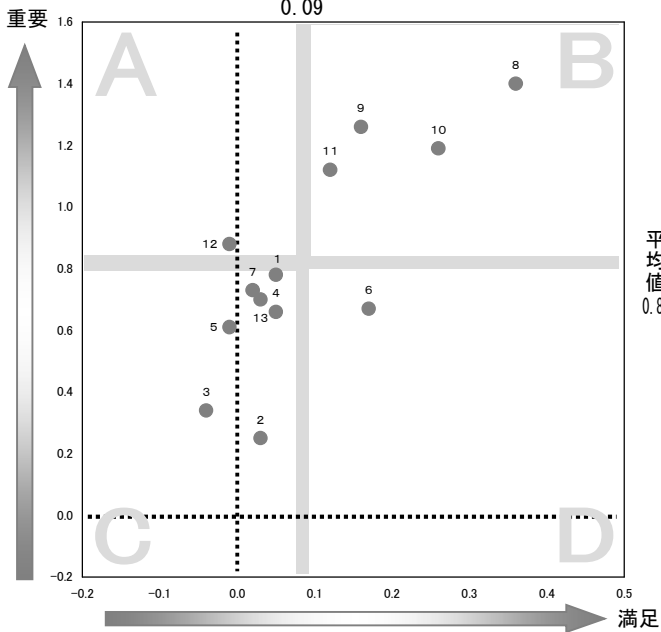
【夫婦世帯】

平均値
0.15



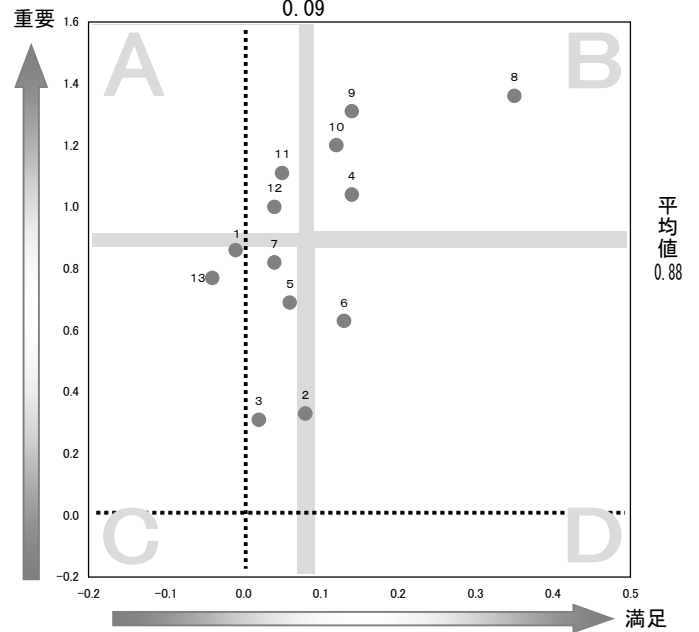
【夫婦と子 (高校生以下)】

平均値
0.09

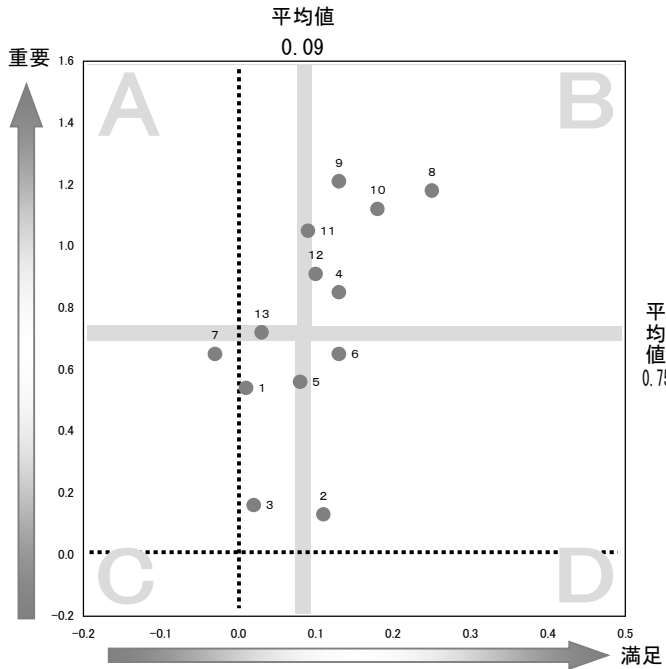


【夫婦と子 (大学生以上)】

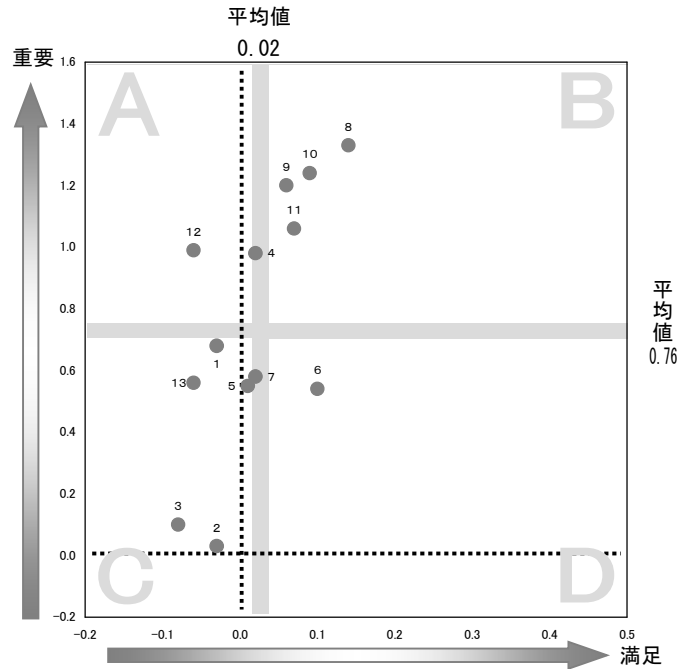
平均値
0.09



【親・子・孫の三世代】



【その他】



※【その他】については、82 ページを参照

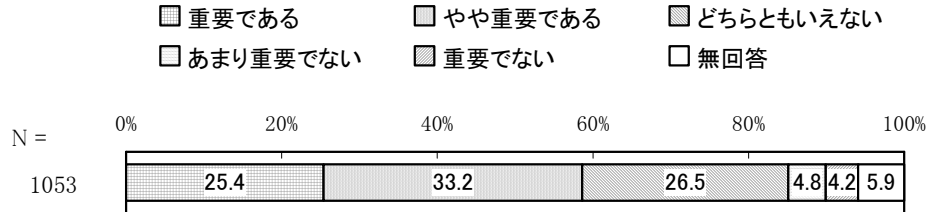
項目	
1	クラシックコンサートや演劇等の鑑賞会の開催
2	市内のジャズファンを増やすイベントの開催
3	全国のジャズファンを呼び込むイベントの開催
4	美術博物館などでの美術や歴史などの展覧会の開催
5	市民が参加する音楽祭や演劇、音楽劇の開催
6	市民から作品を募集する美術展の開催
7	市民を対象とした音楽、演劇、美術、歴史などの講座や教室の開催

項目	
8	文化財の保護と活用
9	伝統文化・伝統芸能の継承
10	歴史文化の観光への活用
11	文化施設の整備充実
12	歴史文化情報の提供
13	文化活動団体への支援

重要度

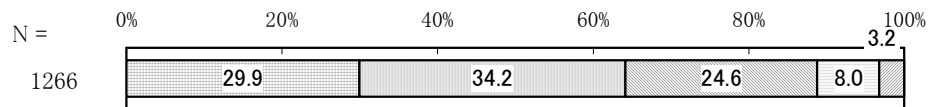
1 クラシックコンサートや演劇等の鑑賞会の開催

「重要である」と「やや重要である」をあわせた“重要である”の割合が 58.6%、「どちらともいえない」の割合が 26.5%、「あまり重要でない」と「重要でない」をあわせた“重要でない”の割合が 9.0%となっています。



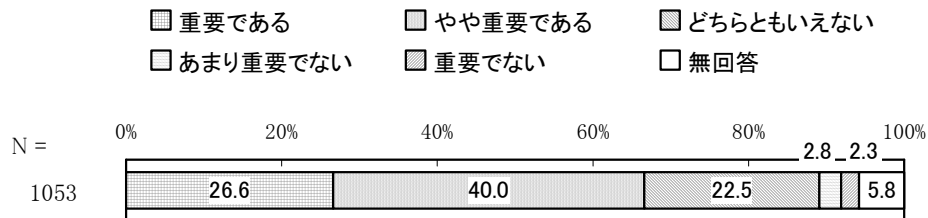
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、“重要である”の割合が 5.5 ポイント減少しています。



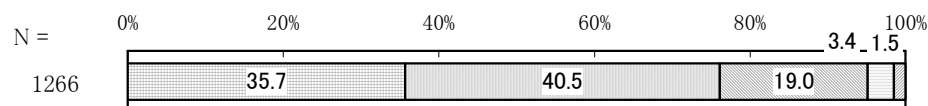
4 美術博物館などでの美術や歴史などの展示会の開催

“重要である”の割合が 66.6%、「どちらともいえない」の割合が 22.5%、“重要でない”の割合が 5.1%となっています。



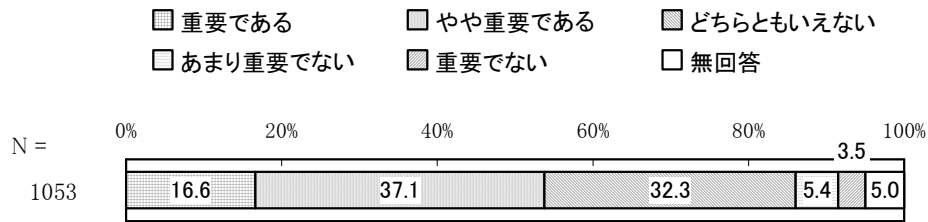
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、“重要である”の割合が 9.6 ポイント減少しています。



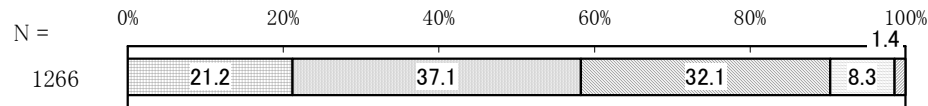
5 市民が参加する音楽祭や演劇、音楽劇の開催

“重要である”の割合が 53.7%、「どちらともいえない」の割合が 32.3%、“重要でない”の割合が 8.9%となっています。



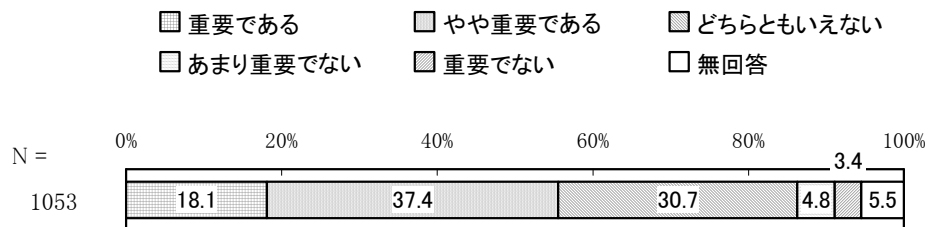
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



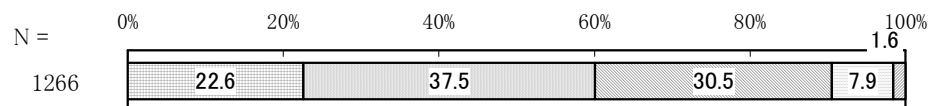
6 市民から作品を募集する美術展の開催

“重要である”の割合が 55.5%、「どちらともいえない」の割合が 30.7%、“重要でない”の割合が 8.2%となっています。



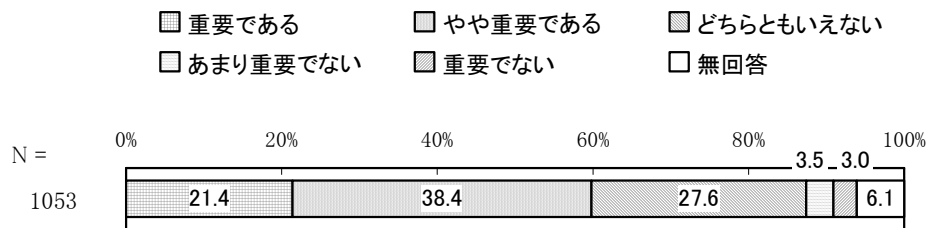
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



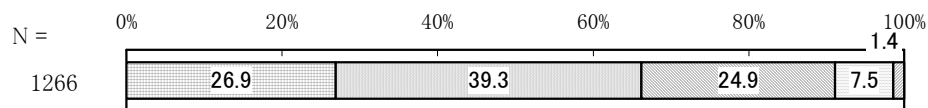
7 市民を対象とした音楽、演劇、美術、歴史などの講座や教室の開催

“重要である”の割合が 59.8%、「どちらともいえない」の割合が 27.6%、“重要でない”の割合が 6.5%となっています。



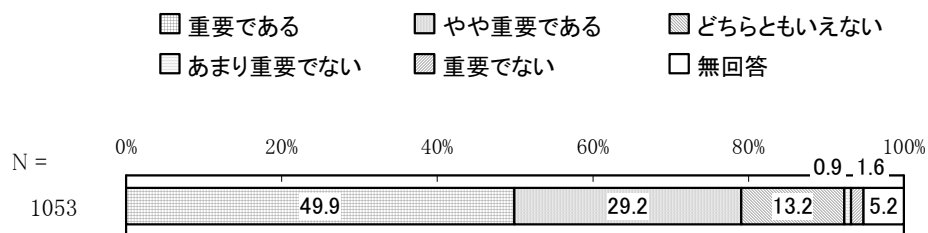
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、“重要である”の割合が 6.4 ポイント減少しています。



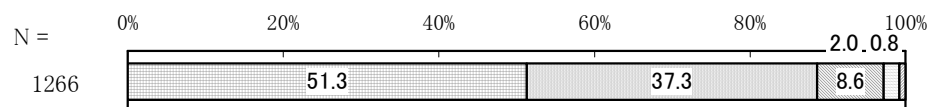
8 文化財の保護と活用

“重要である”の割合が 79.1%、「どちらともいえない」の割合が 13.2%、“重要でない”の割合が 2.5%となっています。



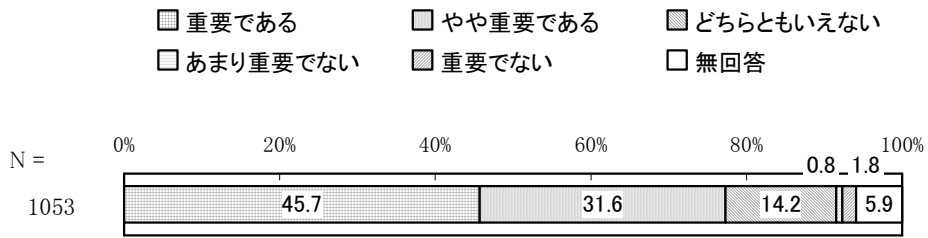
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、“重要である”の割合が 9.5 ポイント減少しています。



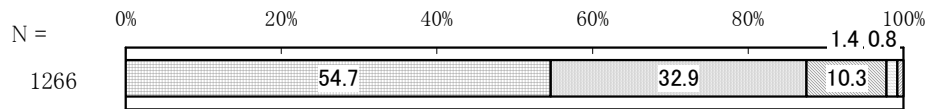
9 伝統文化・伝統芸能の継承

“重要である”の割合が77.3%、「どちらともいえない」の割合が14.2%、“重要でない”の割合が2.6%となっています。



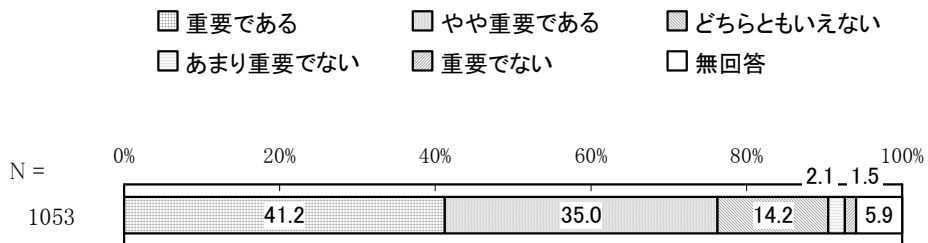
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、“重要である”の割合が10.3ポイント減少しています。



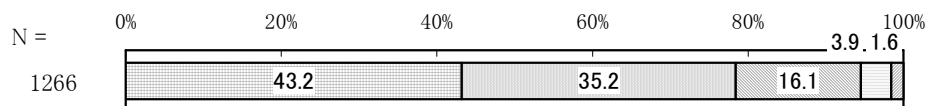
10 歴史文化の観光への活用

“重要である”の割合が76.2%、「どちらともいえない」の割合が14.2%、“重要でない”の割合が3.6%となっています。



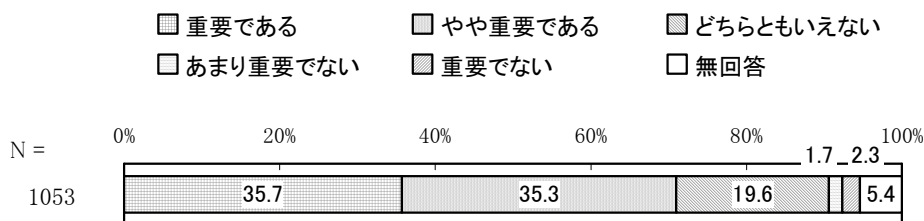
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



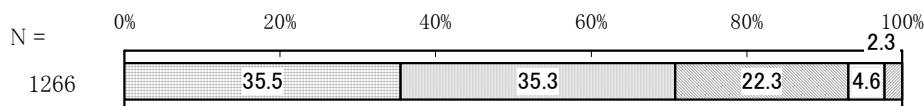
11 文化施設の整備充実

“重要である”の割合が71.0%、「どちらともいえない」の割合が19.6%、“重要でない”の割合が4.0%となっています。



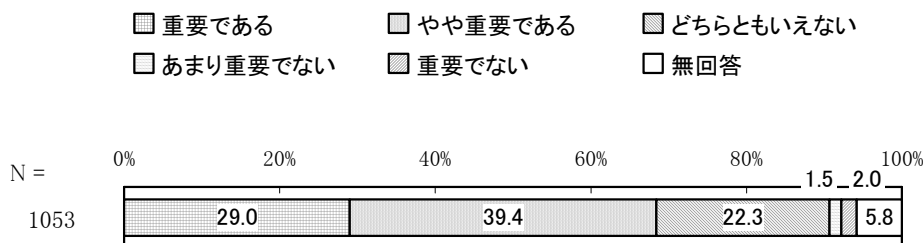
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



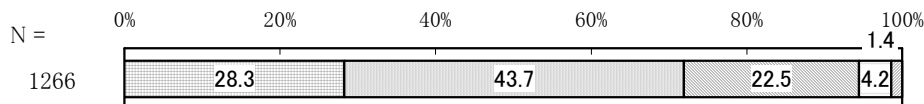
12 歴史文化情報の提供

“重要である”の割合が68.4%、「どちらともいえない」の割合が22.3%、“重要でない”の割合が3.5%となっています。



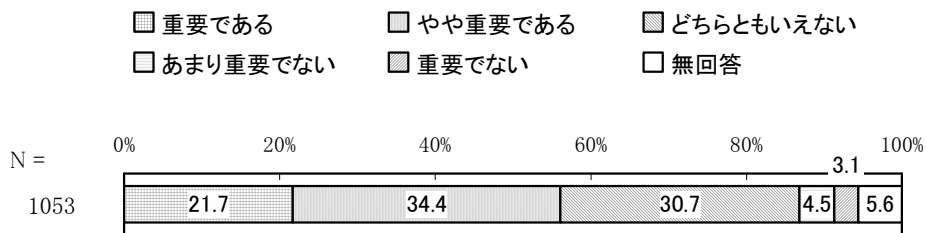
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



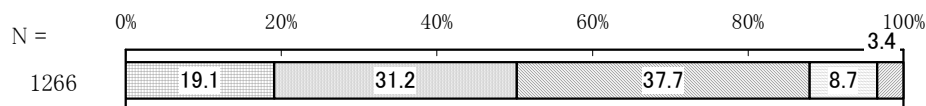
13 文化活動団体への支援

“重要である”の割合が56.1%、「どちらともいえない」の割合が30.7%、「重要でない」の割合が7.6%となっています。



【前回比較】

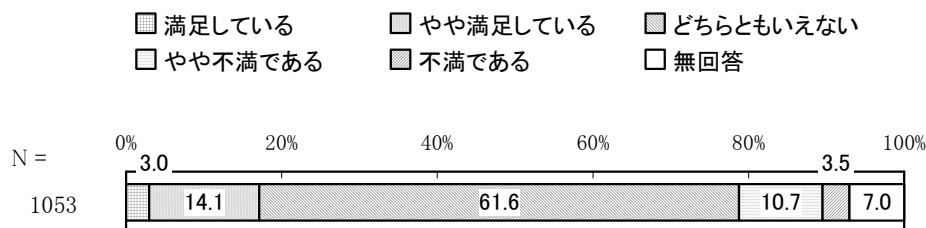
平成22年度調査と比較すると、“重要である”の割合が5.8ポイント増加しています。一方、「どちらともいえない」の割合が7.0ポイント減少しています。



満足度

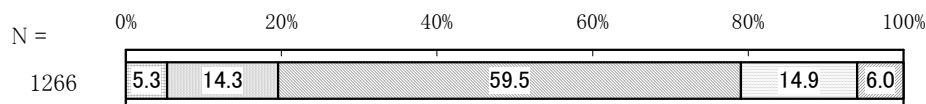
1 クラシックコンサートや演劇等の鑑賞会の開催

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が 17.1%、「どちらともいえない」の割合が 61.6%、「やや不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が 14.2%となっています。



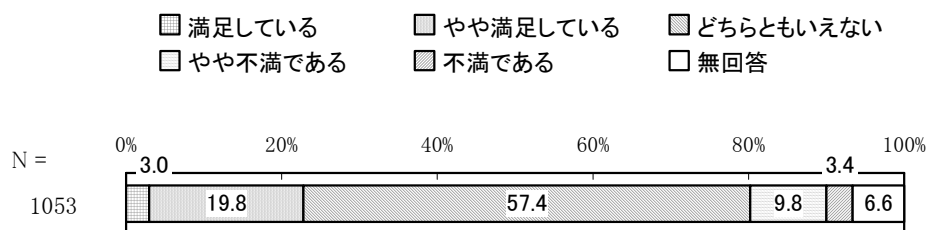
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、“不満である”の割合が 6.7 ポイント減少しています。



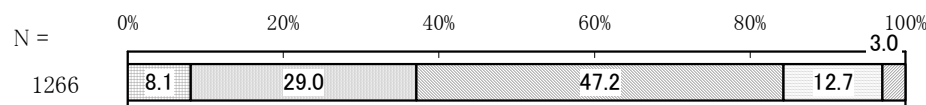
4 美術博物館などでの美術や歴史などの展示会の開催

“満足している”の割合が 22.8%、「どちらともいえない」の割合が 57.4%、「不満である」の割合が 13.2%となっています。



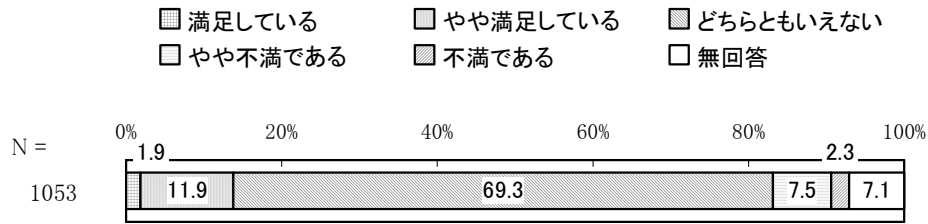
【前回比較】

平成 22 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が 10.2 ポイント増加しています。一方、“満足している”の割合が 14.3 ポイント減少しています。



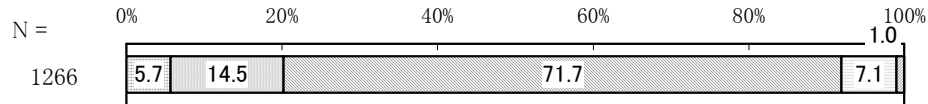
5 市民が参加する音楽祭や演劇、音楽劇の開催

“満足している”の割合が13.8%、「どちらともいえない」の割合が69.3%、「不満である」の割合が9.8%となっています。



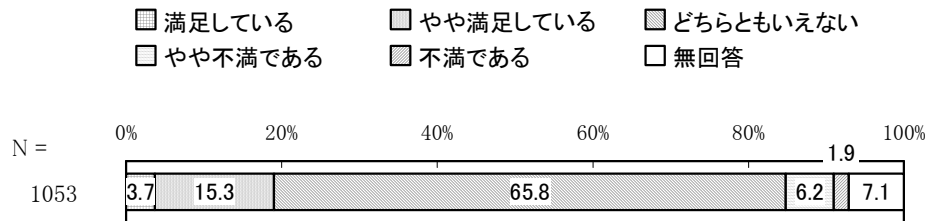
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、“満足している”の割合が6.4ポイント減少しています。



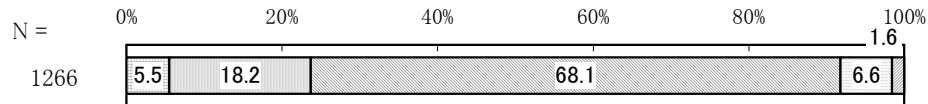
6 市民から作品を募集する美術展の開催

“満足している”の割合が19.0%、「どちらともいえない」の割合が65.8%、「不満である」の割合が8.1%となっています。



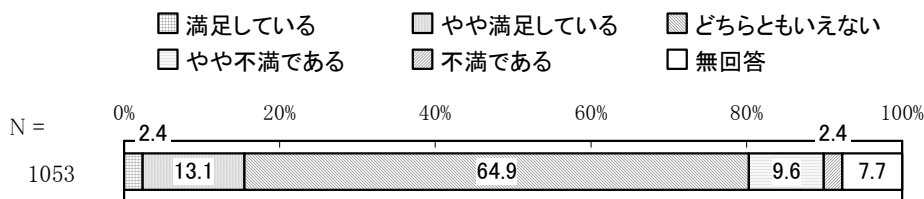
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



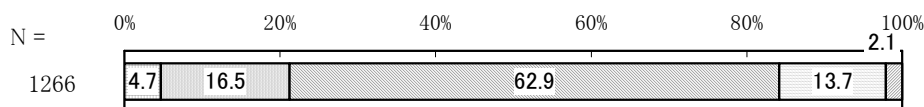
7 市民を対象とした音楽、演劇、美術、歴史などの講座や教室の開催

“満足している”の割合が15.5%、「どちらともいえない」の割合が64.9%、「不満である」の割合が12.0%となっています。



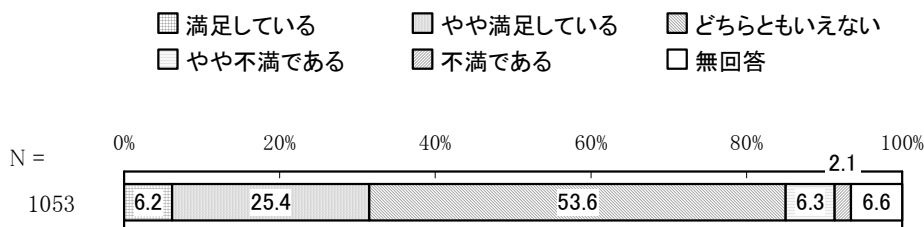
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、“満足している”の割合が5.7ポイント減少しています。



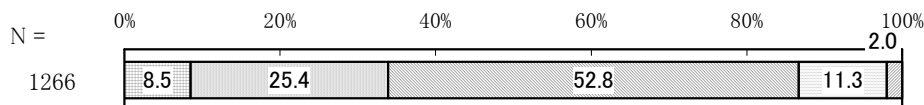
8 文化財の保護と活用

“満足している”の割合が31.6%、「どちらともいえない」の割合が53.6%、「不満である」の割合が8.4%となっています。



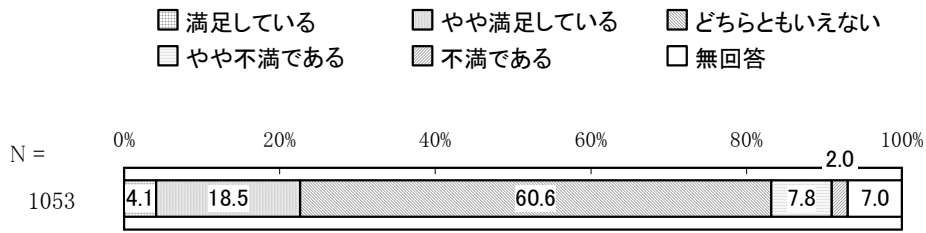
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



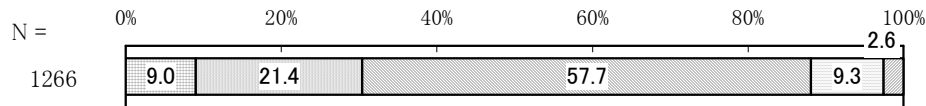
9 伝統文化・伝統芸能の継承

“満足している”の割合が22.6%、「どちらともいえない」の割合が60.6%、“不満である”の割合が9.8%となっています。



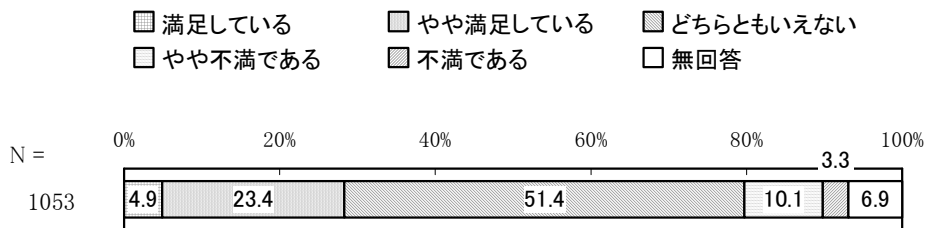
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、“満足している”の割合が7.8ポイント減少しています。



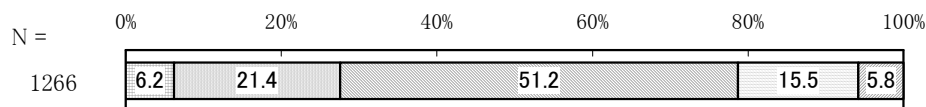
10 歴史文化の観光への活用

“満足している”の割合が28.3%、「どちらともいえない」の割合が51.4%、“不満である”の割合が13.4%となっています。



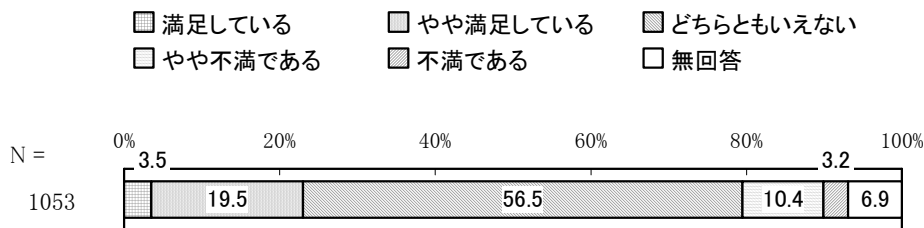
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、“不満である”の割合が7.9ポイント減少しています。



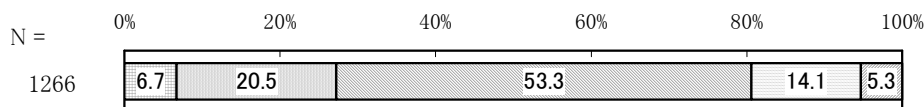
11 文化施設の整備充実

“満足している”の割合が23.0%、「どちらともいえない」の割合が56.5%、「不満である」の割合が13.6%となっています。



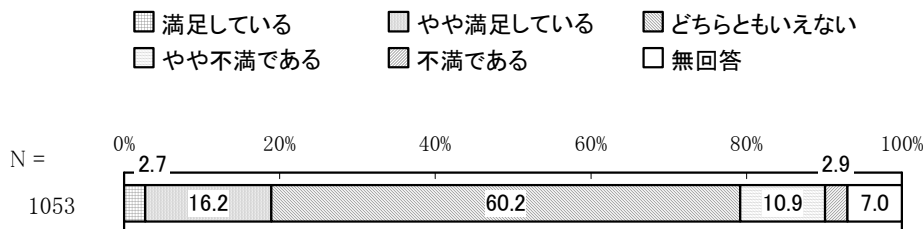
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、「不満である」の割合が5.8ポイント減少しています。



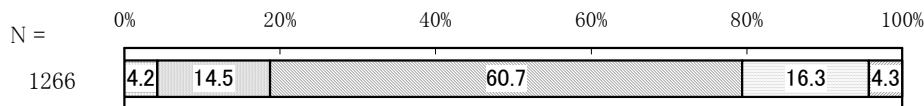
12 歴史文化情報の提供

“満足している”の割合が18.9%、「どちらともいえない」の割合が60.2%、「不満である」の割合が13.8%となっています。



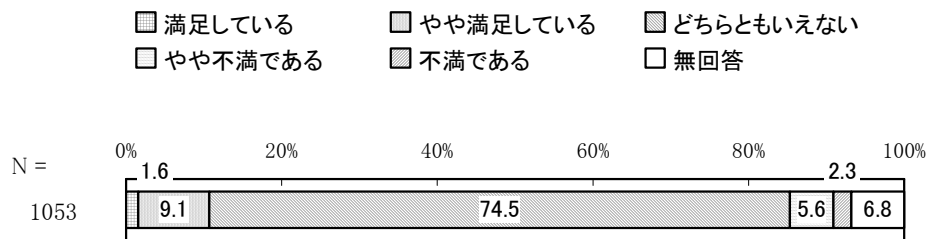
【前回比較】

平成22年度調査と比較すると、「不満である」の割合が6.8ポイント減少しています。



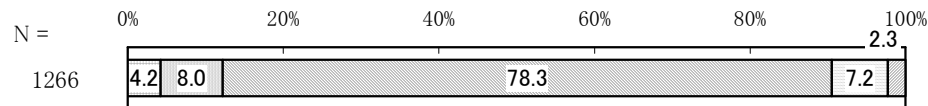
13 文化活動団体への支援

“満足している”の割合が10.7%、「どちらともいえない」の割合が74.5%、「不満である」の割合が7.9%となっています。



【前回比較】

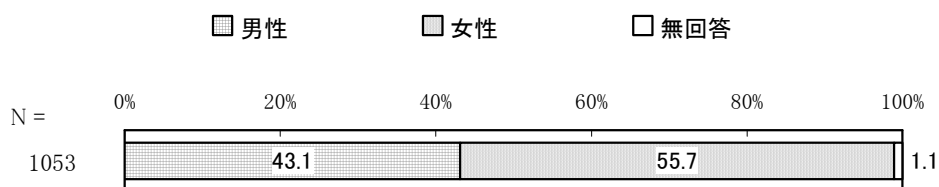
平成22年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



8 あなたご自身や世帯のことについておたずねします。

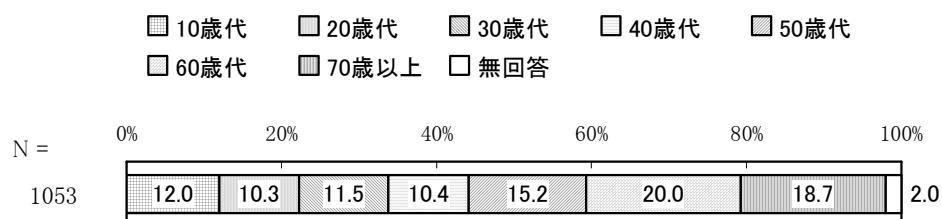
問 28 あなたの性別について教えてください。(○はひとつ)

「男性」の割合が 43.1%、「女性」の割合が 55.7%となっています。



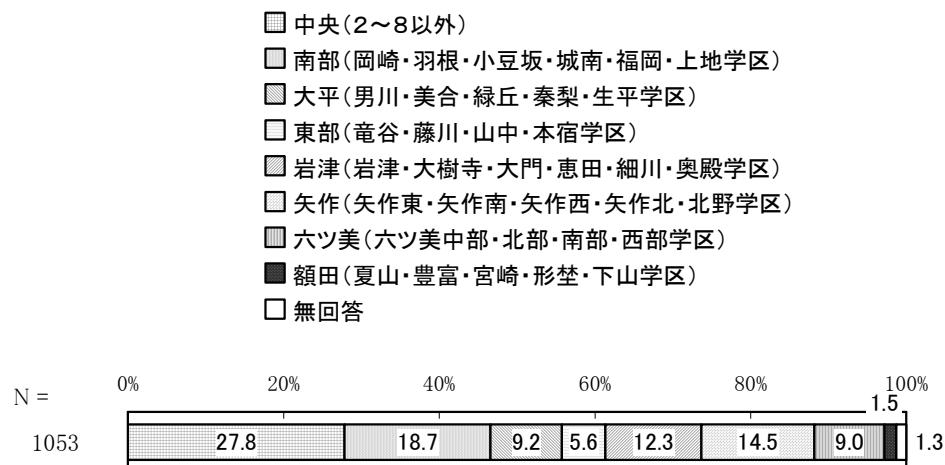
問 29 あなたの年齢について教えてください。

「60 歳代」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「70 歳以上」の割合が 18.7%、「50 歳代」の割合が 15.2%となっています。



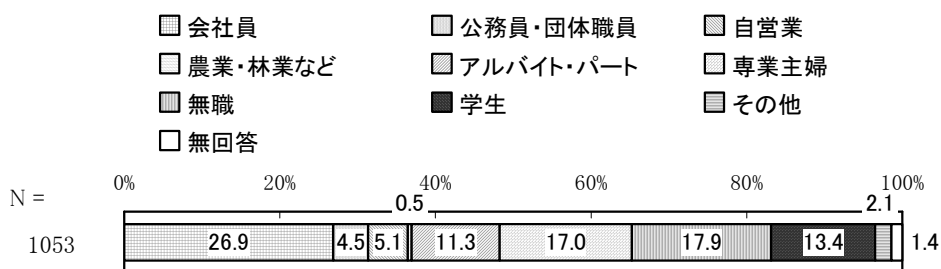
問 30 あなたのお住まいの地区について教えてください。(○はひとつ)

「中央 (2~8以外)」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「南部 (岡崎・羽根・小豆坂・城南・福岡・上地学区)」の割合が 18.7%、「矢作 (矢作東・矢作南・矢作西・矢作北・北野学区)」の割合が 14.5%となっています。



問 32 あなたの職業について教えてください。(〇はひとつ)

「会社員」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「無職」の割合が 17.9%、「専業主婦」の割合が 17.0%となっています。



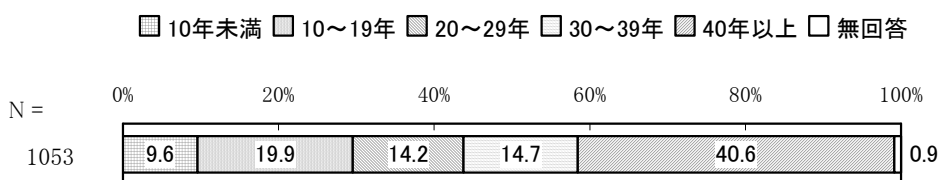
【その他】

- ・美容師
- ・獣医
- ・養蜂業
- ・看護師

など

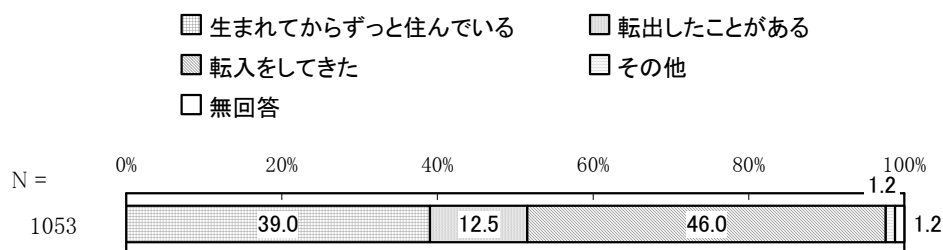
問 33 あなたの岡崎市での居住年数について教えてください。(〇はひとつ)

「40年以上」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「10～19年」の割合が 19.9%、「30～39年」の割合が 14.7%となっています。



問 34 あなたの岡崎市での居住歴について教えてください。(〇はひとつ)

「転入をしてきた」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「生まれてからずっと住んでいる」の割合が 39.0%、「転出したことがある」の割合が 12.5%となっています。



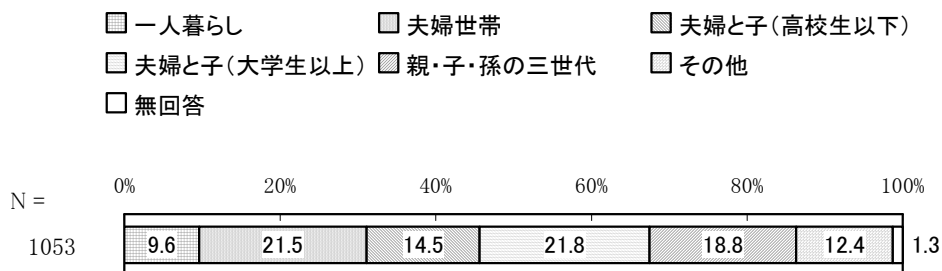
【その他】

・合併のため

など

問 35 あなたの同居する家族構成について教えてください。(〇はひとつ)

「夫婦と子(大学生以上)」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「夫婦世帯」の割合が 21.5%、「親・子・孫の三世代」の割合が 18.8%となっています。



【その他】

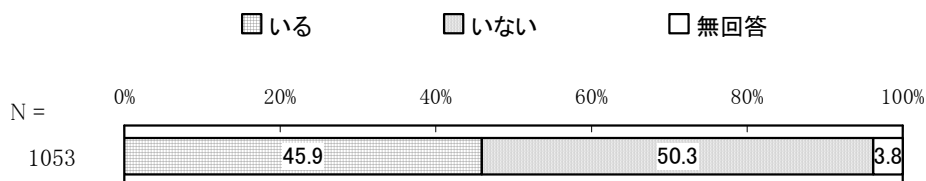
・四世代

・片親と子

など

問 36 あなたの同居する家族の中に、65歳以上の方はいますか。(〇はひとつ)

「いる」の割合が 45.9%、「いない」の割合が 50.3%となっています。



Ⅲ 自由意見

1 施設・設備（新しい文化施設）関連

【新たな施設が必要である】

※回答の詳細

1. 設備が優れた新しい施設が必要。音響がよく、多目的に使用でき、バリアフリー対応にすべき。	4人
2. 新しい施設は、交通アクセスに優れた公共交通機関の利便性がよい場所で、駐車場を広く持つべき。	3人
3. 新しい施設は、景観に優れた中央総合公園などの広い場所の立地がよい。	1人
4. 公演や催しの充実のため、新しい施設が必要。施設がなくて、有名アーティスト等と呼ぶことができないでいる。	2人
5. 新しい施設を造る場合は、外観やレイアウト等に、市民の意見を取り入れたものにする。	1人
6. 限られた人だけでなく、大衆向けの施設を造ってほしい。敷居が高いものでなく、料金面でも気軽に利用できるものにする。	2人

合計 13人

【新たな施設の建設は必要ない】

※回答の詳細

1. 不況で財政が厳しい今の時期に新しい物を造る必要はなく、それよりも優先すべき事業がある。	1人
2. 市民会館等、既存の施設を改築・再整備すれば、新しく建てる必要はない。廃止することも含めて、施設の活用を見直す必要がある。	1人
3. ハード事業よりソフト事業を充実し、既存施設の利用向上を図るべき。	1人

合計 3人

2 施設・設備（現行施設）関連

【現行の施設のアクセスが悪い】

※回答の詳細

1. 駐車場不足、駐車場が狭く使いにくい。駐車料金が負担、無料化できないか。(岡崎公園、籠田公園駐車場、りぶら駐車場など)	9人
2. 公共交通機関が不便、無料バス等アクセスの充実が必要では。(東岡崎駅、岡崎駅から無料バスの運行)	6人
3. 立地が悪い、施設が点在しており分かりにくく、使いづらい。(市外から来る利用者には特に不便である)	5人

合計 20人

【既存の施設の老朽化（市民会館、せきれいホール、美術館等）】

※回答の詳細

1. 市民会館の老朽化が進んでいる。(音響が悪くコンサートに向かない、会場の善し悪しが鑑賞の条件になる場合もある)	2人
2. せきれいホールの老朽化が進んでいる。(音響が悪くコンサートに向かない、会場の善し悪しが鑑賞の条件になる場合もある)	1人
3. 能楽堂を屋内にすべき。	1人

合計4人

【既存の施設の充実を（市民会館、せきれいホール、美術館等）】

※回答の詳細

1. 現行の施設が充分活用されていると思う。さらに今の施設を充実すべき。	10人
--------------------------------------	-----

合計10人

【小さな子ども連れ、高齢者でも行けるように改善】

※回答の詳細

1. 小さい子どもを同伴していても使いやすいように改善をすべき。 (託児スペースの設置、子ども連れで行ける日を設ける等)	3人
---	----

合計3人

【図書館（りぶら）の充実】

※回答の詳細

1. 中央図書館（りぶら）のさらなる充実を望む。 (新作本の購入を多く増やす、コンサートホールを併設したのは良い、子ども参加型のワークショップ等有意義な取り組みである、貸出本の充実等)	3人
---	----

合計3人

【岡崎公園の整備】

※回答の詳細

1. 中心地にある岡崎公園をもっと重視すべきではないか。 (散歩やウォーキングコースとする、観光客を呼び込めるよう、康生地区と一体化した再整備を等)	1人
---	----

合計1人

【美術博物館の充実】

※回答の詳細

1. 美術博物館のさらなる充実を望む。(意欲的な企画が行われていて好感がもてる、無料開放日を設けてはどうか等)	9人
---	----

合計9人

3 PR・広報に関連した意見

【情報・PR不足である。PR・広報の仕方を工夫する必要がある】

※回答の詳細

1. 情報・PR不足で催し物、教室、展覧会などの開催情報を知る機会が少ない。文化活動に興味を持てる情報がない。市民に伝わっていない。	9人
2. 市政だよりだけでは不十分。(興味を引く内容になってない、読まない)	2人
3. 情報を提供する方法に工夫が必要である。(もう少し身近に感じる情報提供を、興味を引くような記事を掲載、参加意欲をそそる内容で)	14人
4. テレビ等マスメディアを活用すべき。	3人
5. 観光案内を充実すべき。(パンフレットの充実、観光ルートの作成、観光ガイドの養成、案内板の統一)	4人
6. 市外に向けた情報発信が足りない。(市外の人々の岡崎に対する認知度が低い、アピールが下手、名古屋の存在に埋没している)	2人

合計34人

4 市の文化的取り組みに関連した意見

【歴史文化や歴史遺産の活用】

※回答の詳細

1. 観光に活用するために、歴史(徳川家康、寺社、城、文化財)を活用した文化振興を行うことや、歴史建造物の保護・保存、歴史の伝承活動が必要。	4人
2. 徳川家康、三河武士はじめ、市出身の偉人をもっと活用してはどうか。	2人

合計6人

【文化財・伝統芸能の保存、振興】

※回答の詳細

1. 文化財・伝統芸能の保護（無形・有形）は重要施策であり、文化振興事業に欠かすべきでない。	10人
2. 文化財、町並みの保存に対してもっと景観に配慮すべき。（高層ビルなどを建てない、条例の制定、他都市の景観を参考、落ち着いた町並み等）	1人
3. 本多邸の整備は必要あるか疑問。 （東公園の整備の方が先ではないか？公園利用者の望む事業でない）	1人

合計 12人

【文化振興とまちづくり】

※回答の詳細

1. 文化振興の施策は重要であり、観光事業、まちづくり事業と一体となった政策を推進してほしい。	5人
2. 文化振興を通じて、康生地区・伝馬地区等中央地域の発展を望む。	1人
3. 施設ばかりあるのが文化的でなく、緑化を推進し文化的なまちづくりを望む。	3人

合計 9人

【文化行政全般について】

※回答の詳細

1. 市の施策に期待ができない。 （全体構想が見えない、保守的である、中途半端な印象を受ける）	2人
2. 市のイメージとして、歴史的・文化的である（であるよう望む）。	3人
3. 近隣市町村や県との共催を図るなど連携し、情報、宣伝活動を共有する。	2人
4. 専任の担当者を育成すべき。（長期的に継続して育てる、企画力のある人材育成）	1人
5. 田舎の伝統芸能の伝承をするため、後継者の育成の援助をすべき。	1人
6. 身の丈にあった（一部のハイレベルな人のためだけでない）身近な文化振興をすべき。	2人

合計 11人

【外国との文化交流について】

※回答の詳細

1. 外国人、外国に対して岡崎のアピールが必要である。（市民も一緒に）	2人
-------------------------------------	----

合計 2人

【その他】

※回答の詳細

1. 新たな文化振興をもっと作ってほしい。 (文化に興味のなかった人の掘り起こし)	1人
2. 将棋大会に岡崎市支部を作ってほしい。(市役所支部しかないのはなぜ?)	1人
3. 美術家・芸術家を育てる。	1人

合計3人

【文化振興と事業費用のあり方について】

※回答の詳細

1. 文化振興は重要だが、お金をかけずに事業を行うことが望ましい。 (自主事業の創出、ボランティアの育成)	2人
2. 税金を有効利用した上での文化振興すべき。	6人

合計8人

5 他市町村の事業について

【他市町村の施設、催しと比較して劣る】

※回答の詳細

1. 他市町村の会場の方が魅力的なイベントが多く、そちらの利用が多い。	2人
2. 他市町村の施設(豊田市、幸田町、知立市、刈谷市)の方が充実しており、そちらの利用が多い	1人

合計3人

【他市町村の施設、催し(具体例)】

※回答の詳細

1. 幸田町のライブコンサート	2人
2. 豊田市の高年大学	1人

合計3人

6 市民参加

【市民参加の推進】

※回答の詳細

1. 市民の意見をもっと反映することで、市民密着型の文化振興を推進すべき。 (一部の人が望むことでなく皆が享受できるよう、行政一辺倒でなく)	4人
2. 積極的なボランティア活動・市民参加のイベントを充実。	6人
3. 創作、創造を表現できる場を設け、人を育てる環境づくりを充実すべき。 (ワークショップ、活動を支援、交流の場が足りない、子ども参加型のワークショップ充実)	2人
4. 高齢者・身障者にも文化に触れやすい企画や催しを開催して欲しい。	5人

合計17人

7 教育活動

【教室等、学んだり体験する場の充実】

※回答の詳細

1. 子ども世代に芸術鑑賞、伝統文化、郷土史を学ぶ機会を提供。(子ども時代に培った知識や体験は貴重、伝統文化の継承者となる子ども世代の育成)	12人
2. 小・中学校の授業の一環として芸術鑑賞の機会を増やすべき。 (授業に芸術鑑賞の機会を増やす)	1人

合計13人

8 公演・展示内容について

【スケジュールが合わずに参加・鑑賞ができない】

※回答の詳細

1. 行事に参加したり鑑賞したりできる時間帯が合わない。(土日・夜間の開催が少ないor平日にもっと開催してほしい、仕事をしている人には両立が難しい)	5人
2. 行事の開催機会(回数)が少ない。(定員が少ない、会場が小さい、予約が取れない)	4人

合計9人

【費用負担の軽減】

※回答の詳細

1. 費用負担を減らしてほしい。(鑑賞費用(チケット)・施設使用料など直接的な費用負担)	5人
--	----

合計5人

【公演・展示の内容に魅力がない】

※回答の詳細

1. 興味を引く催しが少ない、少ない。(有名アーティストが少ない、著名な作家の作品展示が少ない)	2人
2. 魅力ある企画でない。	1人

合計3人

【演目について】

※回答の詳細

1. 落語・漫談の上演。	1人
2. 岡崎にゆかりがあるアーティストの起用促進。(市内高校の演奏会、出身者の公演)	1人
3. 本物に触れる(プロの演奏家や劇団)機会の充実。	1人

合計3人

【JAZZについて】

※回答の詳細

1. JAZZを軸にした音楽活動をはじめ音楽を活用すべき。	12人
2. クラシック、JAZZなど音楽のジャンルに偏りすぎ。(JAZZばかりに力を入れるのはどうか?)	10人

合計22人

【さくらまつり、花火大会について】

※回答の詳細

1. 岡崎の象徴であり、誇れる行事。	1人
--------------------	----

合計1人

【新たなイベントを企画】

※回答の詳細

1. 中央総合公園を利用して、芸術的なイベントを開催。	1人
2. 若者中心の音楽イベントを大々的に行う。	5人
3. 季節ごとに(一年中)楽しめるような企画、イベント(花火大会など単発のものでなく)を。	3人

合計9人

9 その他

【文化活動に興味がない、触れる機会がない（なかった）】

※回答の詳細

1. 時間的・経済的に文化に触れる余裕がない。	1人
2. 芸術文化にあまり関心がない、持てない、難しい。	8人
3. その他（もう少し関心を持ちたいなど）	19人

合計 28人

【文化振興より優先すべき事業がある】

※回答の詳細

1. 他事業等優先すべき課題があるのでは（東岡崎駅開発、中心市街地活性化、経済・雇用・高齢者・子ども・働く母親対策等）	9人
2. アンケートに関する事	14人

合計 23人

IV まとめ

本市を”文化的である”と感じている市民は約7割と高く、その理由として、多くのかたが、「文化財が保存されているため」と感じたようでした。

文化芸術の鑑賞を行ったかたは、どの年齢層においても約5割であるのに対し、文化芸術の活動を行ったかたとなると、全体の2割程度に留まるという結果となりました。

行政の施策に対する「今後の重要度」と「現状の満足度」の分析からは、得点が「0」を下回る項目はなかったものの、今後の行政施策の方向性を検討するのに有効な結果を得ることができました。

これらの結果を受け、本市の文化芸術における現状と課題を踏まえた、新計画を検討していきます。

発行：平成 28 年 3 月

岡崎市 文化芸術部 文化総務課

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目 9 番地（福祉会館 5 階）

TEL 0564-23-6615 FAX 0564-23-6343